



Roman Shade

NORMAN®ローマンシェード 仕様書

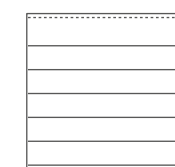
ノーマンジャパン株式会社

〒151 - 0051

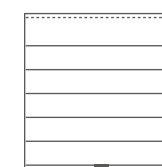
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-15 A-PLACE 代々木 3 階

TEL : 03-3356-8688 HP : www.norman.co.jp

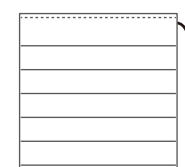
※ 各仕様は品質改良に伴い、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



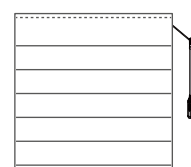
チェーンタイプ



コードレスタイプ



電動タイプ

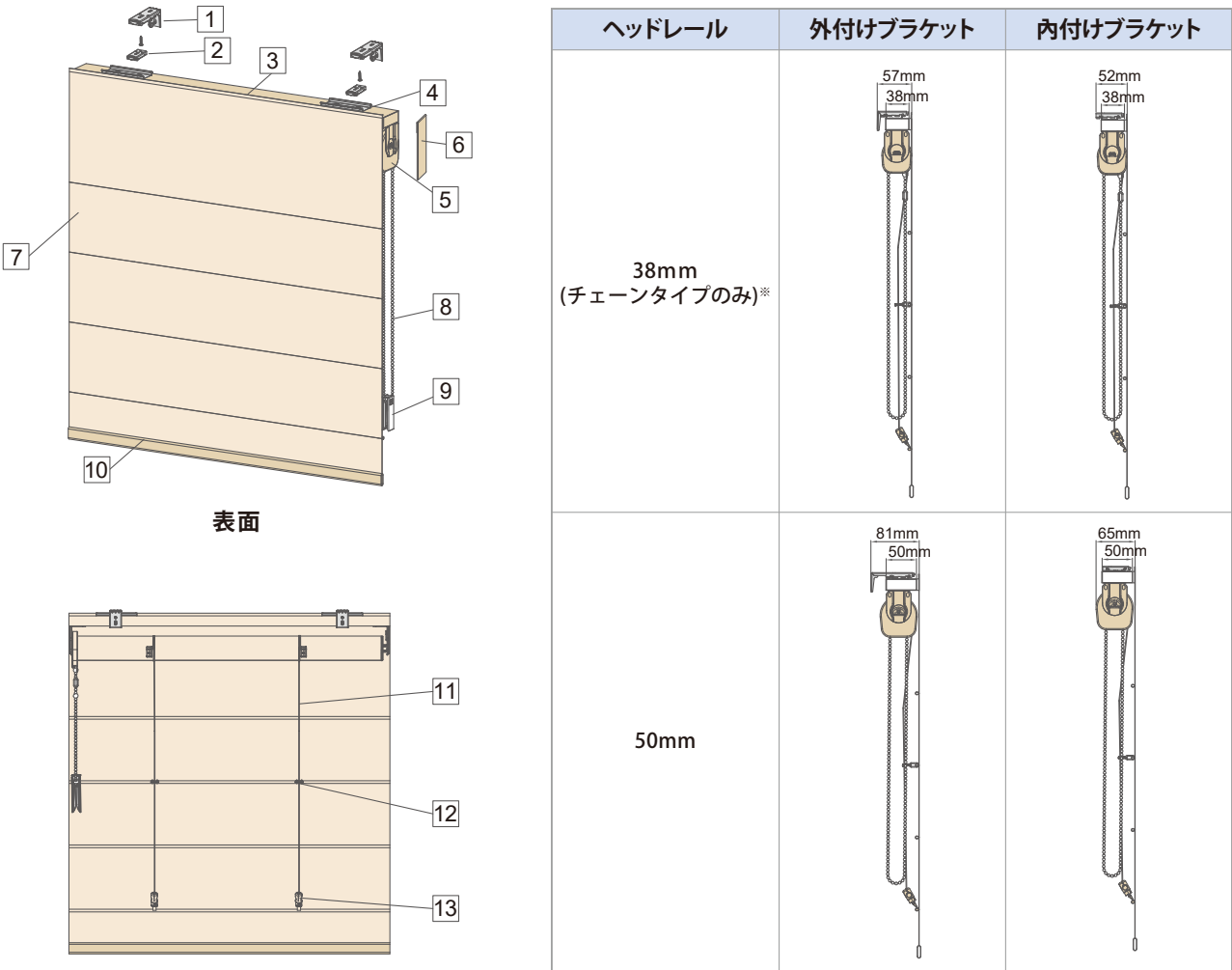


e-スティック

ローマンシェード			
シングルシェード		デュアルシェード	
1. 仕様と構造	01	1. 仕様と構造	16
1-1. チェーンタイプ・チェーンタッチタイプ	01	1-1. チェーンタイプ、チェーンタッチタイプ	16
1-2. コードレスタイプ	02	1-2. コードレスタイプ	17
1-3. 製作可能寸法	03	1-3. 製作可能寸法 (幅:高さの比率1:3以内)	18
1-4. 操作部配置	03	1-4. 操作部配置	18
1-5. 操作部の長さ	03	1-5. 操作部の長さ	18
1-6. ブラケット(全操作メカ共通)	04	1-6. ブラケット(全操作メカ共通)	19
1-7. 付属部品の数量	04	1-7. 付属部品の数量	19
2. 取り付け条件	05	2. 取り付け条件	20
2-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	05	2-1. 窓枠天井付け / 鴨居付け	20
2-2. 窓枠正面付け	06	2-2. 窓枠正面付け	21
2-3. 壁面付け	07	2-3. カーテンボックス付け	21
2-4. カーテンボックス付け	07	2-4. 必要寸法一覧表	22
2-5. 必要寸法一覧表	08		
3. 採寸方法	09	3. 採寸方法	23
3-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	09	3-1. 窓枠天井付け / 鴨居付け	23
3-2. 窓枠正面付け	09	3-2. 窓枠正面付け	23
3-3. 壁面付け	10	3-3. カーテンボックス付け	24
3-4. カーテンボックス付け	11		
4. 取り付け方法	11	4. 取り付け方法	24
4-1. 製品の確認	11	4-1. 製品の確認	24
4-2. ブラケットの取り付け	12	4-2. ブラケットの取り付け	25
4-3. シェード本体の取り付け・取り外し	13	4-3. シェード本体の取り付け・取り外し	26
4-3-1. シェード本体の取り付け	13	4-3-1. シェード本体の取り付け	26
4-3-2. サイドキャップの取り付け	14	4-3-2. サイドキャップの取り付け	26
4-3-3. シェード本体の取り外し	14	4-3-3. シェード本体の取り外し	27
4-4. その他部品の取り付け・取り外し	14	4-4. その他部品の取り付け・取り外し	27

ローマンシェード - 電動タイプ			
シングルシェード		デュアルシェード	
1. 仕様と構造	29	1. 仕様と構造	50
1-1. シェード本体ACアダプタ式	29	1-1. シェード本体ACアダプタ式	50
1-1-1. 構造部品名	29	1-1-1. 構造部品名	50
1-1-2. 製作可能寸法	29	1-1-2. 製作可能寸法	50
1-1-3. 本体の配置	30	1-1-3. 本体の配置	51
1-1-4. ブラケット(全操作メカ共通)	30	1-1-4. ブラケット(全操作メカ共通)	51
1-1-5. 付属部品の数量	30	1-1-5. 付属部品の数量	51
1-1-6. 給電関連部品	31	1-1-6. 給電関連部品	52
1-2. e-スティック式	32	1-2. e-スティック式	53
1-2-1. 構造部品名	32	1-2-1. 構造部品名	53
1-2-2. 製作可能寸法	33	1-2-2. 製作可能寸法	53
1-2-3. モーター配置位置	33	1-2-3. モーター配置位置	53
1-2-4. e-スティックの長さ	33	1-2-4. e-スティックの長さ	54
1-2-5. スクリーン本体仕様	33	1-2-5. スクリーン本体仕様	54
1-2-6. ブラケット(全操作メカ共通)	34	1-2-6. ブラケット(全操作メカ共通)	54
1-2-7. 付属部品の数量	34	1-2-7. 付属部品の数量	54
2. 取り付け条件	35	2. 取り付け条件	55
2-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	35	2-1. 窓枠天井付け / 鴨居付け	55
2-2. 窓枠正面付け	36	2-2. 窓枠正面付け	56
2-3. 壁面付け	37	2-3. カーテンボックス付け	56
2-4. カーテンボックス付け	37	2-4. 必要寸法一覧表	57
2-5. 必要寸法一覧表	38		
3. 採寸方法	39	3. 採寸方法	58
3-1. 窓枠天井付け/鴨居付け	39	3-1. 窓枠天井付け / 鴨居付け	58
3-2. 窓枠正面付け	39	3-2. 窓枠正面付け	58
3-3. 壁面付け	40	3-3. カーテンボックス付け	59
3-4. カーテンボックス付け	41		
4. 取り付け方法	41	4. 取り付け方法	59
4-1. 製品の確認	41	4-1. 製品の確認	59
4-2. ブラケットの取り付け	42	4-2. ブラケットの取り付け	60
4-3. シェード本体の取り付け・取り外し	43	4-3. シェード本体の取り付け・取り外し	61
4-3-1. シェード本体の取り付け	43	4-3-1. シェード本体の取り付け	61
4-3-2. サイドキャップの取り付け	44	4-3-2. サイドキャップの取り付け	61
4-3-3. シェード本体の取り外し	44	4-3-3. シェード本体の取り外し	61
4-3-4. 本体ACアダプタ式のみ	45	4-3-4. 本体ACアダプタ式のみ	62
4-3-5. 本体e-スティックのみ	45	4-3-5. 本体e-スティックのみ	62
5. 操作方法	46	5. 操作方法	63
5-1. リモコン(RC-A01)ボタンの紹介	46	5-1. リモコン(RC-A01)ボタン紹介	63
5-2. SmartDial™ G2ボタン紹介	46	5-2. SmartDial™ G2ボタン紹介	63
5-3. e-スティックボタン紹介	46	5-3. e-スティックボタン紹介	63
5-4. ボタン機能紹介	47	5-4. ボタン機能紹介	64
5-5. 手動スイッチ機能説明	47	5-5. 手動スイッチ機能説明	65
5-6. リモコンホルダー	48	5-6. リモコンホルダー	65
5-7. SmartDial™ G2の壁面設置	48	5-7. SmartDial™ G2の壁面設置	65
6. サイズ定義と公差		6. サイズ定義と公差	68
7. お手入れ方法		7. お手入れ方法	68
8. 製品特性		8. 製品特性	69
9. 保証について		9. 保証について	71

1-1 チェーンタイプ・チェーンタッチタイプ



※製品幅≤1270mmの場合

ヘッドレール	外付けブラケット	内付けブラケット
38mm (チェーンタイプのみ)*		
50mm		

■ 構造部品名

部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	-
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	-
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) サポートフレーム	メタル	-
(5) 操作部	メタル及び樹脂成型品	-
(6) サイドキャップ	生地により異なります	-
(7) シェード	生地により異なります	-
(8) ボールチェーン	ステンレス	-
(9) チェーンクリップ	樹脂成型品	透明
(10) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕様
(11) コード	ポリエステル	-
(12) コード止めキャップ	樹脂成型品	-
(13) コードホルダー	樹脂成型品	-



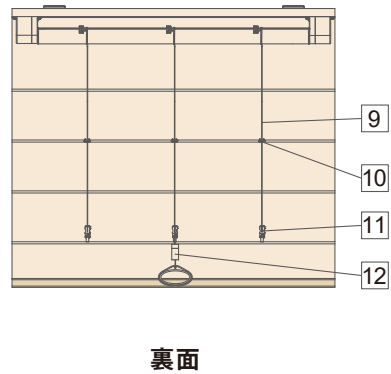
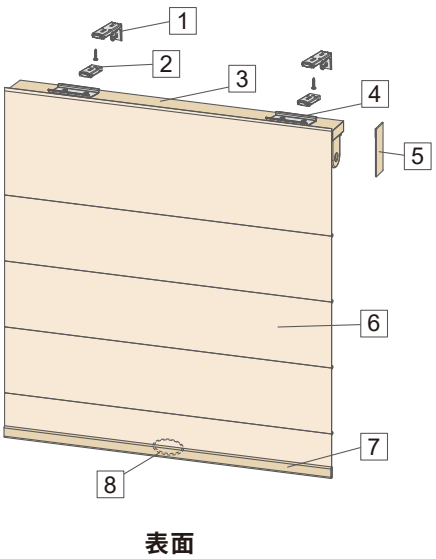
シャープスタイル フォールドスタイル ※裏地必須

Roman Shade - Single Shade

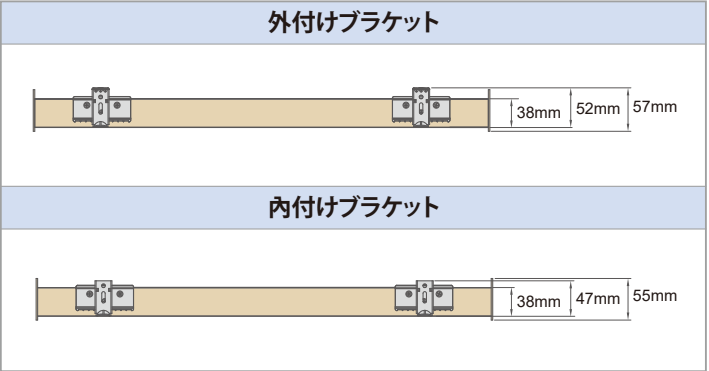
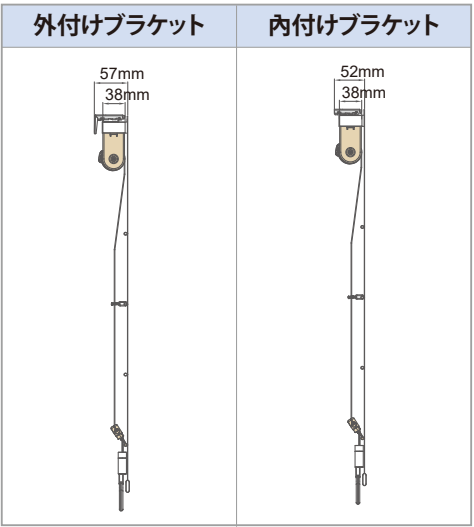
ローマンシェード シングルシェード

チェーンタイプ
チェーンタッチタイプ
コードレスタイプ

1-2コードレスタイプ



38mm ヘッドレール



■ 構造部品名

部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	-
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	-
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) サポートフレーム	メタル	-
(5) サイドキャップ	生地により異なります	-
(6) シェード	生地により異なります	-
(7) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕様
(8) グリップ	樹脂成型品	透明
(9) コード	ポリエステル	-
(10) コード止めキャップ	樹脂成型品	-
(11) コードホルダー	樹脂成型品	-
(12) タッセル	樹脂成型品	-

1-3製作可能寸法

操作メカ	幅W(mm)	高さH(mm)	最大面積 m ² ※機構部を含む製品室内側総面積
チェーンタイプ	320≦W≦2400	610≦H≦2550	6.1
チェーンタッチタイプ		610≦H≦2400	4.8
コードレスタイプ	520≦W≦2400	610≦H≦2400	3.7

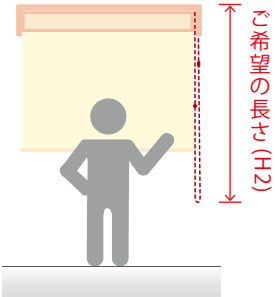
チェーンタイプ、幅が1270mmまたは1270mm以下の場合、38mmのヘッドレールを製作して、幅が1270mmを超える場合は、50mmのヘッドレールを製作します。

1-4 操作部配置

操作メカ	操作部	配置	
		標準	オプション
チェーンタイプ	操作メカ	右	左
チェーンタッチタイプ	操作メカ	右	左

1-5 操作部の長さ

吹き抜け窓や高所の窓等



操作メカ	製品高さ(H)	操作チェーンの長さ(標準仕様)
チェーンタイプ	610mm ~ 2550mm	H-76mm
チェーンタッチタイプ	H < 915mm	579mm
	915mm ≤ H < 1219mm	883mm
	1219mm ≤ H < 1524mm	1188mm
	1524mm ≤ H < 2134mm	1493mm
	H ≥ 2134mm	2103mm

設置箇所が高所の場合など、ご希望があれば長さをご指定ください (H2)。
操作チェーンの長さは標準の長さが目安の長さとなります。
また10ミリ単位で指定することもできます。
チェーンが短すぎると操作に支障をきたす場合がございます。ご注意ください。
(H2) = ヘッドレール上端からチェーン下端までの距離
最小指定可能寸法: チェーンタイプ H1-76mm / チェーンタッチタイプ 305mm
公差: 0mm~+40mm



操作メカ	操作ロッドの長さ(オプション)
コードレスタイプ	ノーマル&ロング

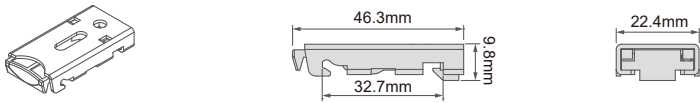
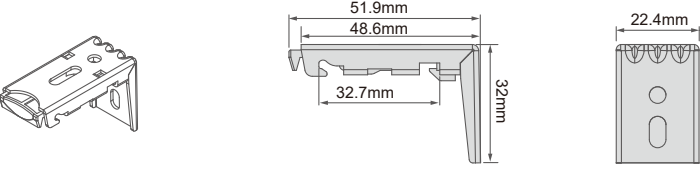
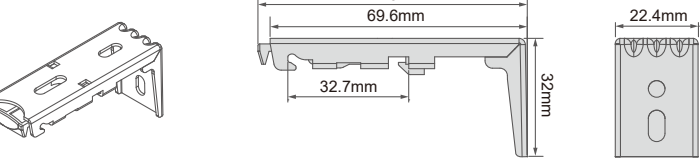
仕様と構造

取り付け条件

採寸方法

取り付け方法

1-6 ブラケット(全操作メカ共通)

取り付けタイプ	名称	図面
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット	
窓枠正面付け 壁面付け	38mmヘッドレール 外付け用ブラケット	
	50mmヘッドレール 外付け用ブラケット	

1-7 付属部品の数量

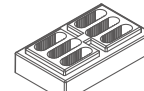
内付け用
ブラケット

38mmヘッドレール
外付け用ブラケット

50mmヘッドレール
外付け用ブラケット

ブラケット
取り付けネジ

チェーン
クリップ

41x10mm
ブラケット
スペーサー

【窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合】

製品幅(W)mm	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1	チェーンクリップ※2
W<1118	2	2	1
1118≤W≤1778	3	3	
1778<W	4	4	

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属しますが、鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

※2 チェーンタイプ、チェーンタッチタイプの場合のみ、チェーンクリップが付属します。

【窓枠正面付け、壁面付けの場合】

製品幅(W)mm	外付け用ブラケット※1	ブラケット取り付けネジ※2	41x10mmブラケットスペーサー ※3	チェーンクリップ ※4
W<1118	2	4	2	1
1118≤W≤1778	3	6	3	
1778<W	4	8	4	

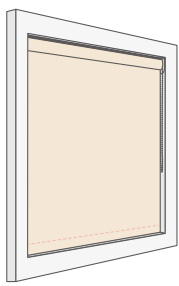
※1 チェーンタイプの製品幅が1270mmまたは1270mm以下、もしくはコードレスの場合、38mmヘッドレール外付け用ブラケットが付属します。チェーンタイプの製品幅が1271mm 以上 または チェーンタッチタイプの場合、50mmヘッドレール外付け用ブラケットが付属します。

※2 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。 通常は19mmのネジが付属します。壁面付けでブラケットスペーサー1個使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。

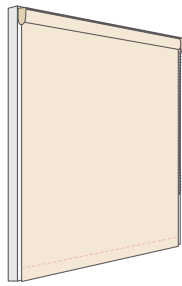
※3 壁面付けでブラケットスペーサーの数量は1個の場合で、2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。ご指定がない場合(標準)、ブラケットスペーサーは付属しません。スペーサーが必要なときは漏れがないよう、注文内容に十分ご注意ください。

※4 チェーンタイプ、チェーンタッチタイプの場合のみ、チェーンクリップが付属します。

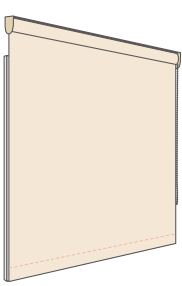
窓枠天井付け / 鴨居付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



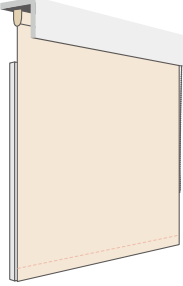
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



壁面付け
(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)

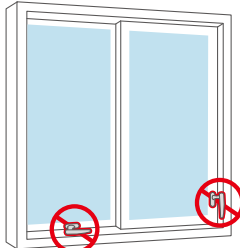


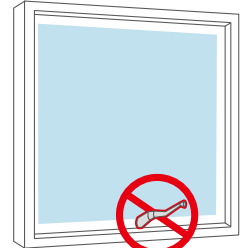
カーテンボックス付け
(カーテンボックスの中に取り付ける場合)

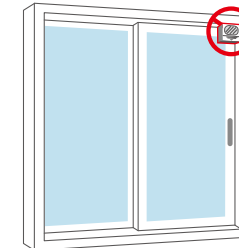


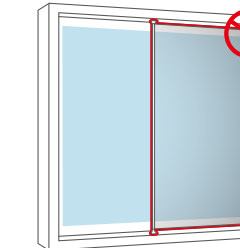
2-1 窓枠天井付け / 鴨居付け

条件 1 障害物など干渉するものがないこと

EX. ハンドル

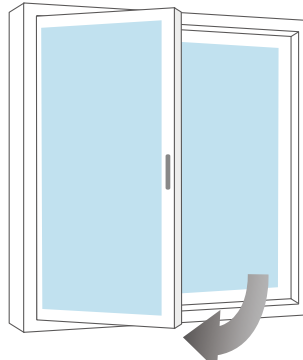
クランク

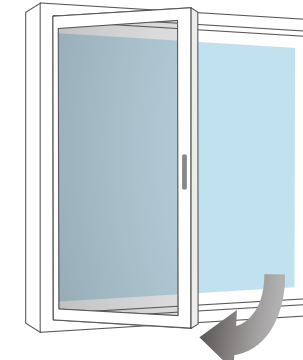
セキュリティセンサー

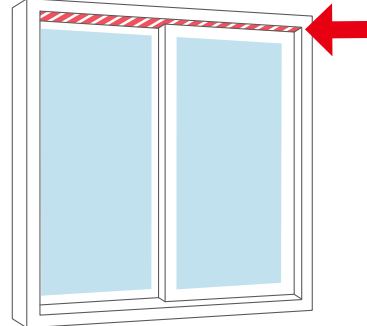
網戸の収納仕組

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

条件 3 下地が木材であること

EX. 内開きの窓

内開きの網戸

ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

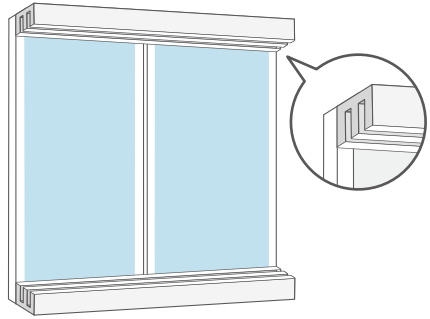
条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品動作へ干渉する物等には十分ご注意ください。

仕様と構造

取り付け条件

採寸方法

取り付け方法

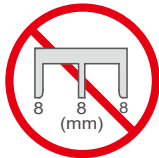
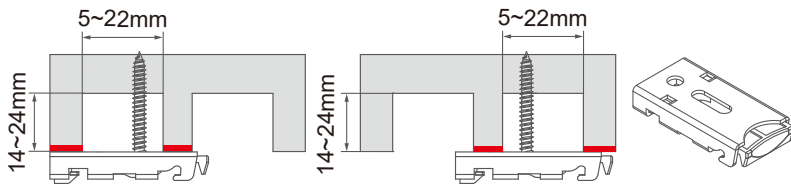


【鴨居付け】

和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

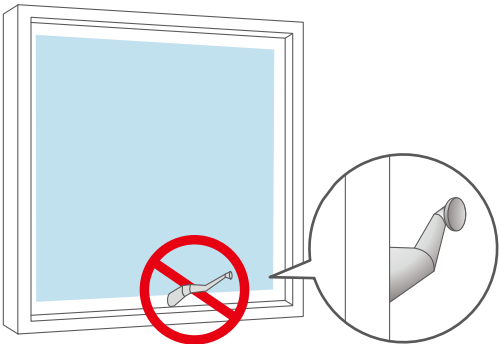
- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認し、シェードのブラケットが**2点の平面**に支えられることをご確認ください。なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わないことがあります。あらかじめご了承ください。
- 下地の厚みが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。

取り付けの側面図（おすすめの取り付け方法）



薄型鴨居の場合、左図の木の幅が8mm以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

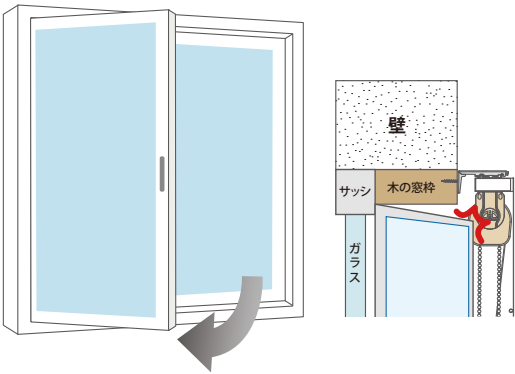
2-2 窓枠正面付け



条件 1 障害物など干渉するものがないこと

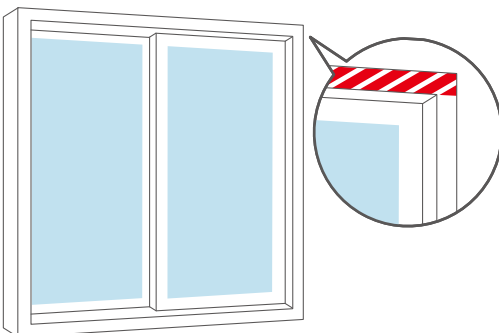
外に突出した取っ手などがある場合は、シェードの昇降を妨げます。取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにシェードを収めると、扉の開閉時の障害になります。（設置位置や量代をご確認ください）

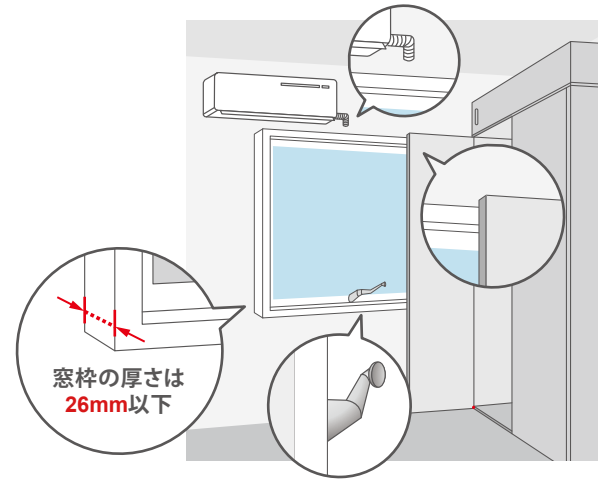
条件 3 下地が木材であること



ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること（金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません）

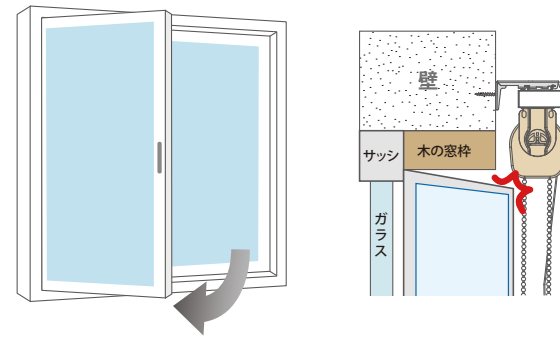
2-3 壁面付け

条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと



- 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと
- 窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと。突出するものがあるとシェードの昇降操作に支障をきたすことがあります

条件 2 内開き窓・内開き網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること



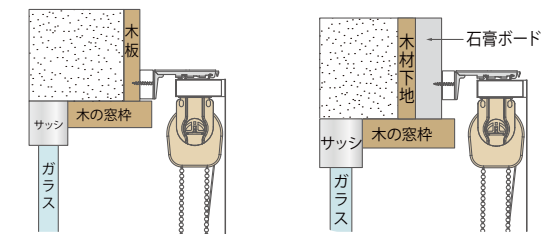
- 内開き仕様の窓・網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がでないよう、量代計算・採寸・取り付けなど十分ご注意ください。

条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

- 下地素材が下図の場合は、商品同梱のネジで取り付けが可能です。

木材、ベニヤである場合

石膏ボードの下に木材の下地がある場合

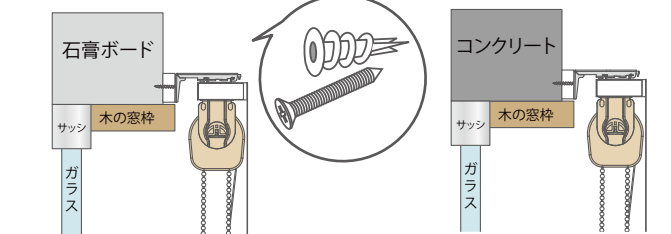


→ネジが下地まで届かない場合があるため、下地までの距離をご確認ください。

- 下地素材が下図の場合は、弊社ネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合（※）

木材の下地がなく、コンクリートのみの場合

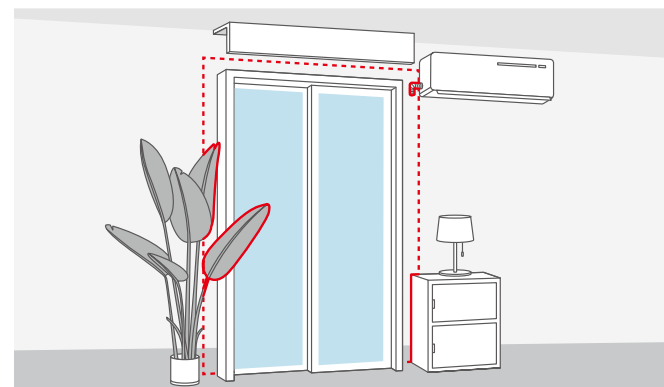


→石膏ボード専用アンカー必要があります。※非推奨

→コンクリート専用ネジの施工方法をご確認ください。

2-4 カーテンボックス付け

条件 1 窓枠周辺に障害物がないこと



2-5 必要寸法一覧表

取り付けタイプ	参考図	断面図&必要寸法	
		チェーンタイプ*3 コードレスタイプ (38mmヘッドレール)	チェーンタイプ*3 チェーンタッチタイプ (50mmヘッドレール)
窓枠天井付け*1		 55mm	 68mm
浅天井付け (製品が窓枠から若干はみ出ます)		 45mm	 55mm
鴨居付け*2		 55mm	 68mm
窓枠正面付け		 45mm	 45mm
壁面付け		 41mm	 41mm
カーテンボックス付け		 118mm	 135mm

※1 窓枠内付けで製品を収める際、量代が厚くなり、窓枠から突き出ることがあります。

※2 設置場所によっては、製品が窓枠から突き出ることがあります。

※3 チェーンタイプ、幅が1270mmまたは1270mm以下の場合、38mmのヘッドレールを製作して、幅が1270mmを超える場合は、50mmのヘッドレールを製作します

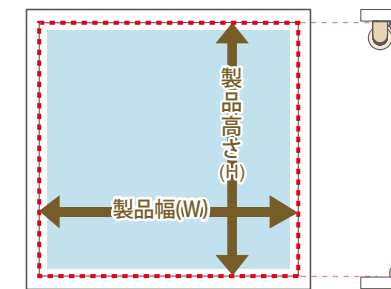
【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

【採寸時のご注意】

1. 新築等の図面サイズで注文すると、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。
必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。
2. 窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。
取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

3-1 窓枠天井付け / 鴨居付け

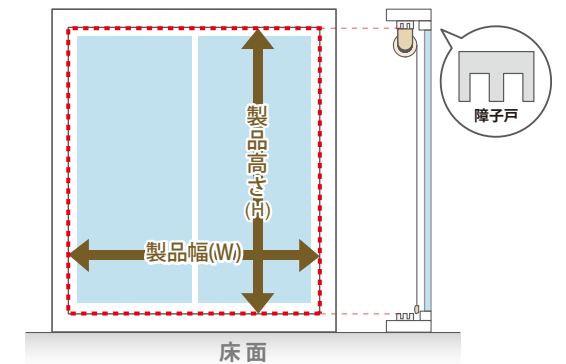


製品幅

窓枠の内側寸法を両端から測定

製品高さ

鴨居付けの場合



製品幅

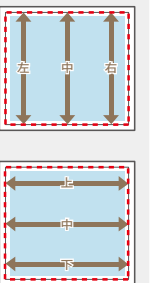
窓枠の内側寸法を両端から測定

製品高さ

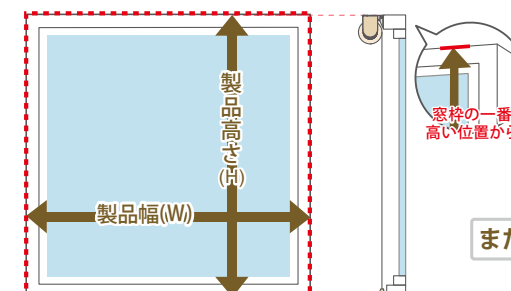
窓枠上面から床面までを測定

ご注意ください

1. 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに3か所以上(左中右、上中下など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
2. 「枠内実寸サイズ」「製品実寸サイズ」のいずれでもご注文いただけます。
3. 幅のみ窓枠内に収まるように、工場で1台につき9mm引いて製作します。(サイドキャップのスペースを確保するため)
4. 製品を天井に設置して使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。
必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。



3-2 窓枠正面付け



製品幅

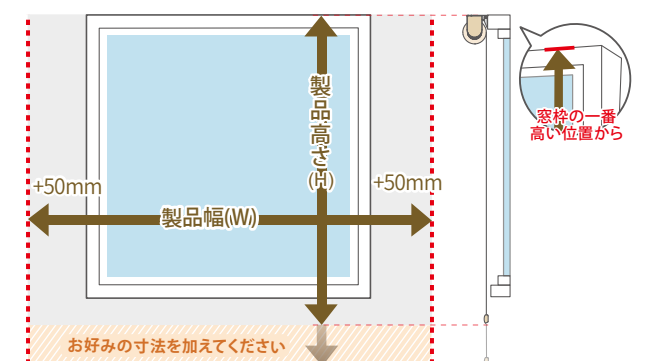
窓枠の外側寸法を両端から測定

- ・窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。

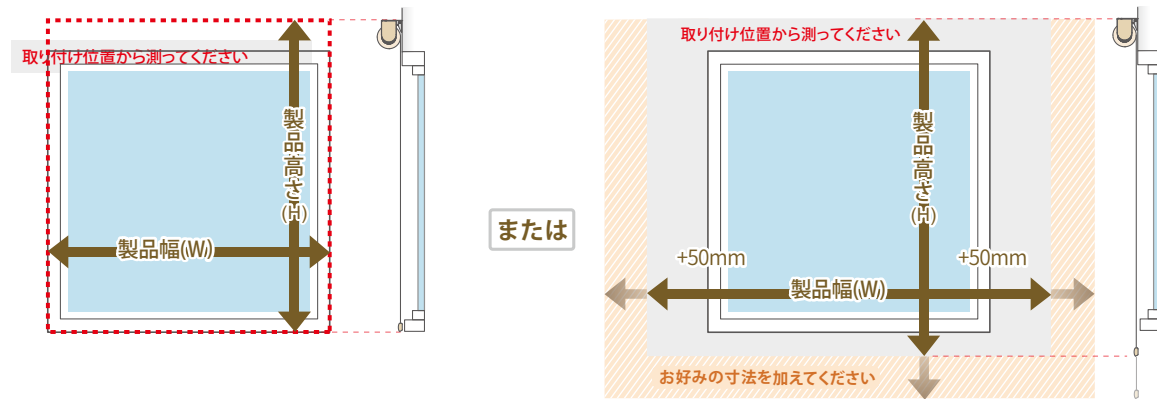
製品高さ

窓枠の外側寸法を両端から測定

- ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。



3-3 壁面付け



製品幅

窓枠の外側寸法を両端から測定

- ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。
- ・窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。

製品高さ

取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定

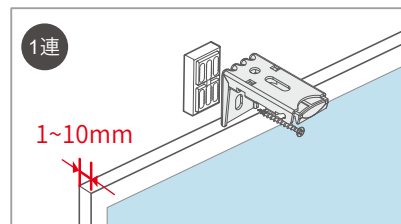
- ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

壁面採寸取り付け時の注意

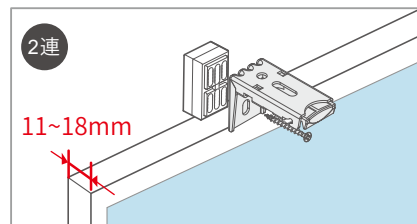
壁面に取り付ける場合は、下記のことを確認してください。

- ① 壁面と窓枠に段差があるかどうかを確認してください。
→ 壁面と窓枠に段差がある場合は、それを解消するために、ブラケットスペーサーの使用が必要になります。
- ② オプションで必要数をご選択ください。

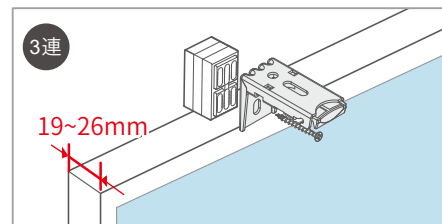
壁面と窓枠の段差が1~10mm：1連



壁面と窓枠の段差が11~18mm：2連



壁面と窓枠の段差が19~26mm：3連

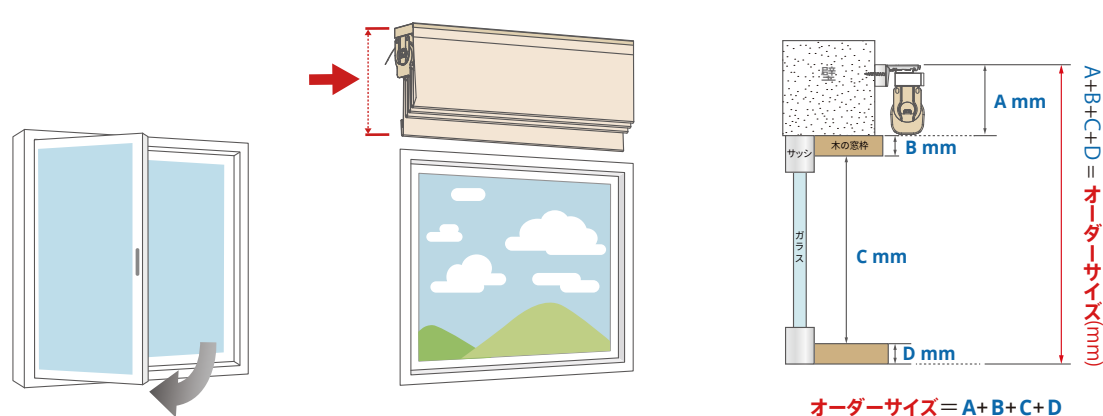


■ 内開きの窓・網戸がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合のご注文サイズについて

内開きの窓や網戸がある場合(図1)や、窓枠上に製品を収めたい場合(図2)は、採寸と取り付けの際、畳代とシェードを設置する高さにご注意ください。採寸の際に、下記の計算が必要となります。 ※シェードを上げきった位置が窓枠の上に収まる想定です

(図1)

(図2)

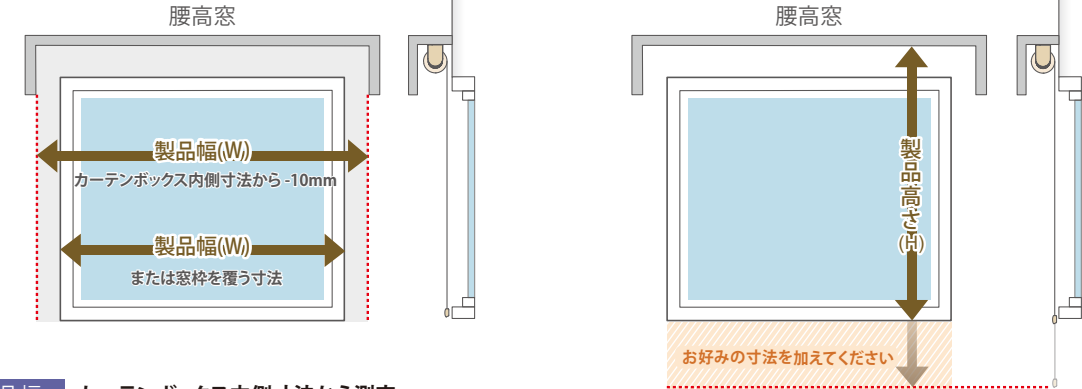


オーダーサイズ = A + B + C + D

※ A=巻き代≒357mm

※ あくまで目安となります。ご了承ください。

3-4 カーテンボックス付け



製品幅

カーテンボックス内側寸法から測定

- ・カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。

製品高さ

取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定

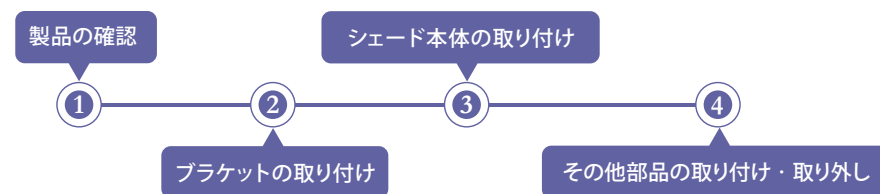
- ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

04 取り付け方法

ご注意ください ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	 俯瞰図	 ブラケットが一直線に揃っていない
	 正面図	 ブラケットが一直線に揃っていない
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること	 側面図	 ビスが斜め締めになってしまい、ビス頭がしっかりとブラケットに密着していない

■ 取り付けの手順



4-1 製品の確認

- 内容物にキズつかないよう開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
 - ・シェード本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

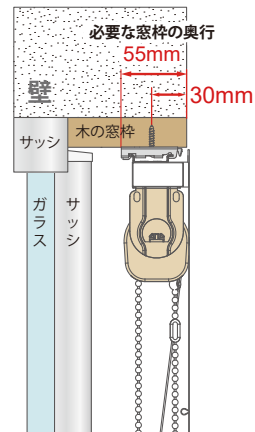
注意 取り付けが完了するまで操作はしないでください。故障の原因になります。

4-2 ブラケットの取り付け

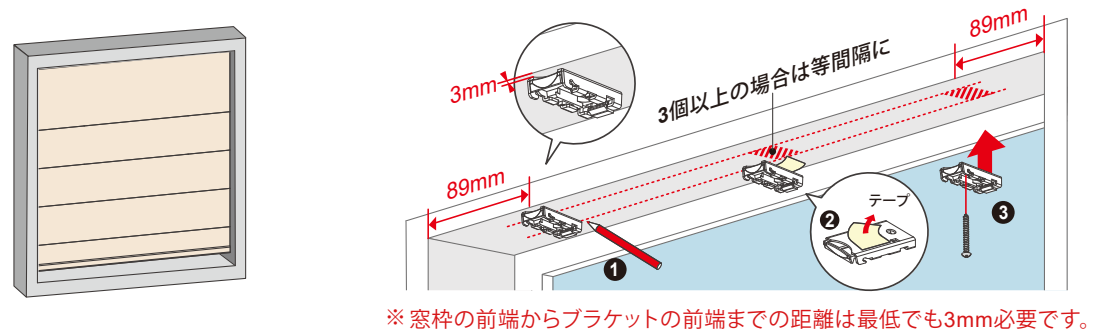
- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約89mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

ご注意ください

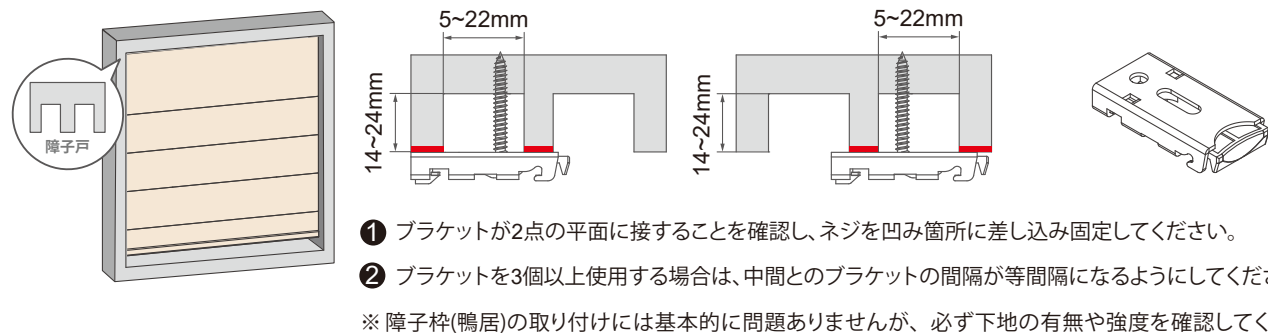
ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取り付け後に、まずブラケットの透明のプラスチック部品を押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取り付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性がございます。ご注意ください。その際は、ネジを1回転ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の上昇を妨げ、製品を破損する恐れがあります。



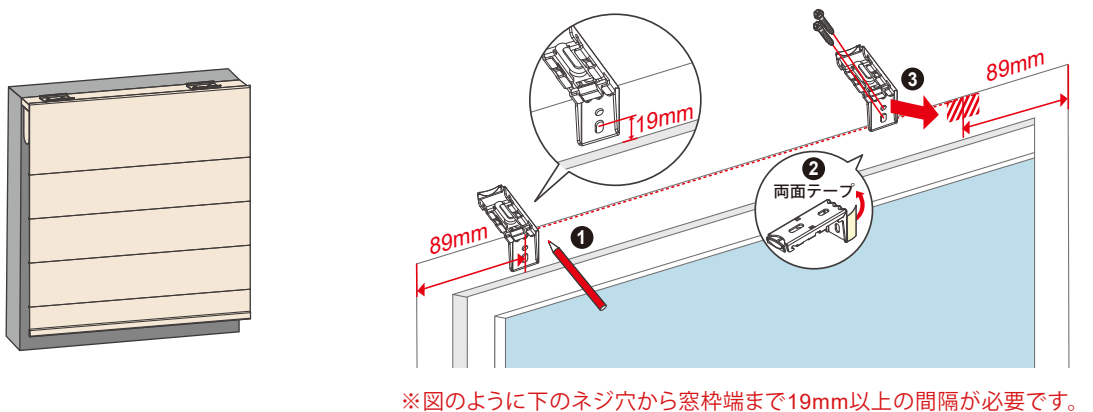
窓枠天井付け



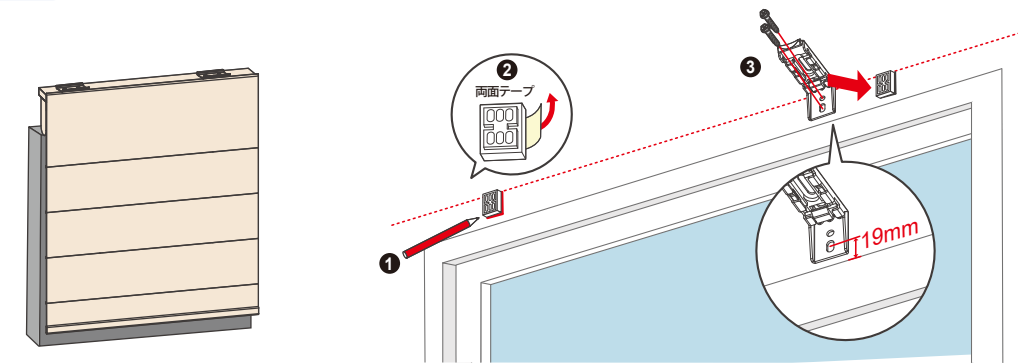
鴨居付け



窓枠正面付け

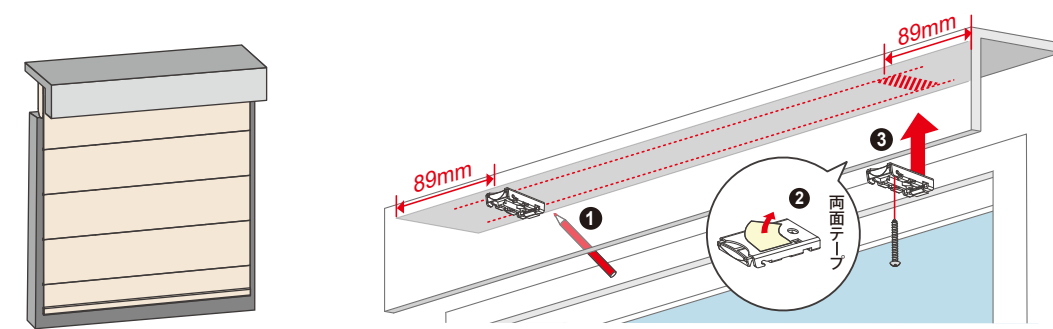


壁面付け



- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所ブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。
- 図のように下のネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔が必要です。

カーテンボックス付け

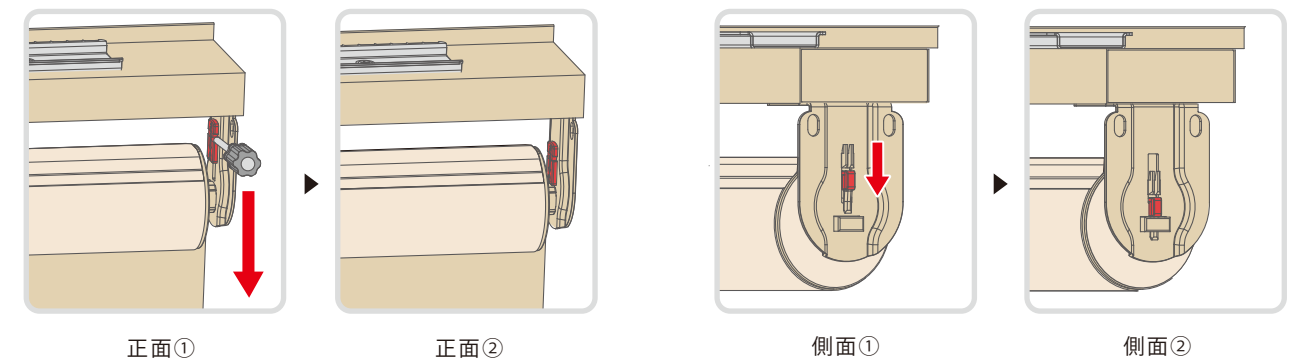


- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約89mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

4-3 シェード本体の取り付け・取り外し

4-3-1 シェード本体の取り付け

- チェーンタイプ、チェーンタッチタイプの場合は、図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



正面①

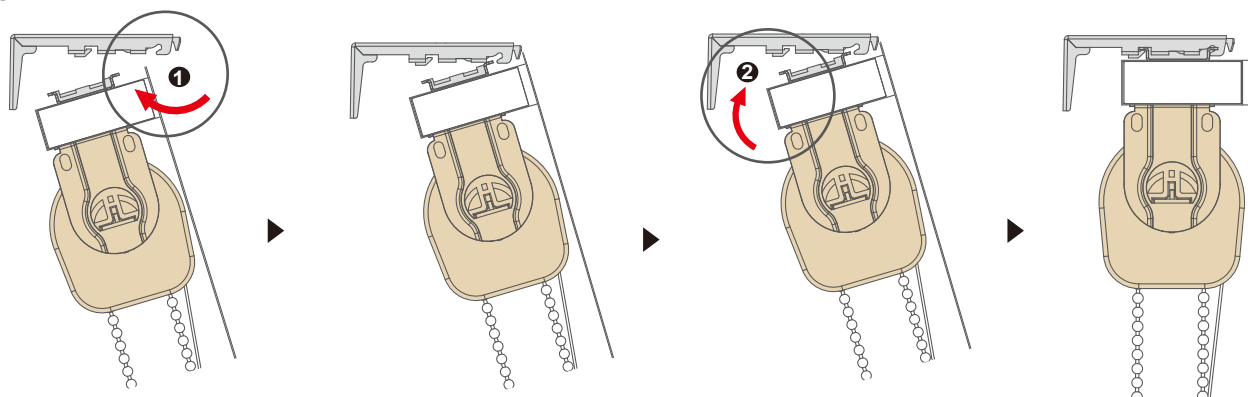
正面②

側面①

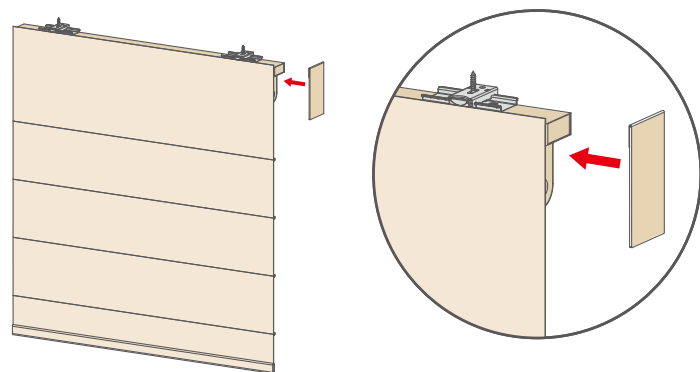
側面②

■ シェード本体を、下記の手順でブラケットに固定します。

- ① サポートフレーム先端のツメをブラケット前縁の逆フックに差し込みます。
- ② その後、手首でヘッドレールをしっかりと後ろから掴み、奥のはめ込み部分に押し込んでしっかりと固定します。

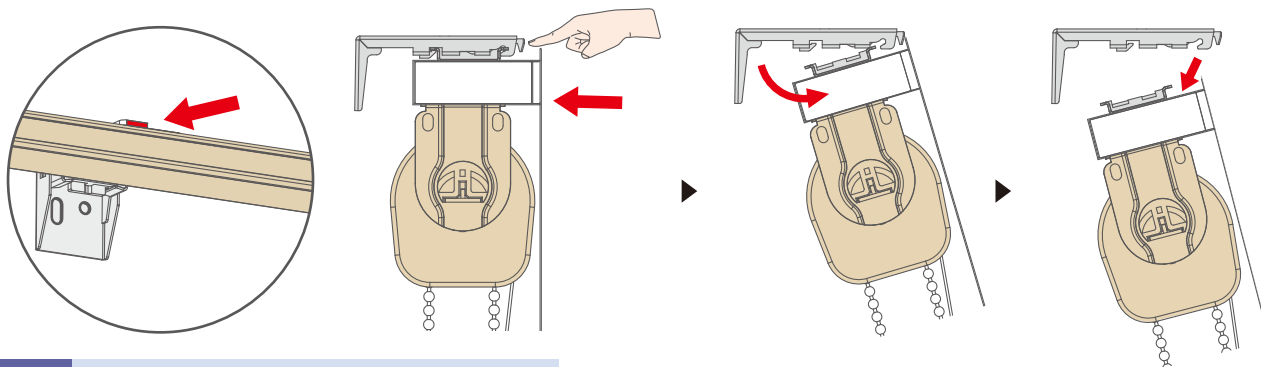


4-3-2 サイドキャップの取り付け



4-3-3 シェード本体の取り外し

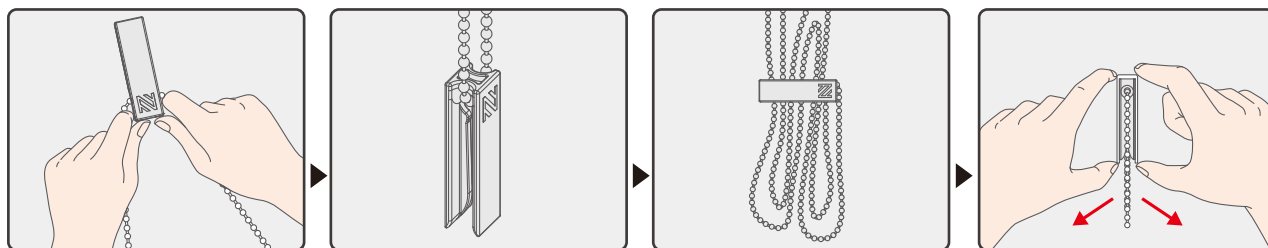
シェード本体を締めてから、ブラケットのプラスチック部品を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックをはずします。



4-4 その他部品の取り付け・取り外し

■ チェーンクリップの取り付け(チェーンタイプ/チェーンタッチタイプ) ■ チェーンクリップの使い方 ■ チェーンクリップの取り外し

1. チェーンクリップをチェーンの任意の位置で挟みます。



2. 両手でチェーンを支えながら、両親指でチェーンクリップを押してください。
3. カチッと音がするまで(チェーンクリップ最奥まで)チェーンを押し込みます。
- 余ったチェーンをチェーンクリップに挟み込みながらお子さまの手の届かない高さでまとめましょう。
- チェーンクリップ挟み口を下に向け、両手でゆっくり開きます。

注意 お子様をチェーンで遊ばせないでください。チェーンが首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でチェーンを束ねて、チェーンクリップで固定してください。

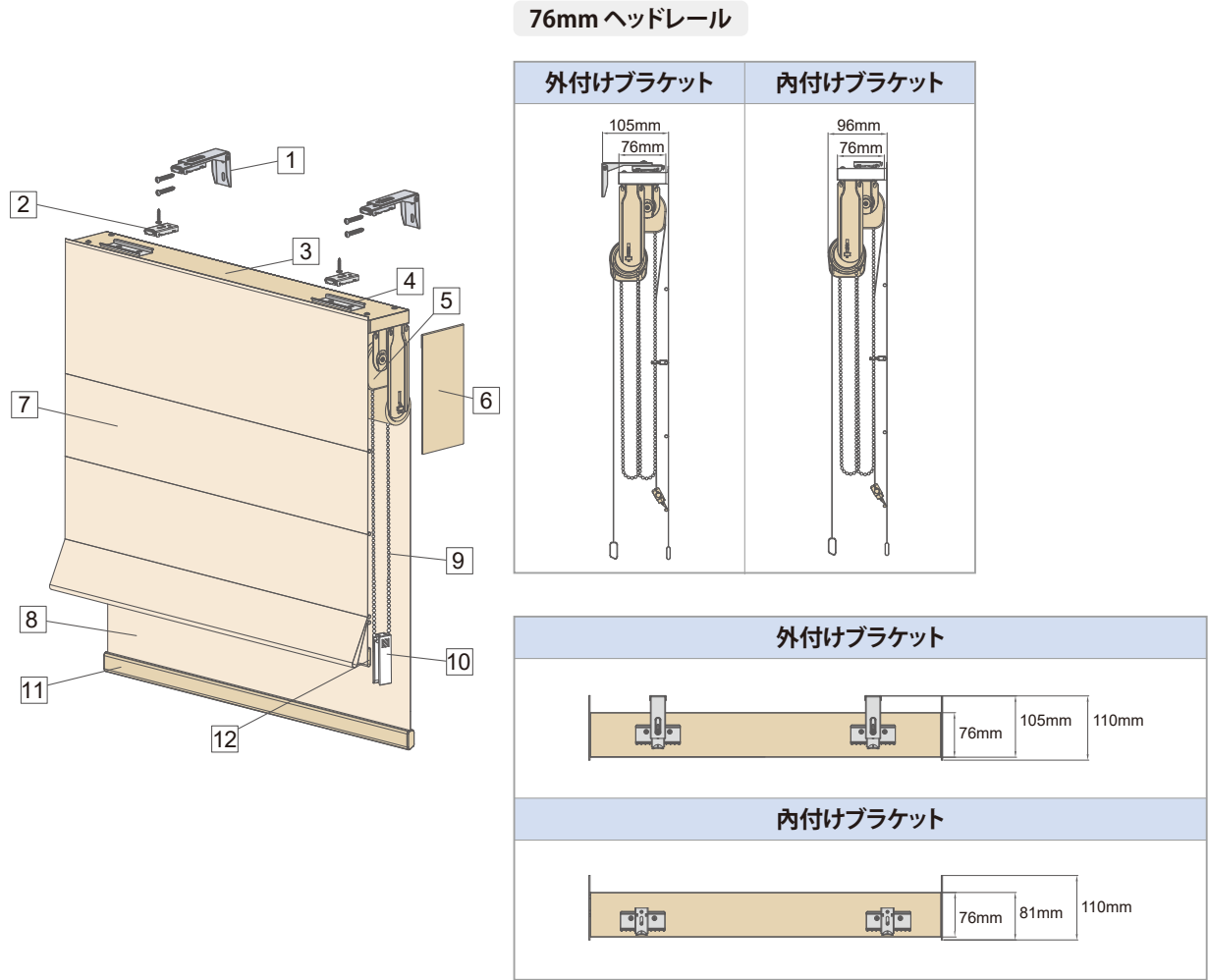


Roman Shade - Dual Shade

ローマンシェード デュアルシェード

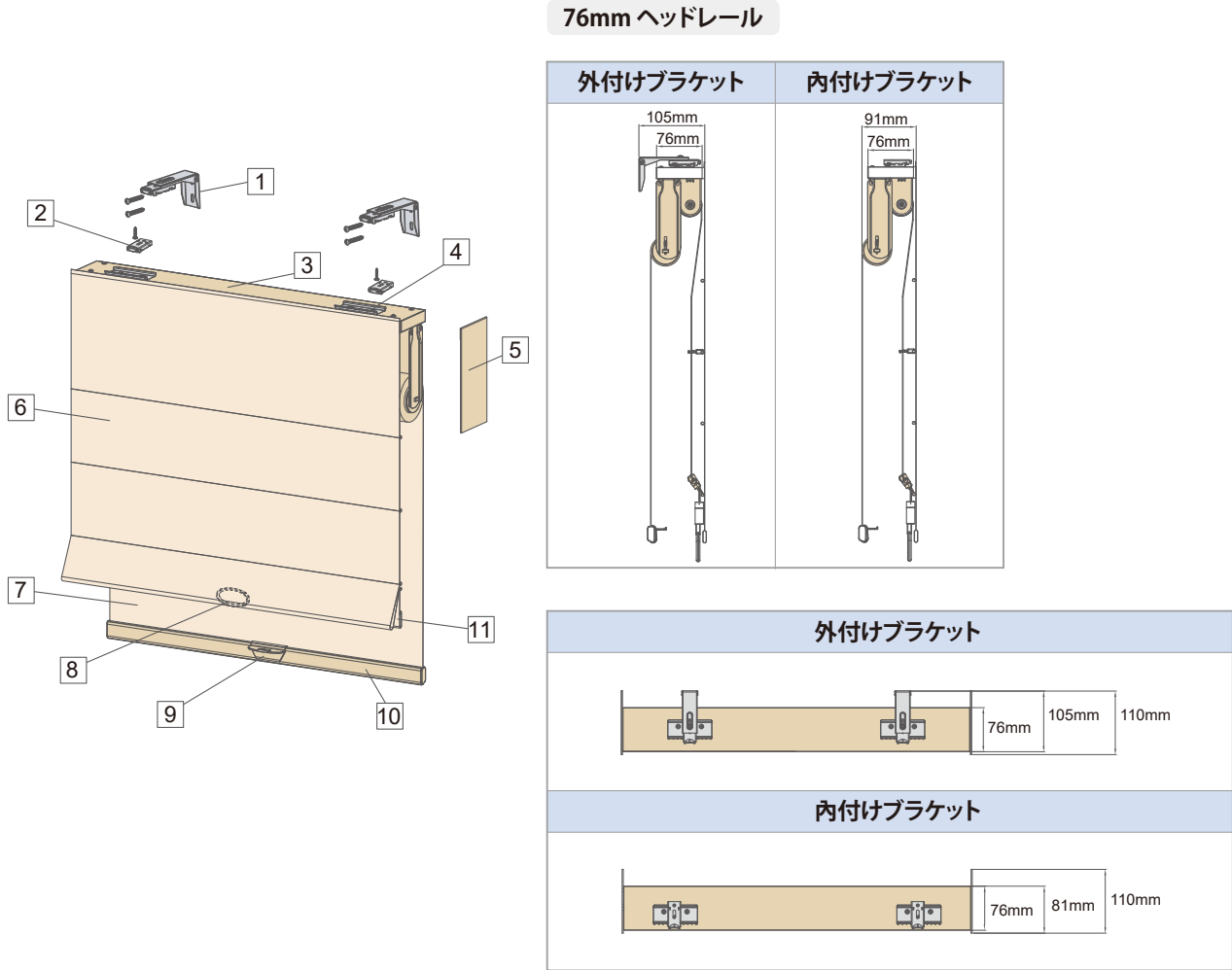
チェーンタイプ
チェーンタッチタイプ
コードレスタイプ

1-1 チェーンタイプ、チェーンタッチタイプ



部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	-
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	-
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) サポートフレーム	メタル	-
(5) 操作部	メタル及び樹脂成型品	-
(6) サイドキャップ	生地により異なります	-
(7) ローマンシェード	生地により異なります	-
(8) ロールスクリーン	生地により異なります	-
(9) ボールチェーン	ステンレス	-
(10) チェーンクリップ	樹脂成型品	透明
(11) ボトムレール(ロールスクリーン)	アルミニウム	-
(12) ボトムレール (ローマンシェード)	アルミニウム	袋縫い仕様

1-2 コードレスタイプ



部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) サポートフレーム	メタル	-
(5) サイドキャップ	生地により異なります	-
(6) ローマンシェード	生地により異なります	-
(7) ロールスクリーン	生地により異なります	-
(8) グリップ (ローマンシェード)	樹脂成型品	透明
(9) グリップ (ロールスクリーン)	樹脂成型品	透明
(10) ボトムレール (ロールスクリーン)	アルミニウム	
(11) ボトムレール (ローマンシェード)	アルミニウム	袋縫い仕様

1-3 製作可能寸法 (幅:高さの比率1:3以内)

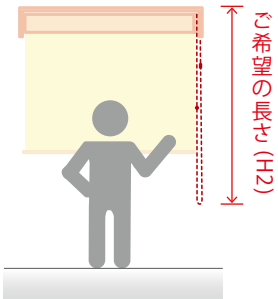
操作メカ	幅W(mm)	高さH(mm)	最大面積 m ² ※機構部を含む製品室内側総面積
チェーンタイプ	365≦W≦2400	610≦H≦2550	6.1
チェーンタッチタイプ		610≦H≦2400	4.8
コードレスタイプ	520≦W≦2400	610≦H≦2400	3.7

1-4 操作部配置

操作メカ	操作部	配置	
		室内側 (ローマンシェード)	室外側 (ロールスクリーン)
チェーンタイプ	操作メカ	右	左
チェーンタッチタイプ	操作メカ	右	左

1-5 操作部の長さ

吹き抜け窓や高所の窓等



操作メカ	製品高さ(H)	操作チェーンの長さ(標準仕様)
チェーンタイプ	610mm ~ 2550mm	H-76mm
チェーンタッチタイプ	H < 915mm	579mm
	915mm ≦ H < 1219mm	883mm
	1219mm ≦ H < 1524mm	1188mm
	1524mm ≦ H < 2134mm	1493mm
	H ≧ 2134mm	2103mm

設置箇所が高所の場合など、ご希望があれば長さをご指定ください (H2)。

操作チェーンの長さは標準の長さが目安の長さとなります。

また10ミリ単位で指定することもできます。

チェーンが短すぎると操作に支障をきたす場合がございます。ご注意ください。

(H2) = ヘッドレール上端からチェーン下端まで

最小指定可能寸法: チェーンタイプ H1-76mm / チェーンタッチタイプ 305mm

公差: 0mm~+40mm



操作メカ	操作ロッドの長さ(オプション)
コードレスタイプ	ノーマル&ロング

1-6 ブラケット(全操作メカ共通)

取り付けタイプ	名称	図面		
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット			
窓枠正面付け	外付け用ブラケット			

1-7 付属部品の数量

内付け用ブラケット	デュアル 外付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ	チェーンクリップ	グリップ (ロールスクリーン)

【 窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合 】

製品幅(W)mm	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1	チェーンクリップ※2	グリップ ※3
W<1118	2	2	2	1
1118≦W≦1778	3	3		
1778<W	4	4		

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。

通常は19mmのネジが付属しますが、鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

※2 チェーンタイプ、チェーンタッチタイプの場合のみ、チェーンクリップが付属します。

※3 コードレスタイプの場合のみ、グリップ(ロールスクリーン用)が付属します。

【 窓枠正面付けの場合 】(壁面付け対応不可)

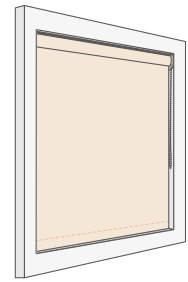
製品幅(W)mm	外付け用ブラケット※1	ブラケット取り付けネジ※1	チェーンクリップ※2	グリップ ※3
W<1118	2	4	2	1
1118≦W≦1778	3	6		
1778<W	4	8		

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。31mmのネジが付属します。

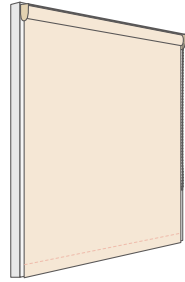
※2 チェーンタイプ、チェーンタッチタイプの場合のみ、チェーンクリップが付属します。

※3 コードレスタイプの場合のみ、グリップ(ロールスクリーン用)が付属します。

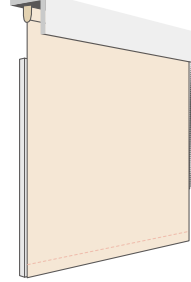
窓枠天井付け / 鴨居付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)

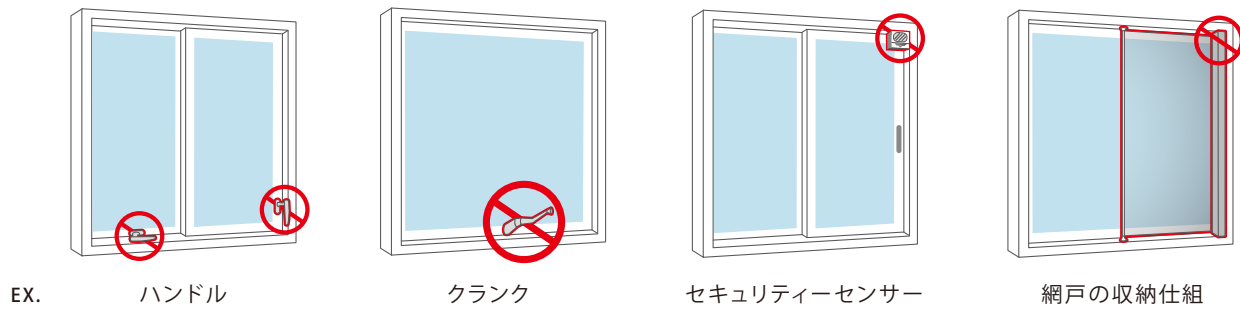


カーテンボックス付け
(カーテンボックスの中に取り付ける場合)

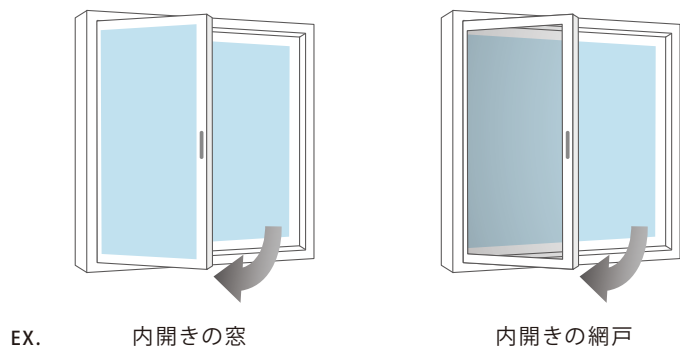


2-1 窓枠天井付け / 鴨居付け

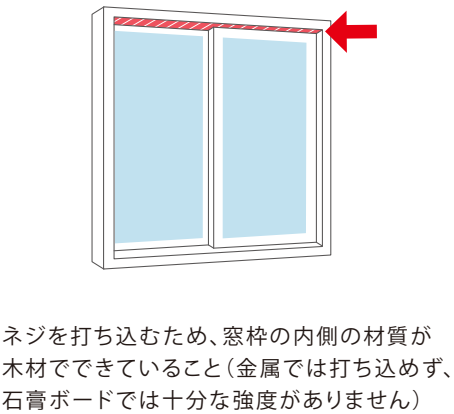
条件 1 障害物など干渉するものがないこと



条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



条件 3 下地が木材であること

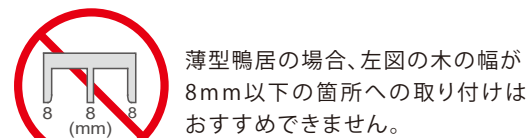
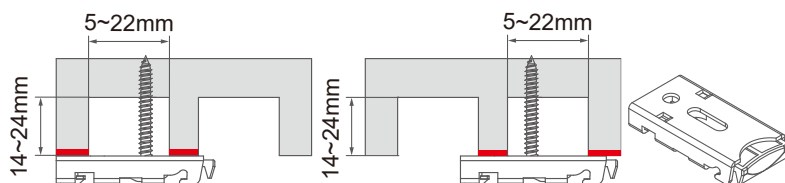


【鴨居付け】

和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

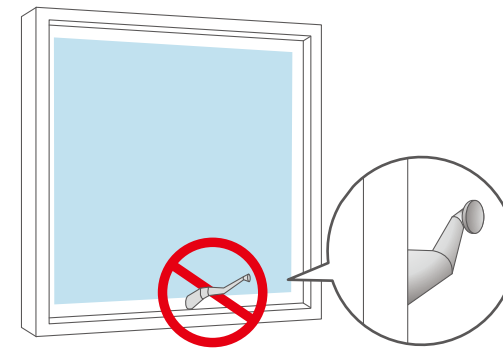
- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認し、シェードのブラケットが2点の平面に支えられることをご確認ください。なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わないことがあります。あらかじめご了承ください。
- 下地の厚みが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。

取り付けの側面図 (おすすめの取り付け方法)



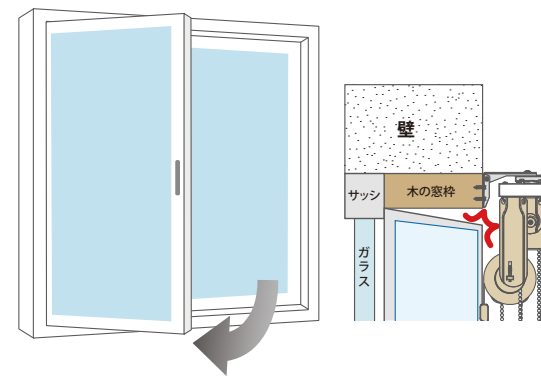
2-2 窓枠正面付け

条件 1 障害物など干渉するものがないこと



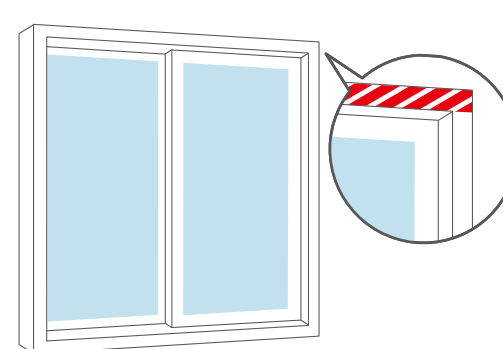
外に突出した取っ手などがある場合は、シェードの昇降を妨げます。取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



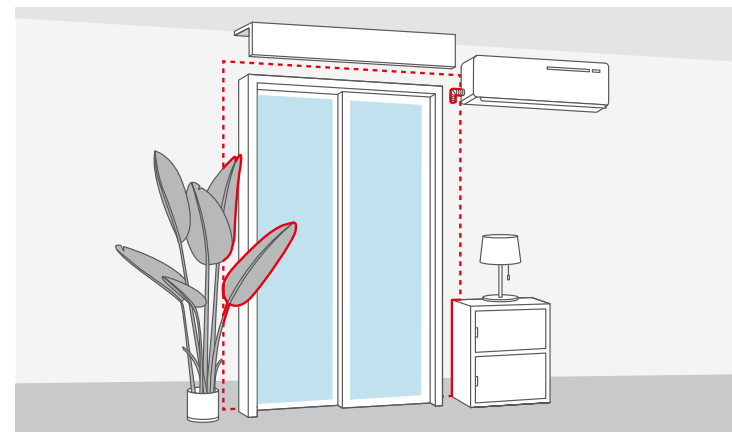
内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにシェードを収めると、扉の開閉時の障害になります。(設置位置や畳代をご確認ください)

条件 3 下地が木材であること



2-3 カーテンボックス付け

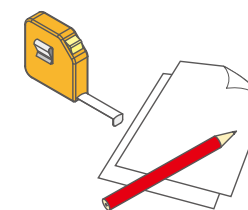
条件 1 窓枠周辺に障害物がないこと



2-4 必要寸法一覧表

取り付け タイプ	参考図	断面図	必要寸法		
			チェーンタイプ	チェーンタッチタイプ	コードレスタイプ
窓枠天井付け *1			115mm		
浅天井付け (製品が窓枠から若干はみ出ます)			102mm		
鴨居付け *1			115mm		
窓枠正面付け			56mm		
カーテン ボックス付け			175mm		

※1 設置場所によっては、製品が窓枠から突き出ることがあります。



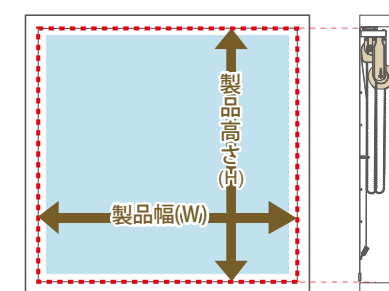
【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

【採寸時のご注意】

- 1.新築等の図面サイズで注文すると、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。
必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。
- 2.窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。
取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

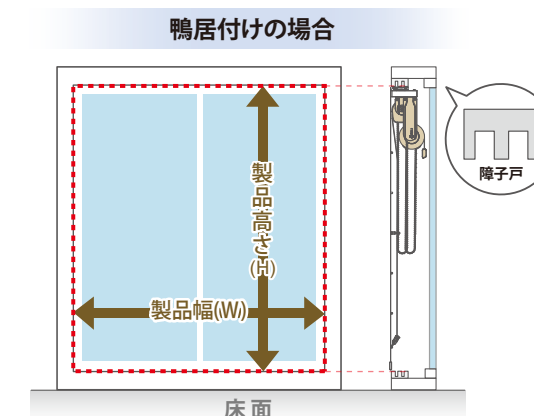
3-1 窓枠天井付け / 鴨居付け



製品幅

窓枠の内側寸法を両端から測定

製品高さ



製品幅

窓枠の内側寸法を両端から測定

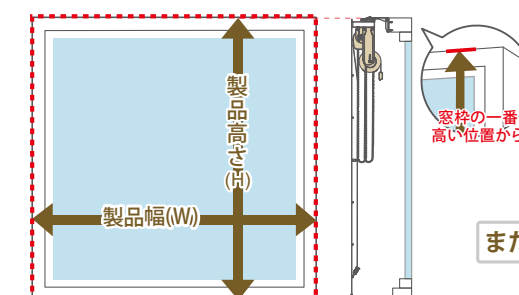
製品高さ

窓枠上面から床面までを測定

ご注意ください

1. 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに 3 か所以上(左中右、上中下など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
2. 「枠内実寸サイズ」「製品実寸サイズ」のいずれでもご注文いただけます。
3. 幅のみ窓枠内に収まるように、工場ですべて9mm引いて製作します。(サイドキャップのスペースを確保するため)
4. 製品を天井に設置して使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。
必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。

3-2 窓枠正面付け



品幅

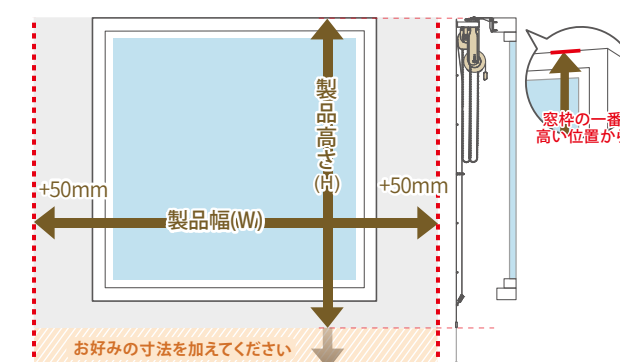
窓枠の外側寸法を両端から測定

- ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。
- ・窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。

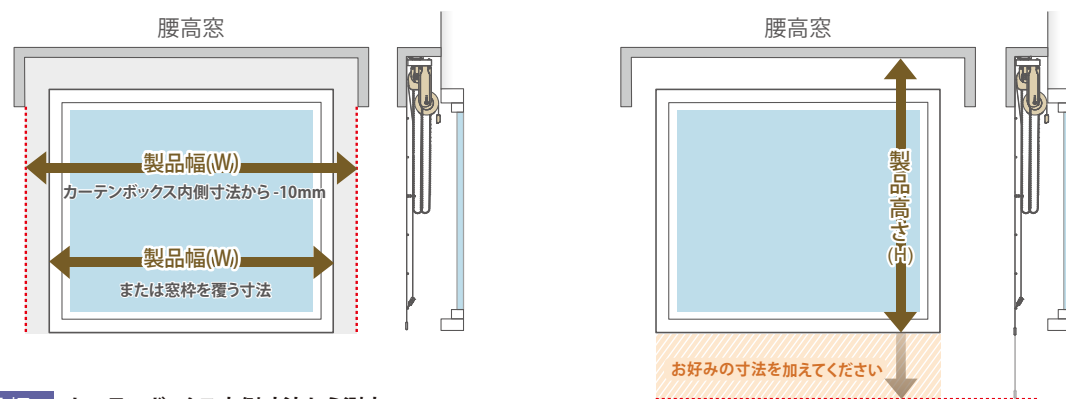
製品高さ

取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定

- ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。



3-3 カーテンボックス付け



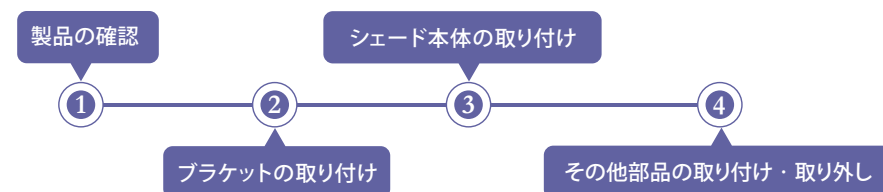
- 製品幅** カーテンボックス内側寸法から測定
・カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

04 取り付け方法

ご注意ください ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	俯瞰図 	ブラケットが一直線に揃っていない
	正面図 	ブラケットが一直線に揃っていない
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること	側面図 	ビスが斜め締めになってしまい、ビス頭がしっかりとブラケットに密着していない

■ 取り付けの手順



4-1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないように開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
・シェード本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

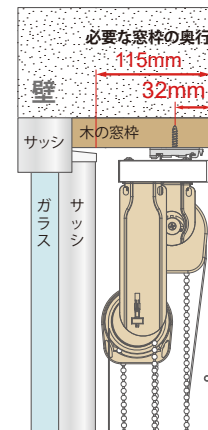
注意 取り付けが完了するまで操作はしないでください。故障の原因になります。

4-2 ブラケットの取り付け

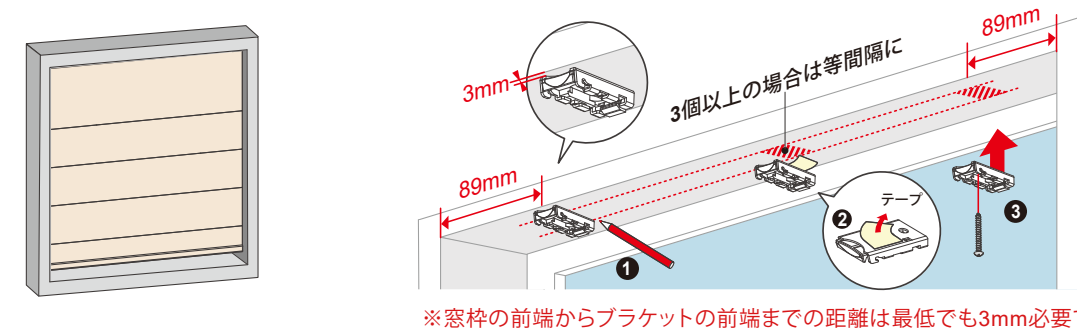
- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約89mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

ご注意ください

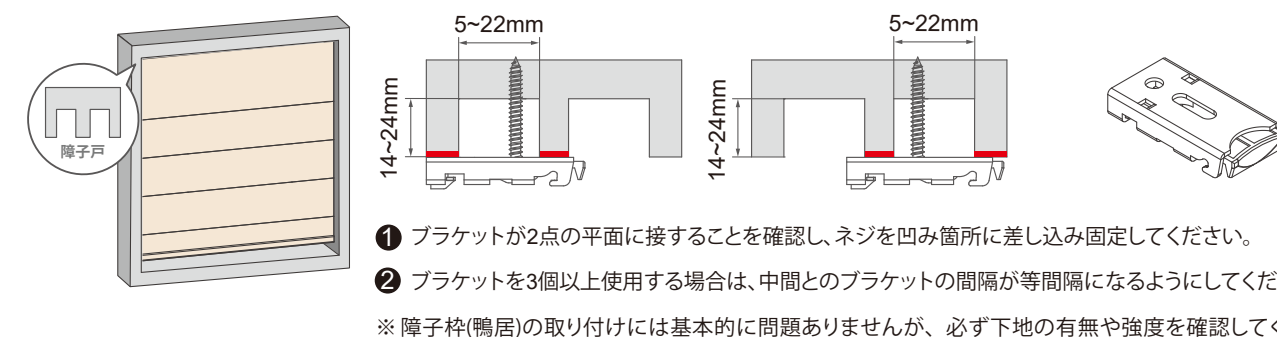
ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取り付け後に、まずブラケットの透明のプラスチック部品を押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取り付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性がございます。ご注意ください。その際は、ネジを1回転ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の上昇を妨げ、製品を破損する恐れがあります。



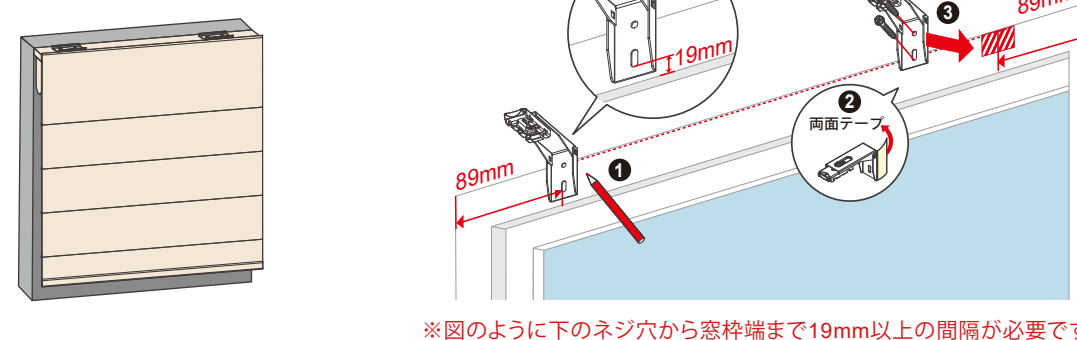
窓枠天井付け



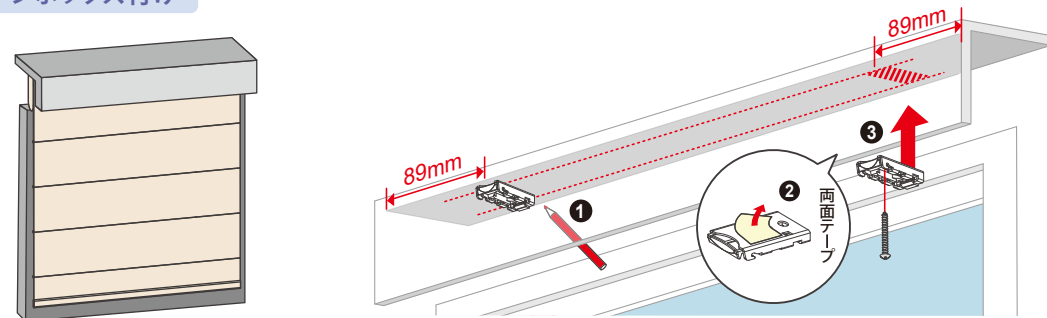
鴨居付け



窓枠正面付け



カーテンボックス付け

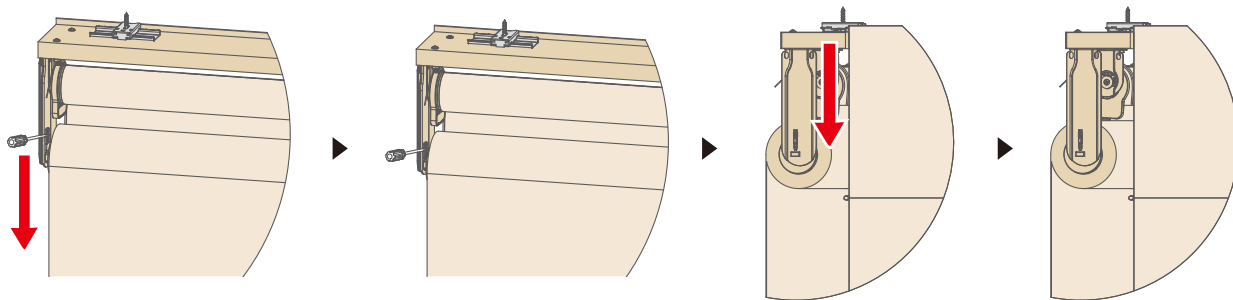


- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約89mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間とのブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

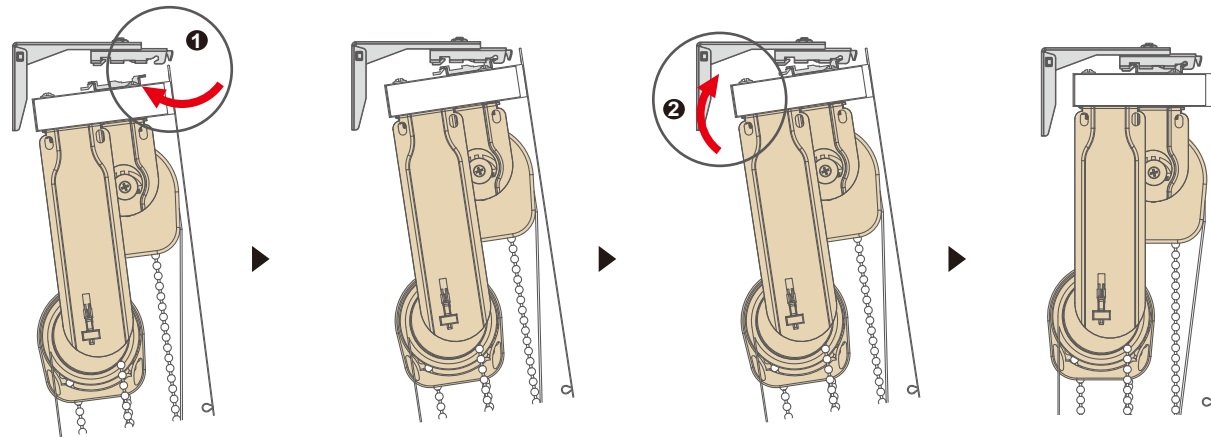
4-3 シェード本体の取り付け・取り外し

4-3-1 シェード本体の取り付け

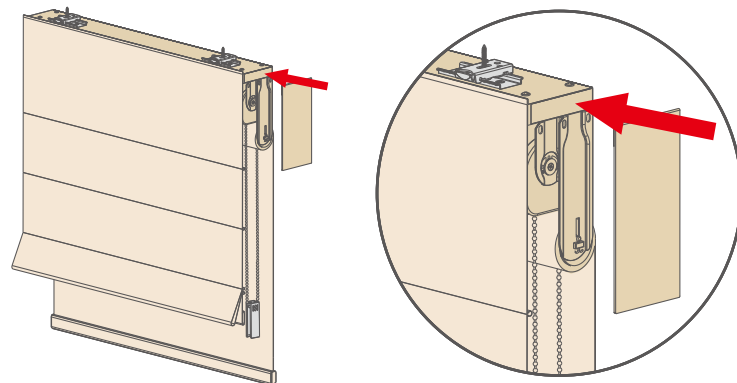
- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



- 製品本体を、下記の手順でブラケットに固定します。
 - ① サポートフレーム先端のツメをブラケット前縁の逆フックに差し込みます。
 - ② その後、手首でヘッドレールをしっかりと後ろから掴み、奥のはめ込み部分に押し込んでしっかりと固定します。

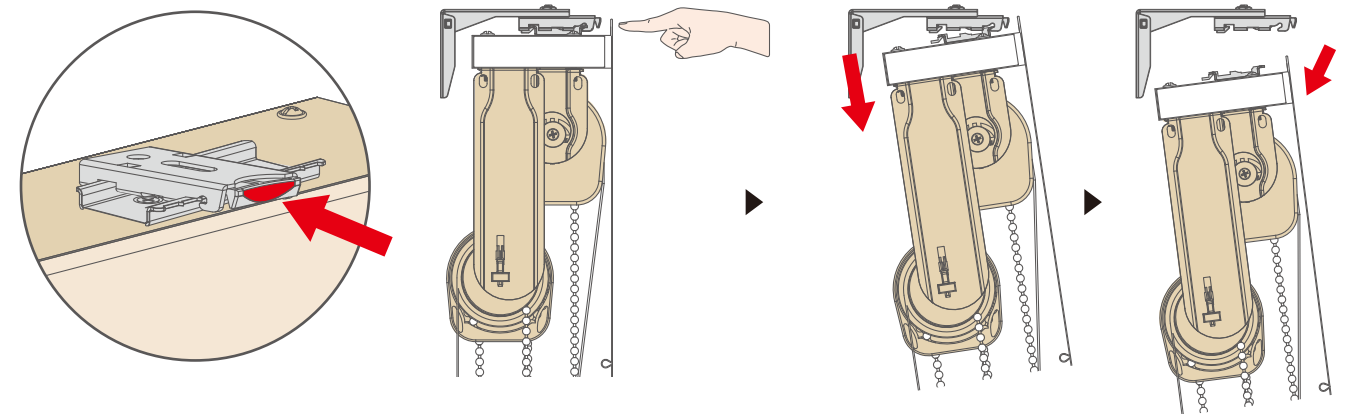


4-3-2 サイドキャップの取り付け



4-3-3 シェード本体の取り外し

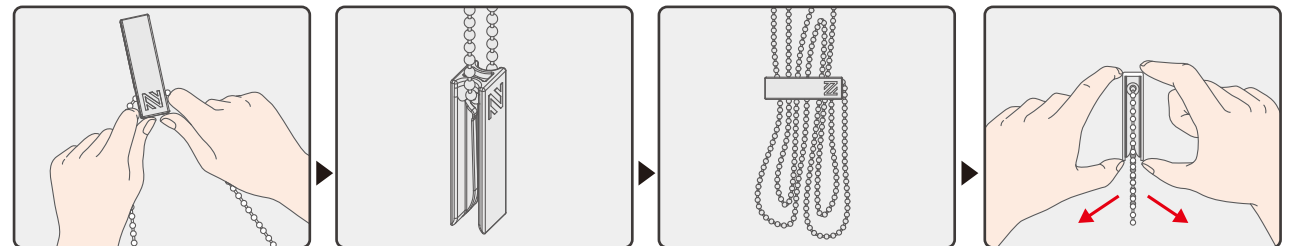
- 製品本体を締め、落下を防ぐために両手で後ろからヘッドレールを持ちます。ブラケットのプラスチック部品を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックをはずします。



4-4 その他部品の取り付け・取り外し

- チェーンクリップの取り付け(チェーンタイプ/チェーンタッチタイプ) ■ チェーンクリップの使い方 ■ チェーンクリップの取り外し

1. チェーンクリップをチェーンの任意の位置で挟みます。



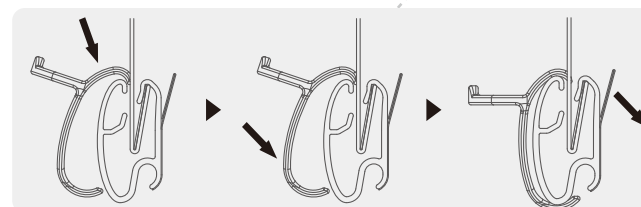
2. 両手でチェーンを支えながら両親指でチェーンクリップを押してください。
3. カチッと音がするまで(チェーンクリップ最奥まで)チェーンを押し込みます。



注意 お子様をチェーンで遊ばせないでください。チェーンが首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でチェーンを束ねて、チェーンクリップで固定してください。

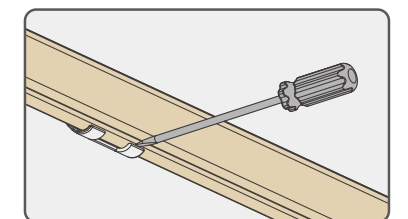
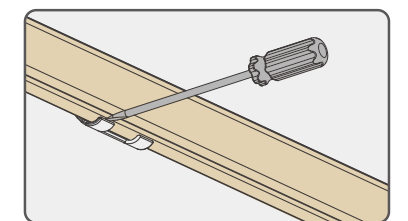
- ロールスクリーングリップの取り付け(コードレスタイプ)

ボトムレールの裏面にグリップ設置位置を示すシールが貼付されています。グリップ下部中央をシールに合わせ、上から下に向かってボトムレールにグリップを固定させてください。固定後はシールを剥がしてください。



- ロールスクリーングリップの取り外し(コードレスタイプ)

図のようにマイナスドライバーでグリップ下部から取り外します。





Roman Shade - Motor Single Shade

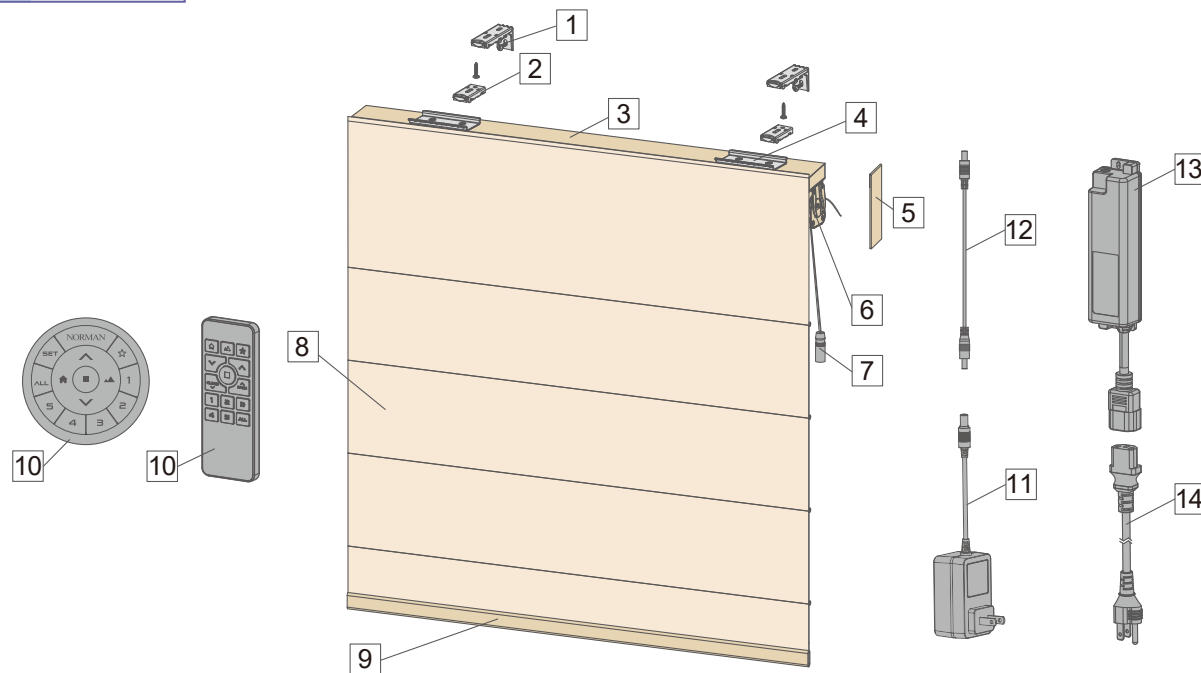
ローマンシェード シングルシェード

電動タイプ

シェード本体ACアダプタ式
e-スティック式

1-1 シェード本体ACアダプタ式

1-1-1 構造部品名



部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	-
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	-
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) サポートフレーム	メタル	-
(5) サイドキャップ	生地により異なります	-
(6) モーター＆手動スイッチ＆表示灯	メタル+樹脂成形品	-
(7) 電源接続ケーブル	メタル+樹脂成形品	ホワイトのみ
(8) シェード	生地により異なります	-
(9) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕様
(10) リモコン(RC-A01) / SmartDial™ G2	メタル+樹脂成形品	ブラックのみ
(11) 36W ACアダプタ	メタル+樹脂成形品	ブラック、ホワイト※1
(12) 65W ACアダプタ接続ケーブル	メタル+樹脂成形品	ホワイトのみ
(13) 65W ACアダプタ	メタル+樹脂成形品	ブラックのみ※2
(14) 65W ACアダプタ電源プラグ	メタル+樹脂成形品	ブラックのみ

※ 1 電源接続ケーブルに接続された状態で出荷されます。
※ 2 シャープスタイルで製品面積が4.8m²を超える場合、またはフォールドスタイルで製品面積が3.9m²を超える場合、65W AC アダプタを使用します。

1-1-2 製作可能寸法

ACアダプタ タイプ	幅W(mm)	高さH(mm)	最大面積 m ² ※機構部を含む製品室内側総面積	
			シャープスタイル	フォールドスタイル
36W ACアダプタ	520≦W≦2400	610≦W≦2550	4.8	3.9
65W ACアダプタ			5.7	4.9

1-1-3 本体の配置

	モーター(電源接続ケーブル) 手動スイッチの配置位置
標準	右
オプション	左



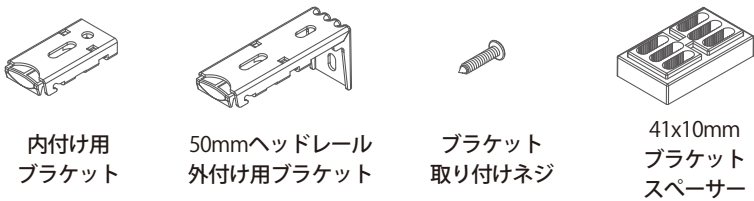
☎ 020-260210

シェード製品モデル	シェード本体 ACアダプタ式
給電方法	ACアダプタ
入力	100-240Vac,50/60Hz
出力	12-24Vdc,1.3A Max
無線電波タイプ	2.4G RF
モーター種類	DCブラシモーター

1-1-4 ブラケット(全操作メカ共通)

取り付けタイプ	名称	図面
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット	
窓枠正面付け 壁面付け	50mmヘッドレール 外付け用ブラケット	

1-1-5 付属部品の数量



【窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合】

製品幅(W)mm	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1
W<1118	2	2
1118≦W≦1778	3	3
1778<W	4	4

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属しますが、鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

【窓枠正面付け、壁面付けの場合】

製品幅(W)mm	外付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1	41x10mm ブラケットスペーサー※2
W<1118	2	4	2
1118≦W≦1778	3	6	3
1778<W	4	8	4

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。 通常は19mmのネジが付属します。

壁面付けでブラケットスペーサー1個使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。

※2 上記壁面付けでブラケットスペーサーの数量は1連の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
ご指定がない場合(標準)、ブラケットスペーサーは1連が付属します。注文内容に十分ご注意ください。

1-1-6 給電関連部品

【操作ユニット 別売り】本体複数台で共用可

リモコン(RC-A01)		SmartDial™ G2	
  図 201-220441		 SmartDial™ G2用 ベゼル 別売り   図 020-230277	
注文時に、1～5グループ設定可能。 『ALL』で同時一括操作可能。		1. 操作したいグループボタンを押すと選択されたグループボタンが光ります。点灯中の連携製品を操作できます。(グループボタン複数選択可) 2. 【ALL】ボタンを押すと、【ALL】ボタンが光ります。設定された全グループの一括操作が可能となります。 3. SmartDial™ G2機能割り当て表をご参照ください。	
製品仕様			
製品型番	RC-A01、ブラックのみ	製品型番	DIAL01、ブラックのみ
外形寸法	135mm×50mm×9.5mm	外形寸法	直径 67.6mm×高さ 21.2mm
重量(電池を含む)	62g ± 5g	重量(電池を含む)	74.5g ± 20g
電池種類	CR2032 3V (一次電池)×2個使用	電池種類	CR2032 3V (一次電池)×2個使用
無線電波タイプ	FM電波式2.4GHz	無線電波タイプ	独自規格RF (proprietary) 2.4GHz
動作環境温度	0℃ ～ 50℃	動作環境温度	0℃ ～ 50℃

- (1) 1グループに複数台のシェードを設定することが可能です。1台のシェードにつき最大5つのグループ設定が可能です。
(2) ご注文状況により、リモコンは本体と別梱包、または同時注文いただいた別製品にて同梱配送されます。あらかじめご了承くださいませ。
(3) リモコンまたはSmartDial™ G2のどちらか一方のみの使用で、シェード本体を操作することが可能です。
(4) リモコンは必ず手元に1台保有してください。

【電源アクセサリ】

36W ACアダプタ	65W ACアダプタ
電源に差し込み、本体に接続します。 電源接続コードの長さ1500mm	シャープスタイルで製品面積が4.8m²を超える場合、またはフォールドスタイルで製品面積が3.9m²を超える際に提供 電源に本体に接続し、電源に差し込みます。 電源コードの長さ1830mm

延長コードオプション



延長コード長さ2000mm

黒、白2色
(ACアダプタの色と同じです)

【技術規格表】

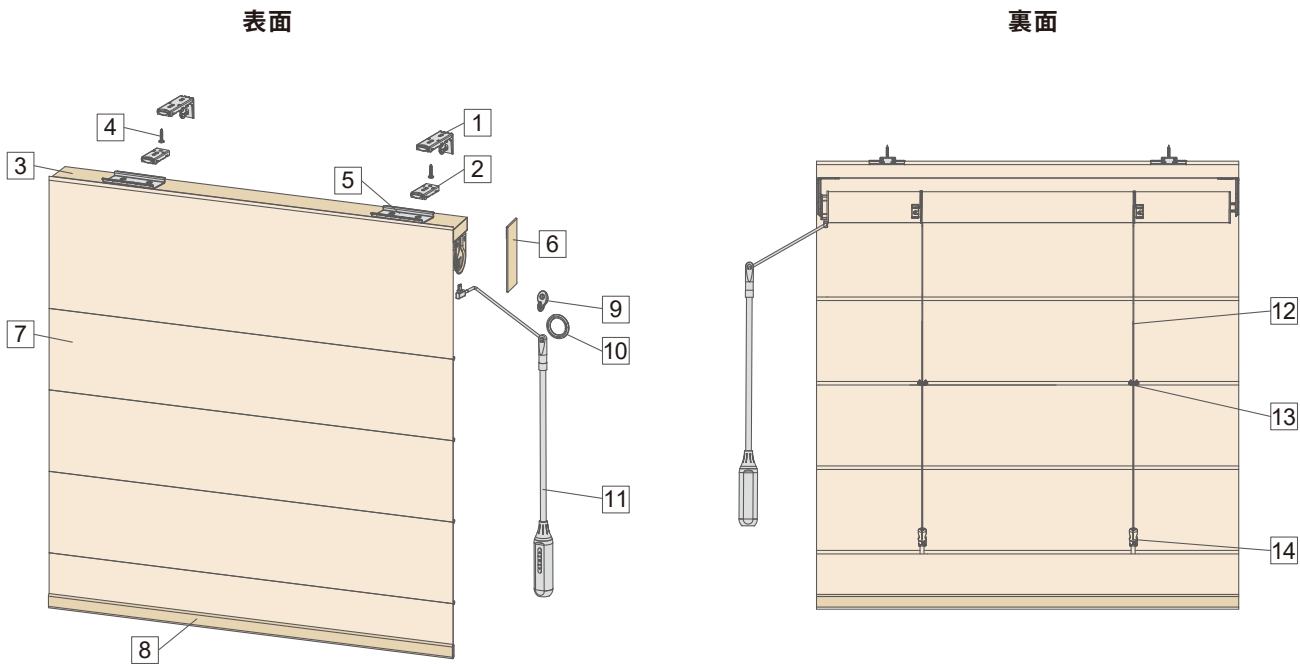
製品名	36W ACアダプタ	65W ACアダプタ
入力	AC 100-240 V	AC 100-240 V
出力	24V ≒ 1.5A	24V ≒ 2.7A
外形寸法(mm)	上記参照	146x43.1x32.6mm (アダプタ部外径)
重量(g)	132 g	343.7 g (アダプタ部)


警告

給電は必ず付属の36W ACアダプタ( ◻ ◻ (MX36W1-2401500J))
もしくは、65W ACアダプタ( ◻ ◻ (CHCYD3065-240027PA))
を使用してください。

1-2 e-スティック式

1-2-1 構造部品名



部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	-
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	-
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) ブラケットネジ	メタル	-
(5) サポートフレーム	メタル	-
(6) サイドキャップ	生地により異なります	-
(7) シェード	生地により異なります	
(8) ボトムレール	アルミニウム	袋縫い仕様
(9) 壁掛けフック	樹脂成型品	3色
(10) e-スティック用リング	樹脂成型品	3色
(11) e-スティック	メタル及び樹脂成型品	3色
(12) コード	ポリエステル	-
(13) コード止めキャップ	樹脂成型品	
(14) コードホルダー	樹脂成型品	-

1-2-2 製作可能寸法

幅(mm)	高さ(mm)	最大面積 (m ²) ※ 機構部を含む製品室内側総面積	
		シャープスタイル	フォールドスタイル
520≦W≦2400	610≦W≦2550	5.8	5

1-2-3 モーター配置位置

操作メカ	操作部	配置	
		標準	オプション
e-スティック式	モーター	右	左

1-2-4 e-スティックの長さ

製品高さに応じて、下記表の通り製作します。
【製品高さに対するe-スティックの標準長さ】

製品高さ(H) (ご発注の高さ)	~914mm	915mm~1676mm	1677mm~1981mm	1982mm~2286mm	2287mm~2550mm
e-スティックの長さ	406mm	610mm	915mm	1220mm	1524mm

【e-スティックの長さを指定する場合】

ご要望に応じて、e-スティックの長さをご指定いただけます。
製作可能な長さは、203 / 406 / 610 / 915 / 1220 / 1524 / 1828 mm となっております。

1-3-5 スクリーン本体仕様

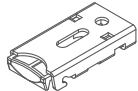
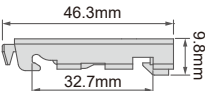
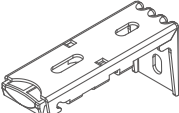
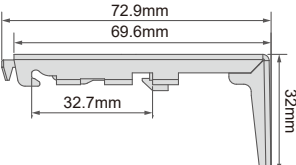
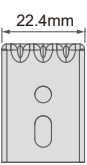
【スクリーン本体仕様】

スクリーン製品モデル	e-スティック	スクリーン製品モデル	e-スティック
給電方法	リチウムイオンバッテリー	電源供給の方法	e-スティック
入力	4.5~5.5 Vdc	充電時間	5~6時間程
出力	0.5A @7.4 Vdc	充電温度範囲	0℃~45℃
無線電波タイプ	-	動作温度範囲	-10℃~40℃
モーター種類	DCブラシモーター	動作湿度範囲 (RH)	~ 80%

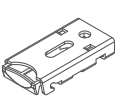
【電源アクセサリ】

Type-C充電ケーブル	
	e-スティックに接続します。 Type-C充電ケーブルの長さ2000mm カラー：白 ※Type-Cアダプターは本製品には付属されていません。

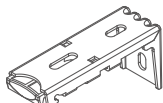
1-2-6 ブラケット(全操作メカ共通)

取り付けタイプ	名称	図面		
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット			
窓枠正面付け 壁面付け	50mmヘッドレール 外付け用ブラケット			

1-2-7 付属部品の数量



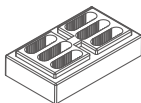
内付け用
ブラケット



50mmヘッドレール
外付け用ブラケット



ブラケット
取り付けネジ



41x10mm
ブラケット
スペーサー

【 窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合 】

製品幅(W)mm	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1
W<1118	2	2
1118≦W≦1778	3	3
1778<W	4	4

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属しますが、鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

【 窓枠正面付け、壁面付けの場合 】

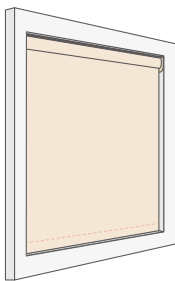
製品幅(W)mm	外付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※1	41x10mm ブラケットスペーサー※2
W<1118	2	4	2
1118≦W≦1778	3	6	3
1778<W	4	8	4

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。 通常は19mmのネジが付属します。

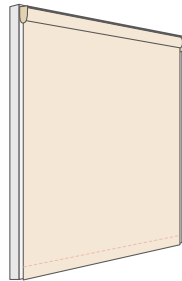
壁面付けでブラケットスペーサー1個使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。

※2 上記壁面付けでブラケットスペーサーの数量は1連の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
ご指定がない場合(標準)、ブラケットスペーサーは1連が付属します。注文内容に十分ご注意ください。

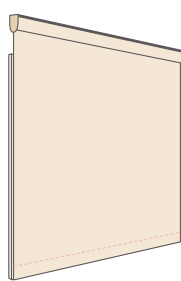
窓枠天井付け / 鴨居付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



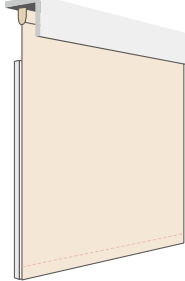
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



壁面付け
(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)

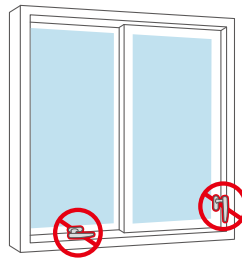


カーテンボックス付け
(カーテンボックス内に取り付ける場合)

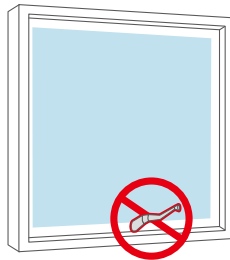


2-1 窓枠天井付け / 鴨居付け

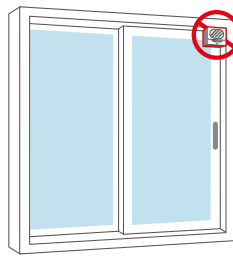
条件 1 障害物など干渉するものがないこと



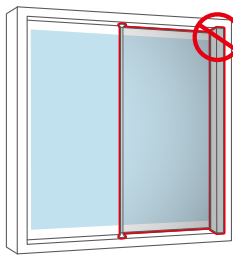
EX. ハンドル



クランク

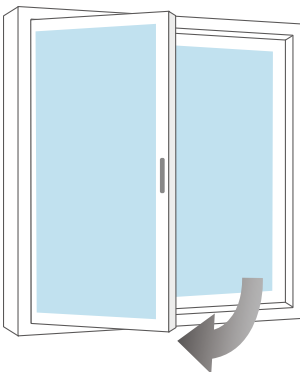


セキュリティセンサー

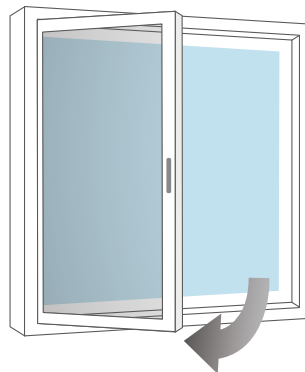


網戸の収納仕組

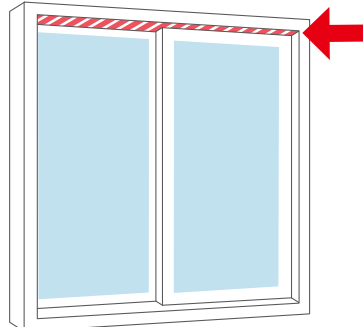
条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



EX. 内開きの窓

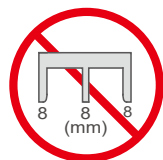
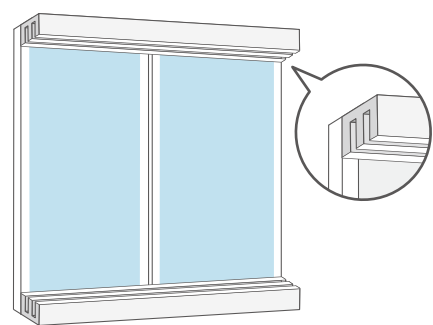


内開きの網戸



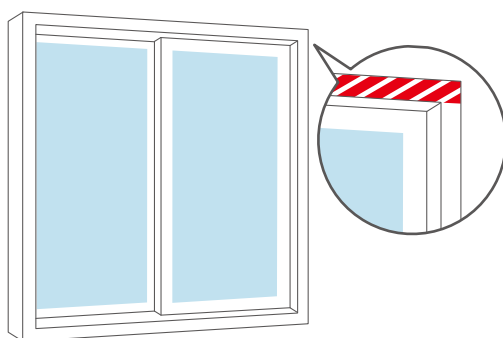
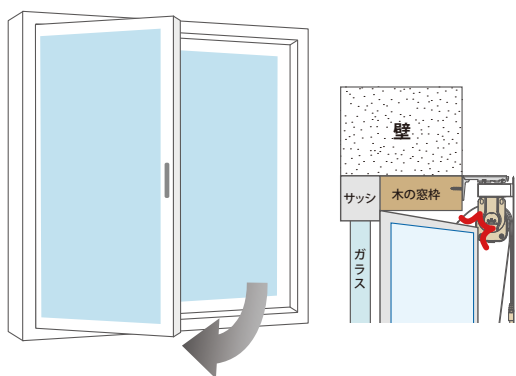
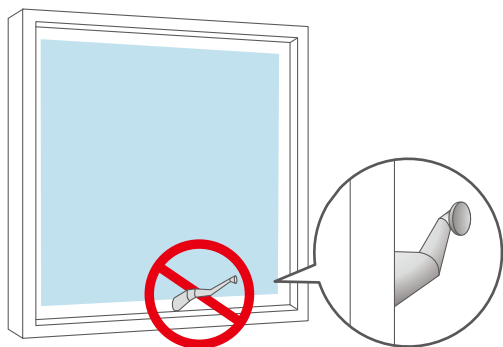
ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品動作へ干渉する物等には十分ご注意ください。



薄型鴨居の場合、左図の木の幅が8mm以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

2-2 窓枠正面付け

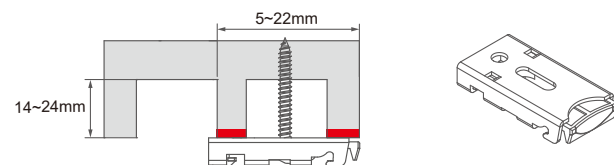


【鴨居付け】

和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認しシェードのブラケットが**2点の平面**に支えられることをご確認ください。なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わないことがあります。あらかじめご了承ください。
- 下地の厚みが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。

取り付けの側面図（おすすめの取り付け方法）



条件 1 障害物など干渉するものがないこと

外に突出した取っ手などがある場合は、シェードの昇降を妨げます。取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

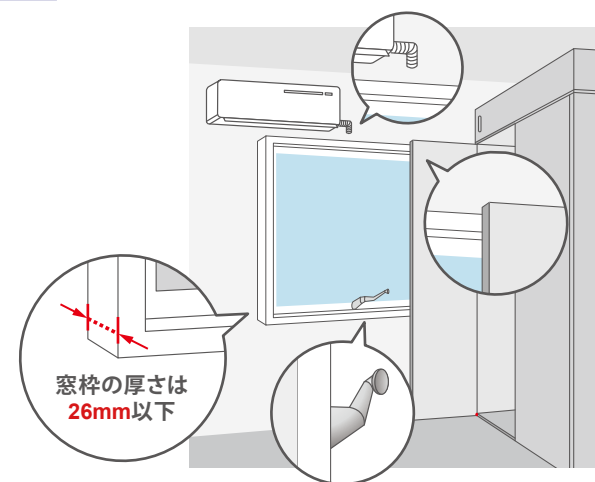
内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにシェードを収めると、扉の開閉時の障害になります。（設置位置や量代をご確認ください）

条件 3 下地が木材であること

ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること（金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません）

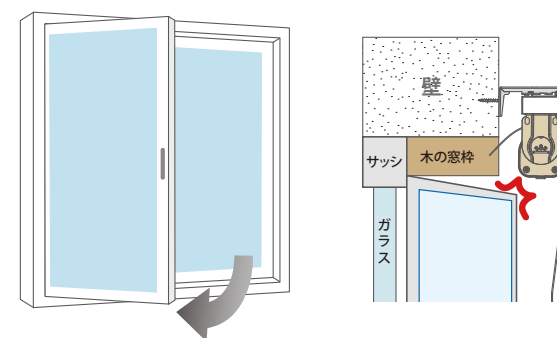
2-3 壁面付け

条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと



- 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと
- 窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと。突出するものがあるとシェードの昇降操作に支障をきたすことがあります

条件 2 内開き窓・内開き網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること



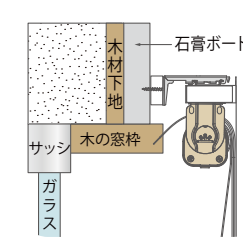
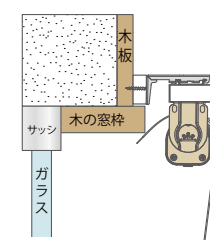
- 内開き仕様の窓・網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がでないよう、量代計算・採寸・取り付けなど十分ご注意ください。

条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

- 下地素材が下図の場合は、商品同梱のネジで取り付けが可能です。

木材、ベニヤである場合

石膏ボードの下に木材の下地がある場合

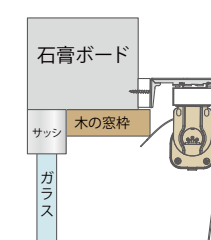


→ネジが下地まで届かない場合があるため、下地までの距離をご確認ください。

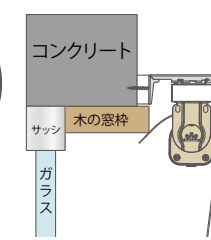
- 下地素材が下図の場合は、弊社ネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合（※）

木材の下地がなく、コンクリートのみの場合



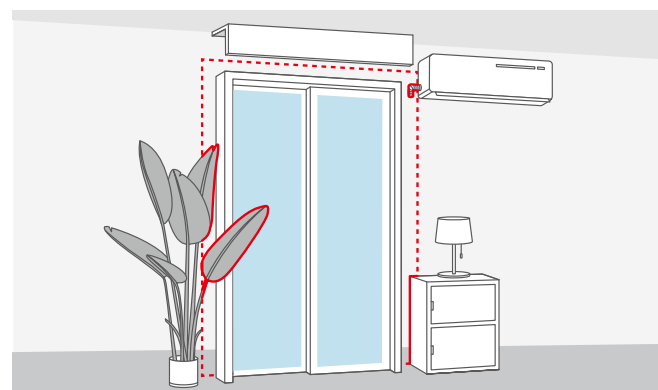
→石膏ボード専用アンカーが必要です。※非推奨



→コンクリート専用ネジの施工方法をご確認ください。

2-4 カーテンボックス付け

条件 1 窓枠周辺に障害物がないこと



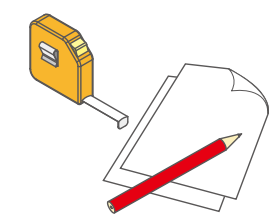
2-5 必要寸法一覧表

取り付けタイプ	参考図	断面図&必要寸法
窓枠天井付け ^{*1}		
浅天井付け (製品が窓枠から若干はみ出ます)		
鴨居付け ^{*2}		
窓枠正面付け		
壁面付け		
カーテンボックス付け		

※1 窓枠内付けで製品を収める際、畳代が厚くなり、窓枠から突き出ることがあります。

※2 設置場所によっては、製品が窓枠から突き出ることがあります。

※3 e-スティックの場合、窓枠天井付けに必要な寸法は55mm、浅天井付けに必要な寸法は42mmです。



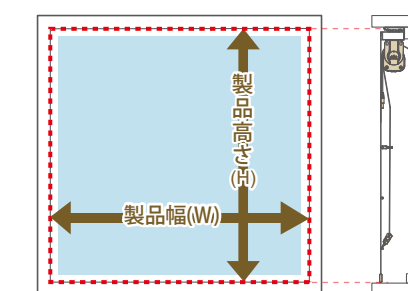
【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

【採寸時のご注意】

- 1.新築等の図面サイズで注文すると、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。
- 2.窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

3-1 窓枠天井付け・鴨居付け

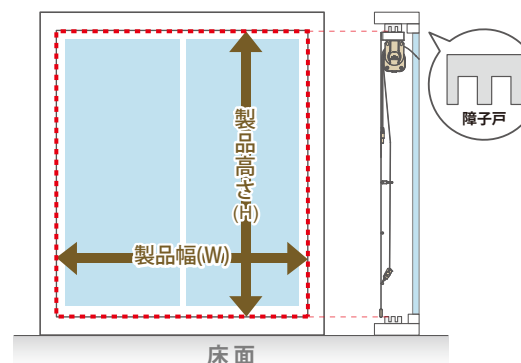


製品幅

製品高さ

窓枠の内側寸法を両端から測定

鴨居付けの場合



製品幅

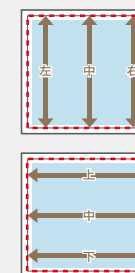
製品高さ

窓枠の内側寸法を両端から測定

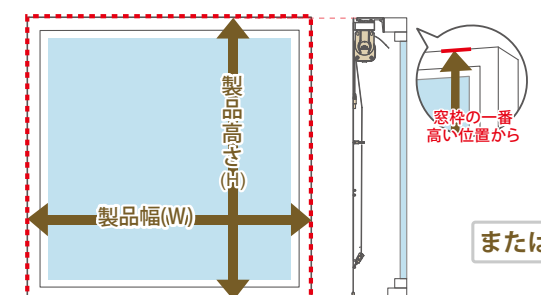
窓枠上面から床面までを測定

ご注意ください

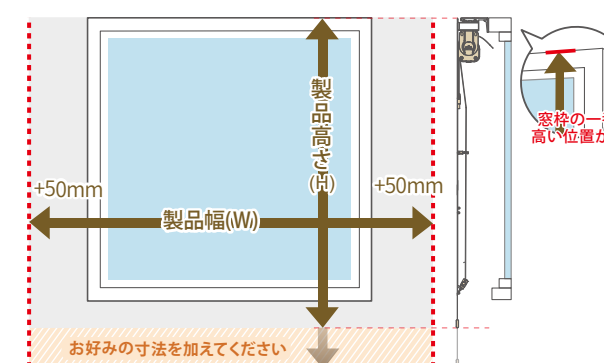
1. 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに 3 か所以上(左中右、上中下など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
2. 「枠内実寸サイズ」「製品実寸サイズ」のいずれでもご注文いただけます。
3. 製品を天井に設置して使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。
必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。



3-2 窓枠正面付け



または



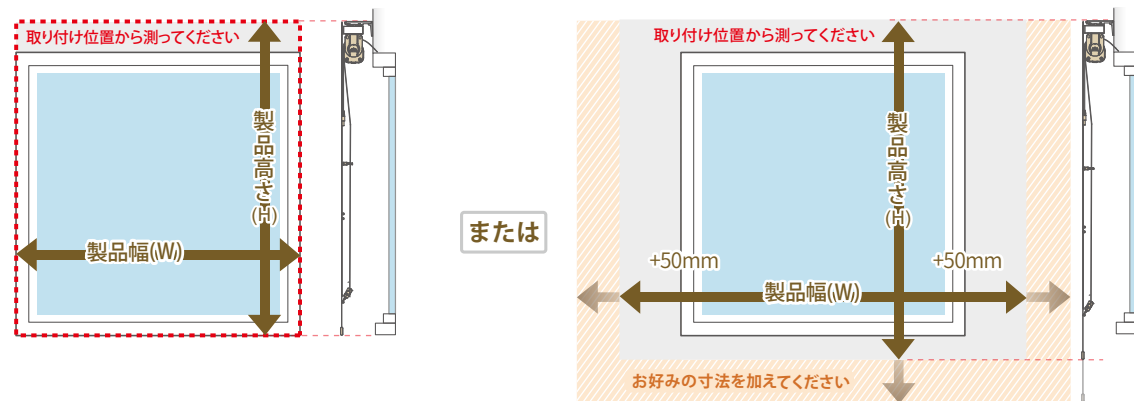
製品幅は窓枠の外側寸法を測ってください。

窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる方は、窓枠外側寸法に、左右各 50mm 程度多めに加えることをおすすめします。

ただし、周りに障害物がないことを必ず確認してください。

製品高さは窓枠の外側寸法を測ってください。お好みの寸法を加えることもできます。

3-3 壁面付け



- 製品幅** 窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。
 - 窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30~50mmほど余裕をもたせることをおすすめですが、周りに障害物がないか必ず確認してください。

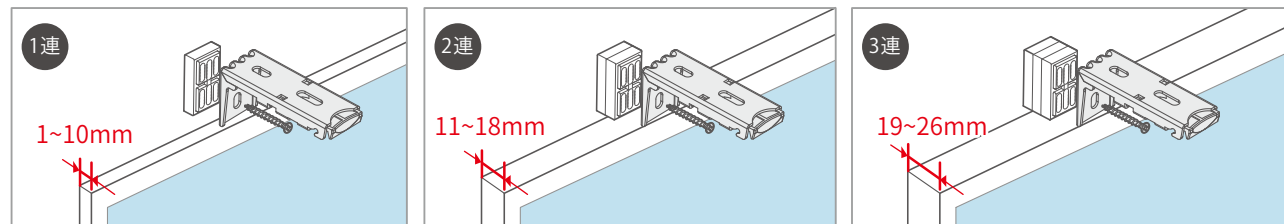
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

壁面採寸取り付け時の注意

【壁面に取り付けの場合は、下記のことを確認してください。】

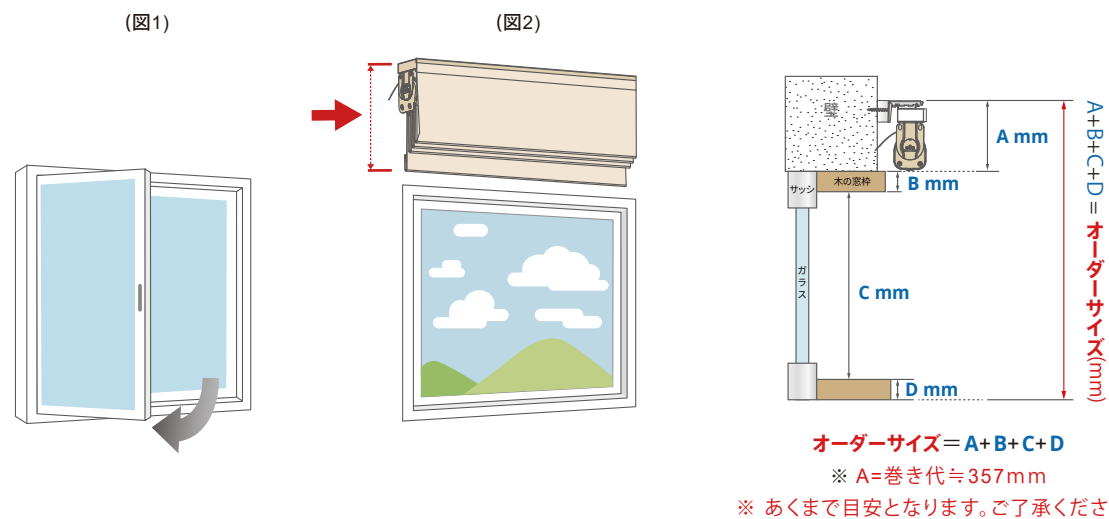
- ① 壁面と窓枠に段差があるかどうかを確認してください。
→ 壁面と窓枠に段差がある場合は、それを解消するために、ブラケットスペーサーの使用が必要になります。
- ② オプションで必要数をご選択ください。

壁面と窓枠の段差が1~10mm：1連 壁面と窓枠の段差が11~18mm：2連 壁面と窓枠の段差が19~26mm：3連

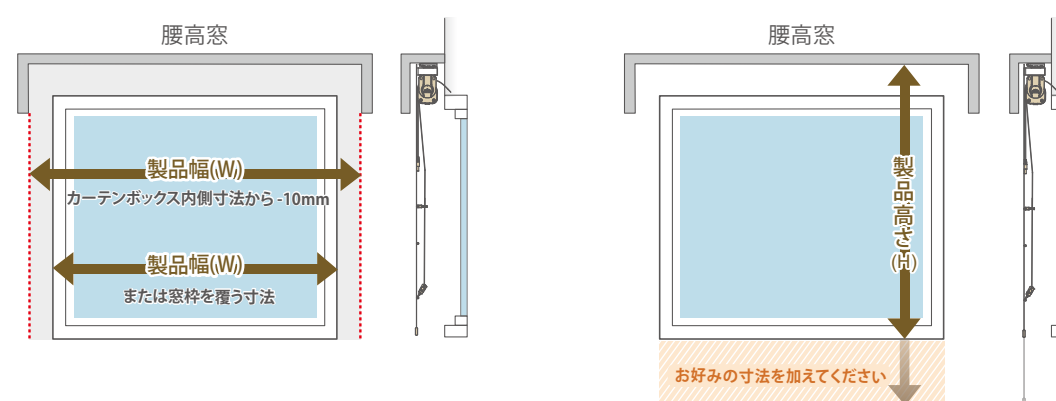


■ 内開きの窓・網戸がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合のご注文サイズについて

内開きの窓や網戸がある場合（図1）や、窓枠上に製品を収めたい場合（図2）は、採寸と取り付けの際、畳代とシェードを設置する高さにご注意ください。採寸の際に、下記の計算が必要となります。 ※シェードを上げきった位置が窓枠の上に収まる想定です



3-4 カーテンボックス付け



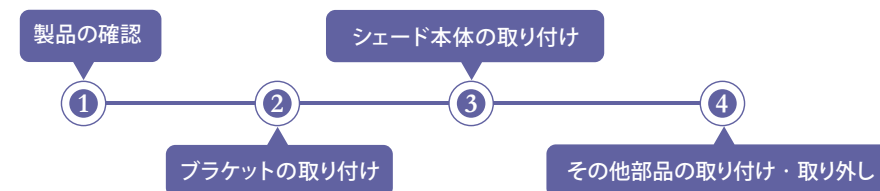
- 製品幅** カーテンボックス内側寸法から測定
- カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

04 取り付け方法

ご注意ください ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	 俯瞰図	 ブラケットが一直線に揃っていない
	 正面図	 ブラケットが一直線に揃っていない
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること	 側面図	 ビスが斜め締めになってしまい、ビス頭がしっかりとブラケットに密着していない

■ 取り付けの手順



4-1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないよう開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
 - ・シェード本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

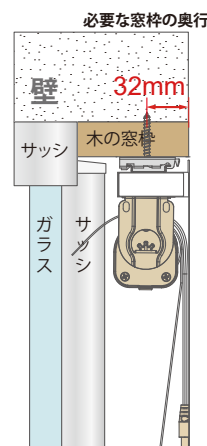
注意 取り付けが完了するまで操作はしないでください。故障の原因になります。

4-2 ブラケットの取り付け

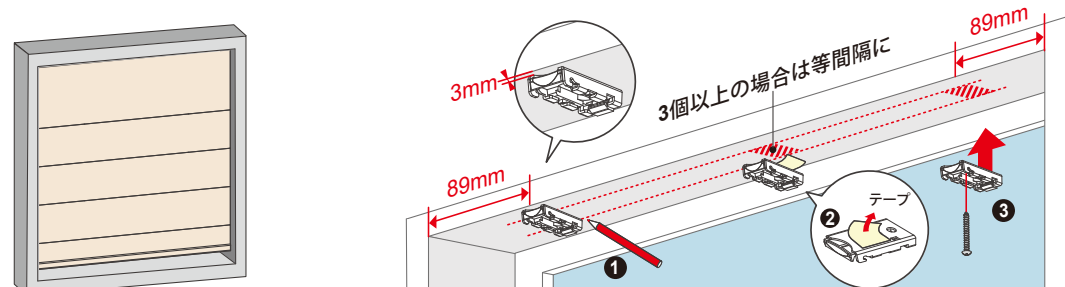
- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約89mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が等間隔になるようにしてください。

ご注意ください

ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取り付け後に、まずブラケットの透明のプラスチック部品を押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取り付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性があります。ご注意ください。その際は、ネジを1回転ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の上昇を妨げ、製品を破損する恐れがあります。

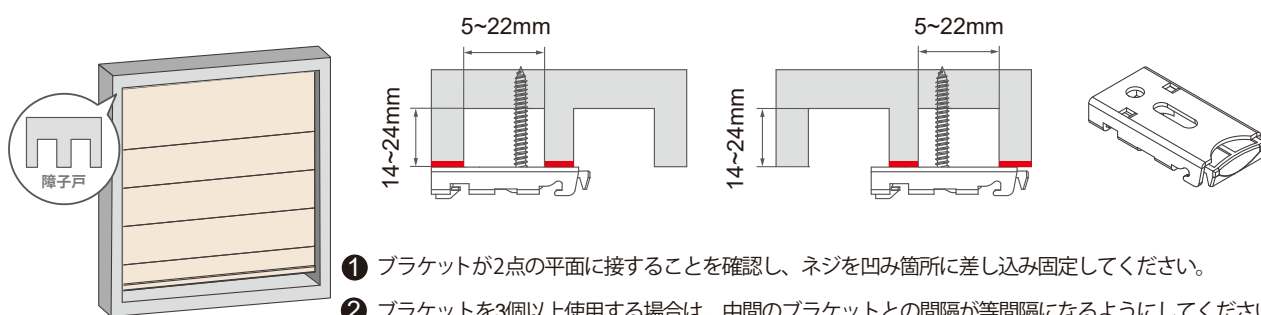


窓枠天井付け



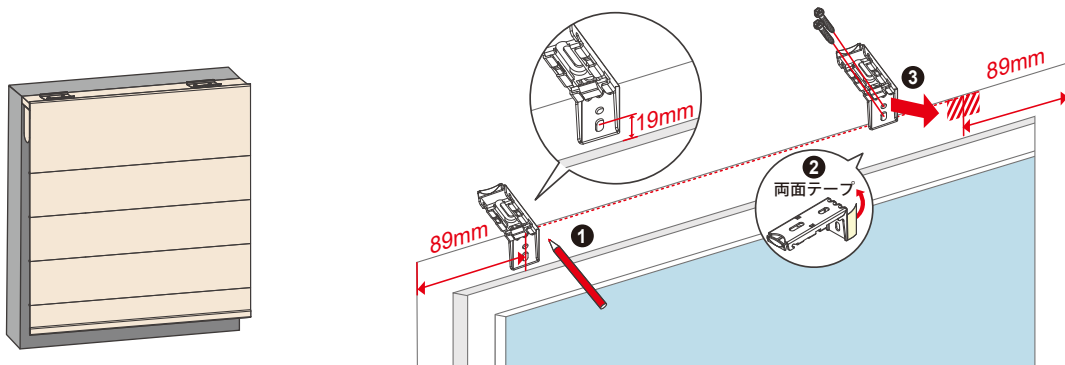
※窓枠の前端からブラケットの前端までの距離は最低でも3mm必要です。

鴨居付け



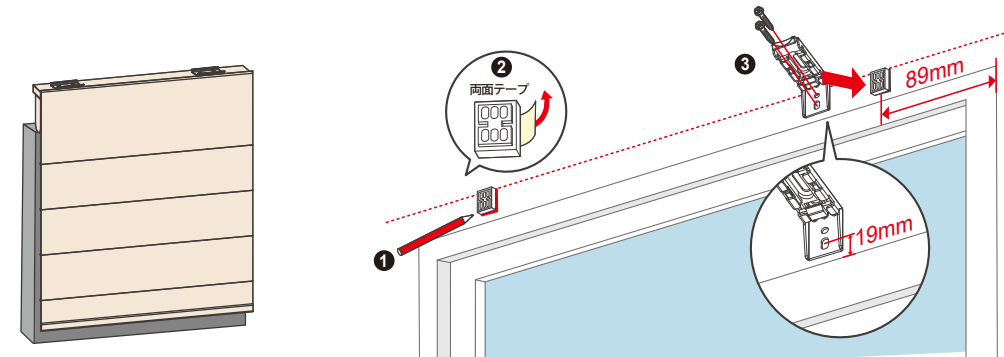
- ① ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所に差し込み固定してください。
 - ② ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が等間隔になるようにしてください。
- ※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的に問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け



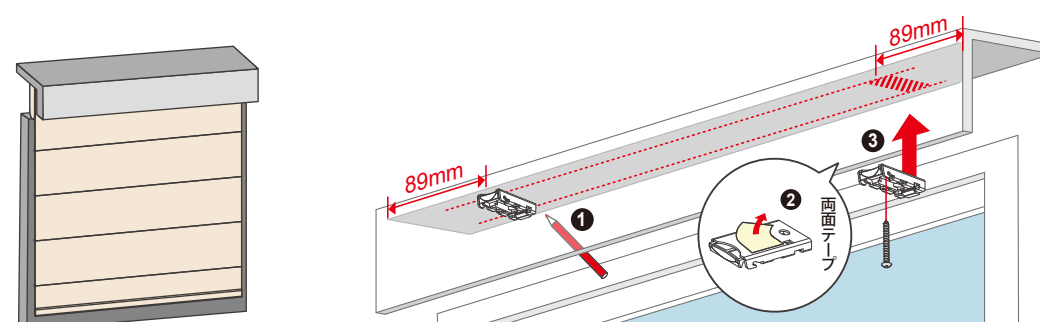
※図のように下のネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔が必要です。

壁面付け



- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所にブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。
- 図のように下のネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔が必要です。

カーテンボックス付け

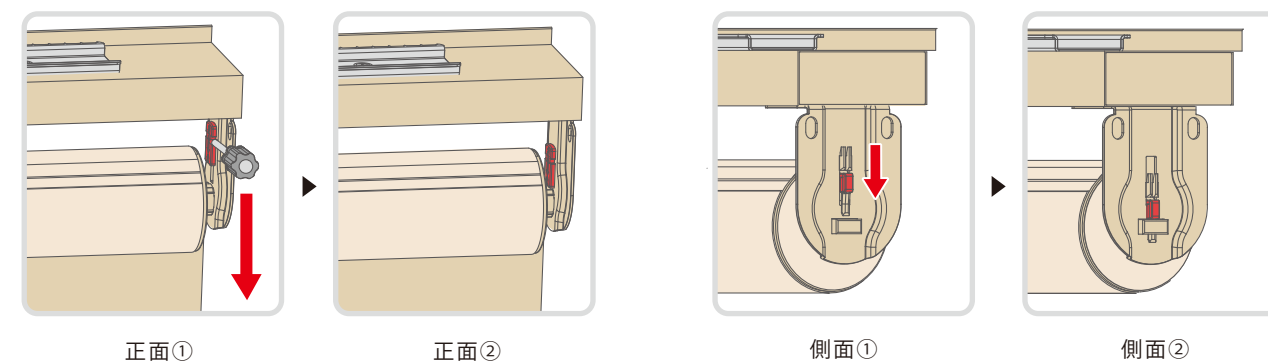


- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約89mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が等間隔になるようにしてください。

4-3 シェード本体の取り付け・取り外し

4-3-1 シェード本体の取り付け

- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



正面①

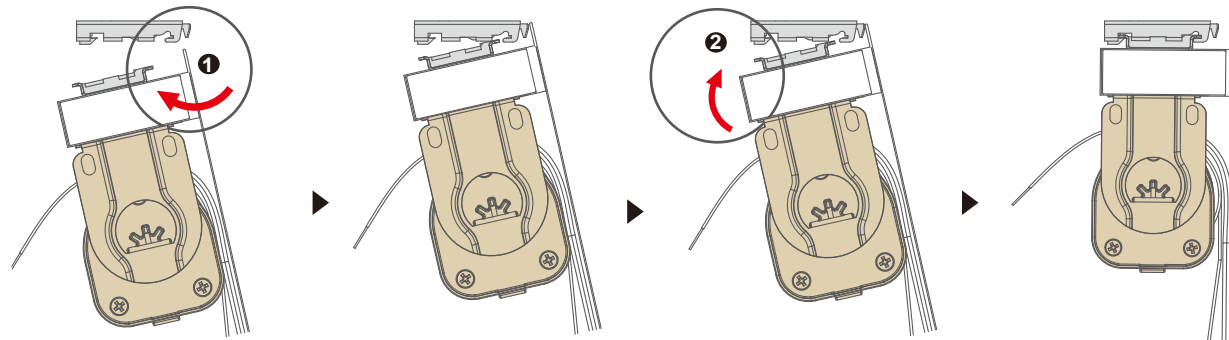
正面②

側面①

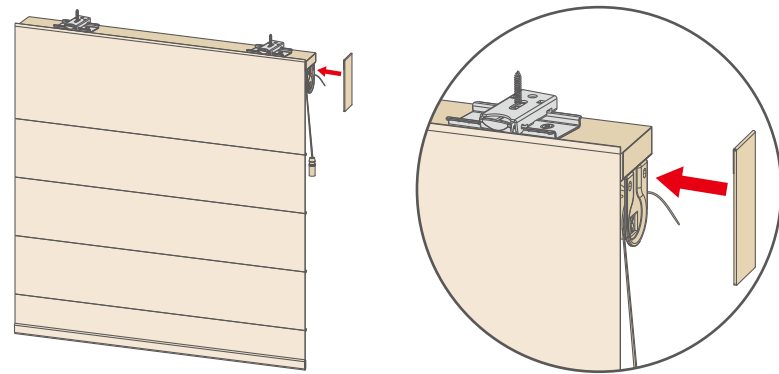
側面②

■ シェード本体を、下記の手順でブラケットに固定します。

- ① サポートフレーム先端のツメをブラケット前縁の逆フックに差し込みます。
- ② その後、手首でヘッドレールをしっかりと後ろから掴み、奥のはめ込み部分に押し込んでしっかりと固定します。

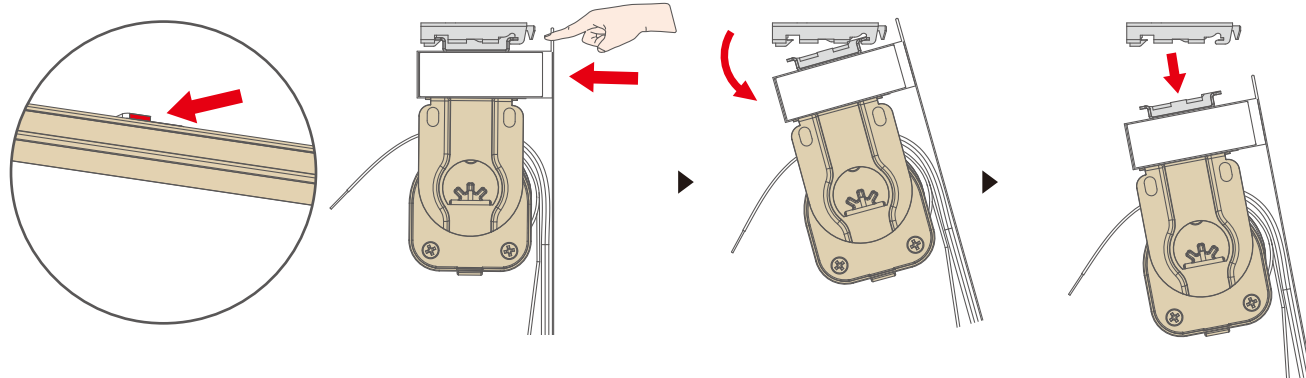


4-3-2 サイドキャップの取り付け



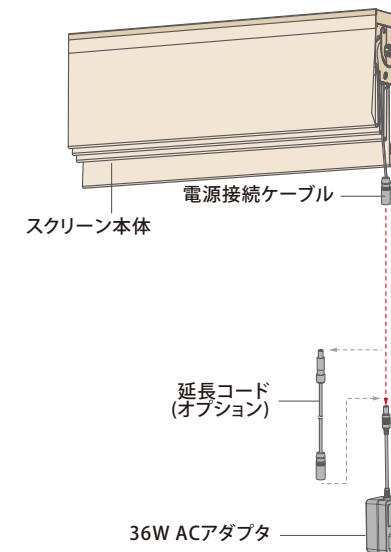
4-3-3 シェード本体の取り外し

シェード本体を締めてから、ブラケットのプラスチック部品を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックをはずします。



4-3-4 本体ACアダプタ式のみ

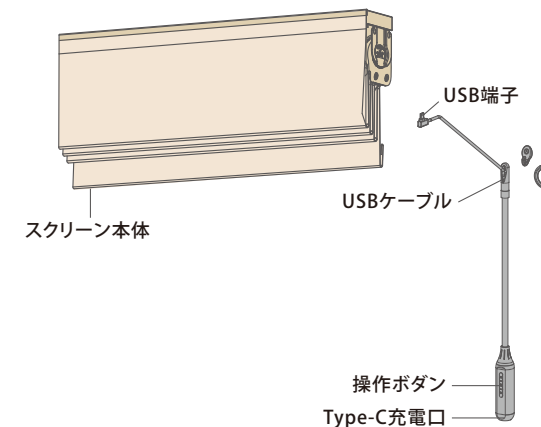
■ 36W ACアダプタを本体に接続するシェードに電源を入れる



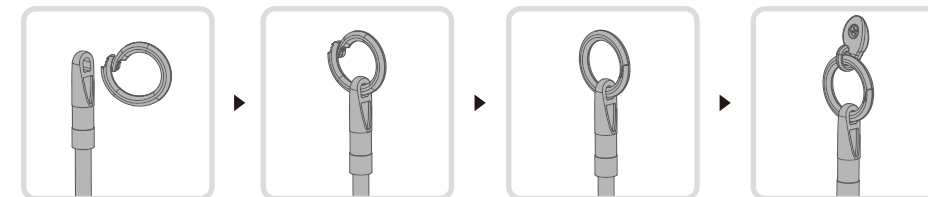
- ① 36W ACアダプタをスクリーン本体の電源接続ケーブルに接続します。
★ 延長コードを使用する場合は、ACアダプタを先に延長コードに接続してから、スクリーン本体の電源接続ケーブルに接続してください。
- ② ACアダプタを電源に差し込みます。自動的に表示灯が緑色に点滅し、スクリーンの電源が入ります。

4-3-5 本体e-スティックのみ

■ USBケーブルを本体に接続するとスクリーンに電源が入った状態になります。



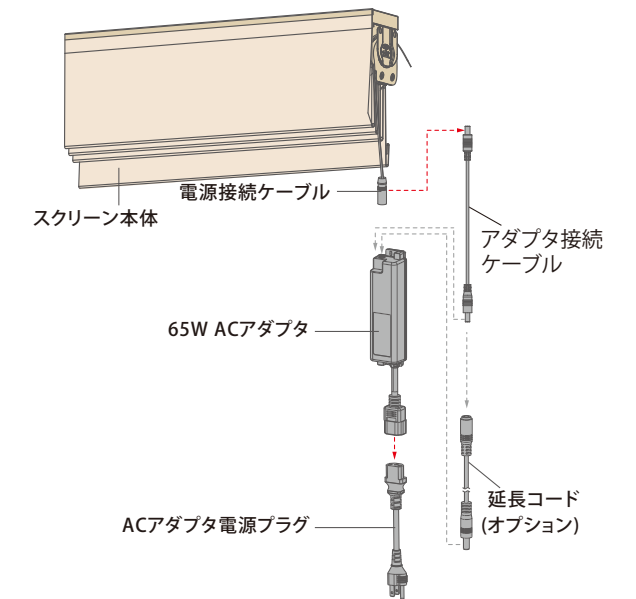
■ e-スティックの装着手順



■ 充電方法

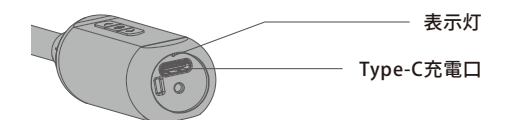
e-スティックにType-C充電ケーブルを接続し、Type-Cアダプターをコンセントに差し込みます。
充電中: 表示灯が赤色点灯。
充電完了: 表示灯が緑色点灯。
※Type-Cアダプターは本製品に付属していません。
※バッテリー残量にかかわらず、少なくとも6か月に1回はフル充電することをおすすめします。

■ 65W ACアダプタを本体に接続するシェードに電源を入れる



- ① 65W ACアダプタをアダプタ接続ケーブルに接続します。
- ② アダプタ接続ケーブルをスクリーン本体の電源接続ケーブルに接続します。
★ 延長コードを使用する場合は、ACアダプタを先に延長コードに接続してから、アダプタ接続ケーブル、スクリーン本体の電源接続ケーブルの順に接続してください。
- ③ ACアダプタを電源に差し込みます。自動的に表示灯が緑色に点滅し、スクリーンの電源が入ります。

■ e-スティックの底面

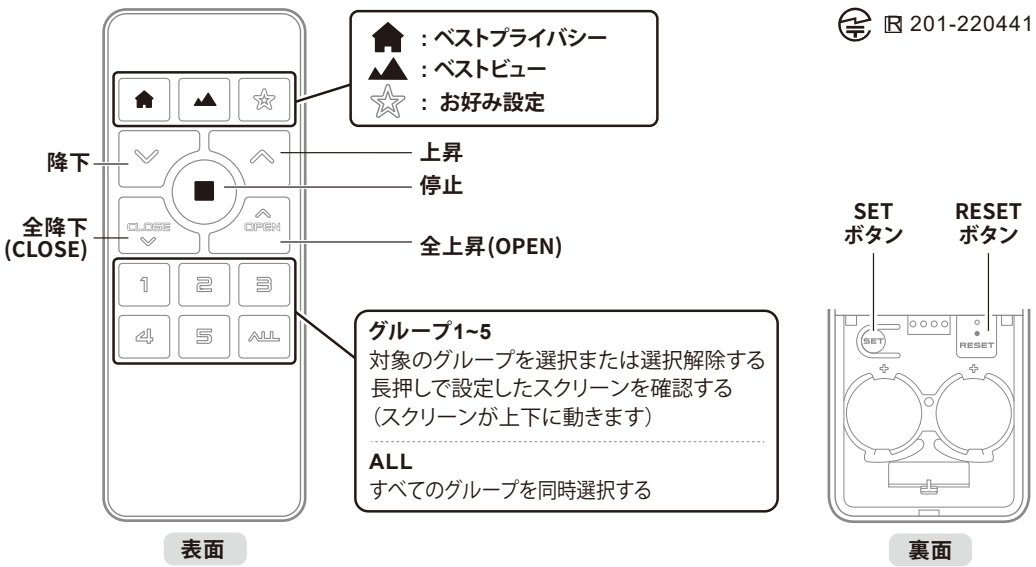


■ 壁掛けフック
壁にビスで壁掛けフックを固定します。

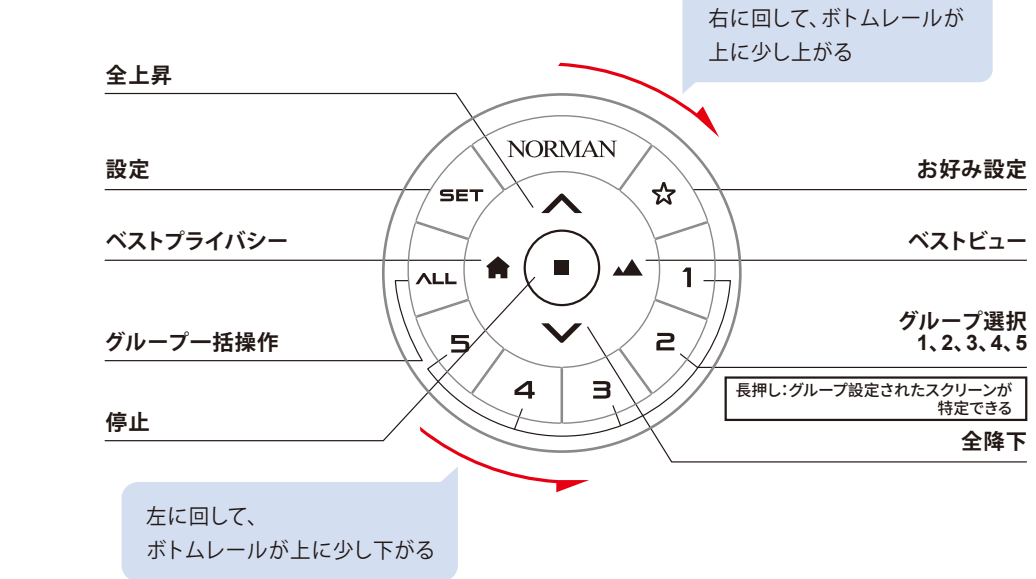
■ e-スティック用リング
e-スティックの一番上の穴に e-スティック用リングを差し込み、壁掛けフックに掛けて使用します。

仕様と構造
取り付け条件
採寸方法
取り付け方法
操作方法

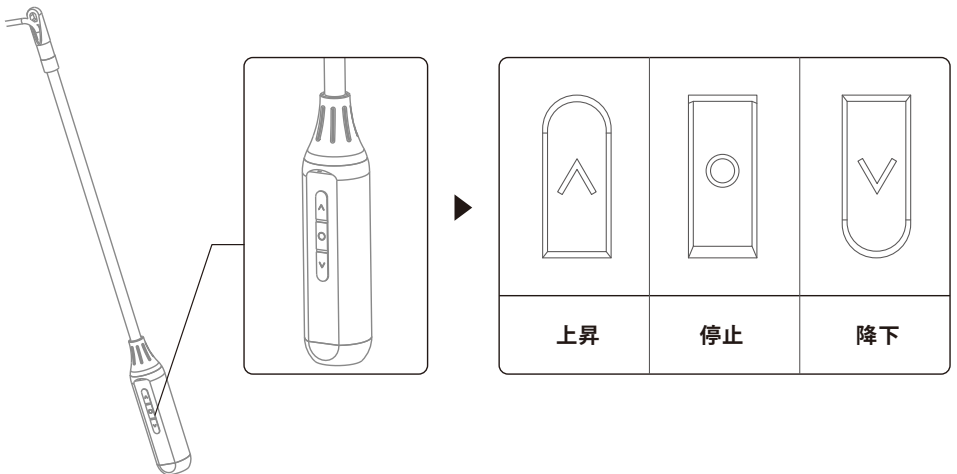
5-1 リモコン(RC-A01)ボタン紹介



5-2 SmartDial™ G2ボタン紹介



5-3 e-スティックボタン紹介



5-4 ボタン機能紹介

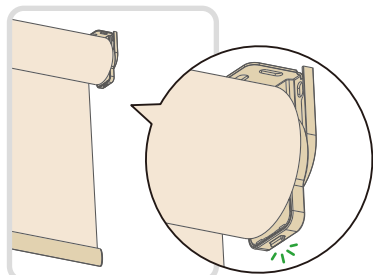
リモコン(RC-A01)	SmartDial™ G2	ボタン機能	紹介
		ベストプライバシー	 ボトムレールが一番下まで下がります
		ベストビュー	 ボトムレールが一番上まで上がります
		お好み設定 (初期設定位置)	 初期設定位置: ボトムレールが高さ半分の位置まで昇降します
		降下	 ボトムレールが下に少し下がります
		上昇	 ボトムレールが上に少し上がります
		全降下(Close)	 ボトムレールが一番下まで下がります
		全上昇(OPEN)	 ボトムレールが一番上まで上がります
		停止	 昇降を停止します
		グループ 1~5	 操作したいグループを選択します 長押し: グループ設定されたシェードが上下に動きお知らせします
		ALL	 すべてのグループを同時選択する

※ ご自身で設定変更できます。リモコンの説明書をご参照ください。

仕様と構造
取り付け条件
採寸方法
取り付け方法
操作方法

操作方法

5-5 手動スイッチ機能説明



本体ACアダプタ式

手動スイッチは、リモコンの電池切れや緊急時の際にシェードを操作することができます。

静止中に押す：シェードが昇降を行います。

昇降中に押す：シェードが停止します。

また、電源スイッチとしてシェードの電源を入れる・切ることができます。

シェードの電源を入れる：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回緑色に点滅し、電源が入ります。

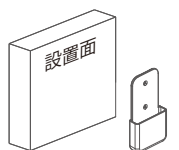
シェードの電源を切る：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回赤色に点滅し、電源が切れます。

5-6 リモコンホルダー

※各状況に合わせてお選びください。

■ビス固定の場合：(木下地適用)

- 1.設置箇所の穴をあわせませ。先にキリで穴をあけ、ビスを当てやすくします。
- 2.付属のビスをしめます。
- 3.ホルダーが固定されたら完成です。



ホルダーの穴に合わせ、
ビスをしめます。

※石膏ボードは別途アンカーをご用意ください

■両面テープ固定の場合：(滑らかな平面に適しています)

- 1.設置箇所をきれいにします。
- 2.背面のテープをはがします。
- 3.ホルダーをしっかりと押し当て貼り付けます。
- 4.ホルダーが固定されたら完成です。



ホルダー背面のテープをはずし、
貼り付けます。

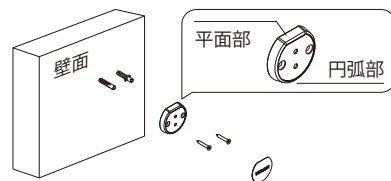
両面テープをはがします

5-7 SmartDial™ G2の壁面設置

※ビス(木ネジ)固定、または両面テープでの固定が可能です。
設置環境にあった方法をお選びください。

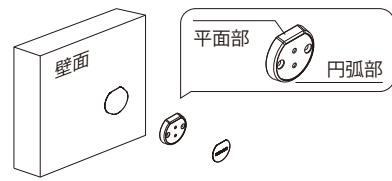
■ビス固定の場合：(木下地適用)

- 1.ビスを打ち込む2か所に穴を開け、
まずアンカーを装着します。
- 2.マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、
ホルダー内側に貼付固定します。
- 3.ホルダーを、ビスでアンカー部分に固定します。
- 4.仕上げるに、NORMAN® ロゴシールを貼り、
設置完了です。
5. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、
磁力で吸着固定されます。



■両面テープ固定の場合：(滑らかな平面に適しています)

- 1.マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、
ホルダー内側に貼付固定します。
- 2.ホルダー用両面テープをとり、
ホルダー裏面に貼り付けてください。
3. NORMAN® ロゴシールをホルダー表面に貼り、
ホルダーを裏面の両面テープ剥離紙を取り、
好みの壁面に貼り付けて設置完了です。
4. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、
磁力で吸着固定されます。



シャープスタイル



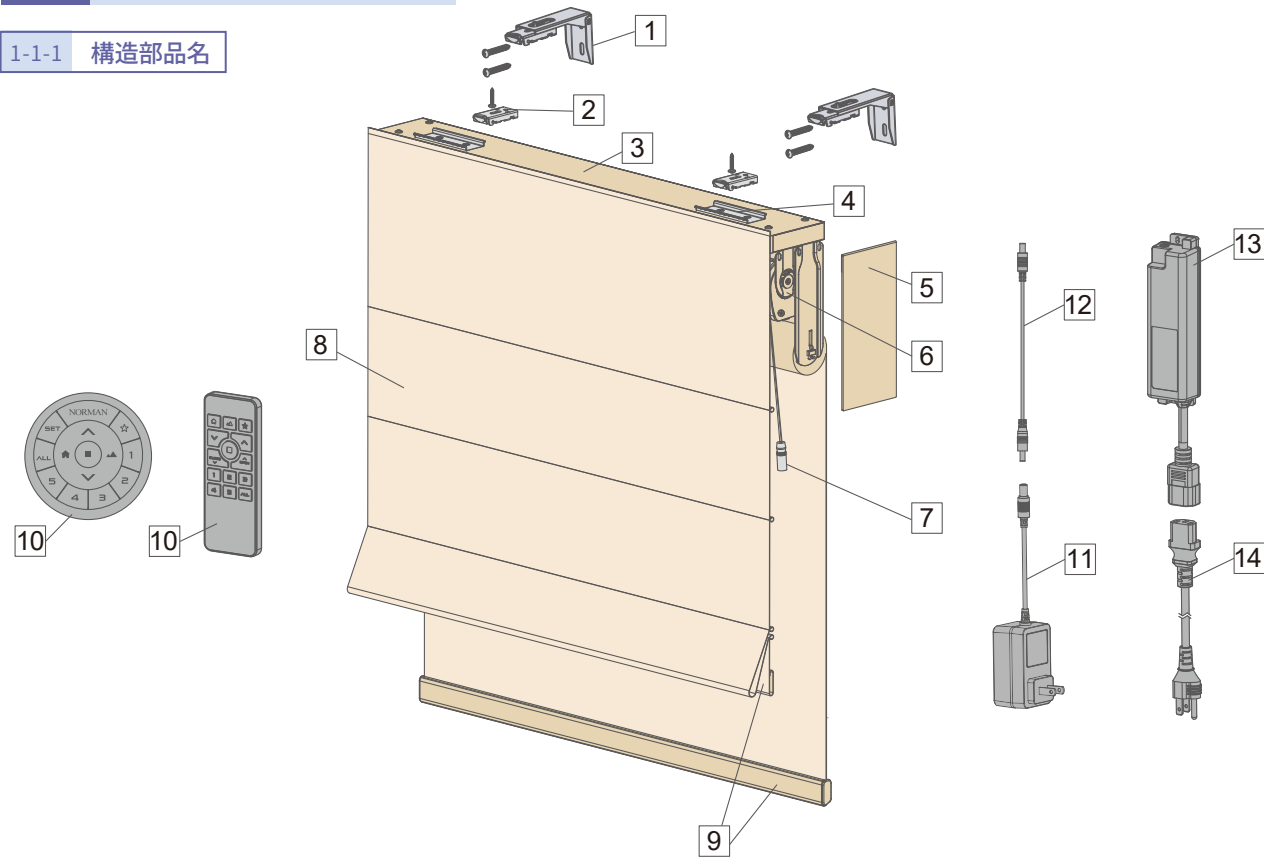
フォールドスタイル ※裏地必須

電動タイプ ローマンシェード デュアルシェード

シェード本体ACアダプタ式
e-スティック式

1-1 シェード本体ACアダプタ式

1-1-1 構造部品名



部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	-
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	-
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) サポートフレーム	メタル	-
(5) サイドキャップ	生地により異なります	-
(6) モーター&手動スイッチ&表示灯	メタル+樹脂成形品	-
(7) 電源接続ケーブル	メタル+樹脂成形品	ホワイトのみ
(8) シェード	生地により異なります	-
(9) ボトムレール	アルミニウム	ローマンシェード：袋縫い仕様(オプション) ロールスクリーン：3色(標準) / 袋縫い仕様(オプション)
(10) リモコン(RC-A01) / SmartDial™ G2	メタル+樹脂成形品	ブラックのみ
(11) 36W ACアダプタ	メタル+樹脂成形品	ブラック、ホワイト※ ¹
(12) 65W ACアダプタ接続ケーブル	メタル+樹脂成形品	ホワイトのみ
(13) 65W ACアダプタ	メタル+樹脂成形品	ブラックのみ※ ²
(14) 65W ACアダプタ電源プラグ	メタル+樹脂成形品	ブラックのみ

※ 1 電源接続ケーブルに接続された状態で出荷されます。

※ 2 シャープスタイルで製品面積が4.8㎡を超える場合、またはフォールドスタイルで製品面積が3.9㎡を超える場合、65W AC アダプタを使用します。

1-1-2 製作可能寸法

ACアダプタ タイプ	幅W(mm)	高さH(mm)	最大面積 m ²	
			※機構部を含む製品室内側総面積 シャープスタイル	フォールドスタイル
36W ACアダプタ	520≦W≦2400	610≦W≦2550	4.8	3.9
65W ACアダプタ			5.7	4.9

※ デュアルシェードについて、背面ロールスクリーンの幅と垂直の長さの比率が1:3を超える場合、巻偏りの問題が発生する可能性があります。
デュアルシェードの幅と垂直の長さの比率は1:3を超えないでください。

1-1-3 本体の配置

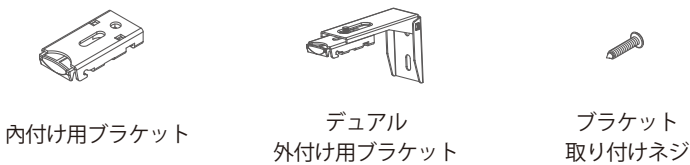
	モーター(電源接続ケーブル) 手動スイッチの配置位置	
	ローマンシェード	ロールスクリーン
標準	右	左
オプション	指定不可	

シェード製品モデル	シェード本体 ACアダプタ式
給電方法	ACアダプタ
入力	100-240Vac,50/60Hz
出力	12-24Vdc,1.3A Max
無線電波タイプ	2.4G RF
モーター種類	DCブラシモーター

1-1-4 ブラケット(全操作メカ共通)

取り付けタイプ	名称	図面		
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット			
窓枠正面付け	デュアル外付け用 ブラケット			

1-1-5 付属部品の数量



【 窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合 】

製品幅(mm)	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※
W<1118	2	2
1118≦W≦1778	3	3
1778<W	4	4

※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。
通常は19mmのネジが付属しますが、鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

【 窓枠正面付けの場合 】(壁面付け対応不可)

製品幅(mm)	外付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※
W<1118	2	4
1118≦W≦1778	3	6
1778<W	4	8

※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。
31mmのネジが付属します。

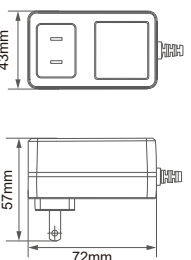
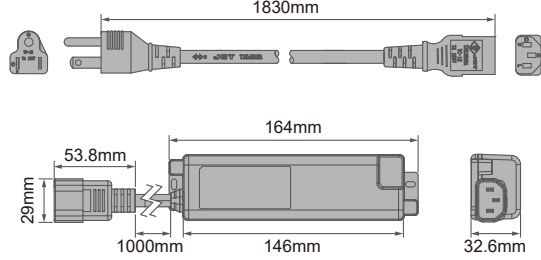
1-1-6 給電関連部品

【操作ユニット 別売り】本体複数台で共用可

リモコン(RC-A01)		SmartDial™ G2	
  図 201-220441		 SmartDial™ G2用 ベゼル 別売り   図 020-230277	
注文時に、1～5グループ設定可能。 『ALL』で同時一括操作可能。		1. 操作したいグループボタンを押すと選 択されたグループボタンが光ります。 点灯中の連携製品を操作できます。 (グループボタン複数選択可) 2. 【ALL】ボタンを押すと、【ALL】 ボタンが光ります。 設定された全グループの一括操作が 可能となります。 3. SmartDial™ G2機能割り当て表をご 参照ください。	
製品仕様			
製品型番	RC-A01、ブラックのみ	製品型番	DIAL01、ブラックのみ
外形寸法	135mm×50mm×9.5mm	外形寸法	直径 67.6mm×高さ 21.2mm
重量(電池を含む)	62g ± 5g	重量(電池を含む)	74.5g ± 20g
電池種類	CR2032 3V (一次電池)×2個使用	電池種類	CR2032 3V (一次電池)×2個使用
無線電波タイプ	FM電波式2.4GHz	無線電波タイプ	独自規格RF (proprietary) 2.4GHz
動作環境温度	0℃ ～ 50℃	動作環境温度	0℃ ～ 50℃

- (1) 1グループに複数台のシェードを設定することが可能です。1台のシェードにつき最大5つのグループ設定が可能です。
(2) ご注文状況により、リモコンは本体と別梱包、または同時注文いただいた別製品にて同梱配送されます。あらかじめご了承くださいませ。
(3) リモコンまたはSmartDial™ G2のどちらか一方のみの使用で、シェード本体を操作することが可能です。
(4) リモコンは必ず手元に1台保有してください。

【電源アクセサリ】

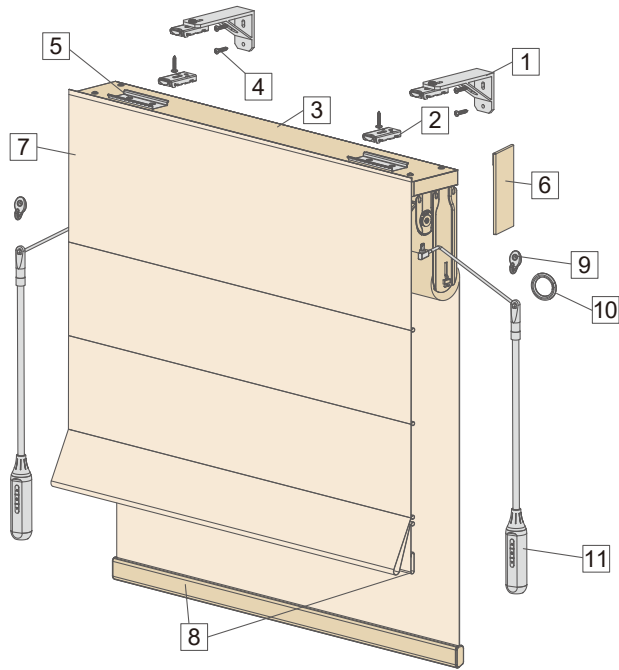
36W ACアダプタ	65W ACアダプタ
 電源に差し込み、本体に接続します。 電源接続コードの長さ1500mm	 シャープスタイルで製品面積が4.8m²を超える場合、 またはフォールドスタイルで製品面積が3.9m²を超える際に提供 電源に本体に接続し、電源に差し込みます。 電源コードの長さ1830mm

延長コードオプション
 延長コード長さ2000mm 黒、白2色 (ACアダプタの色と同じです)

【技術規格表】		
製品名	36W ACアダプタ	65W ACアダプタ
入力	AC 100-240 V	AC 100-240 V
出力	24V ≒ 1.5A	24V ≒ 2.7A
外形寸法(mm)	上記参照	146x43.1x32.6mm (アダプタ部外径)
重量(g)	132 g	343.7 g (アダプタ部)
警告	給電は必ず付属の36W ACアダプタ() (MX36W1-2401500J) もしくは、65W ACアダプタ() (CHCYD3065-240027PA) を使用してください。	

1-2 e-スティック式

1-2-1 構造部品名



部品名	材質	備考
(1) 外付けブラケット	メタル+樹脂	-
(2) 内付けブラケット	メタル+樹脂	-
(3) ヘッドレール	ウッド	袋縫い仕様
(4) ブラケットネジ	メタル	-
(5) サポートフレーム	メタル	-
(6) サイドキャップ	生地により異なります	-
(7) シェード	生地により異なります	-
(8) ボトムレール	アルミニウム	ローマンシェード：袋縫い仕様(オプション) ロールスクリーン：3色(標準) / 袋縫い仕様(オプション)
(9) 壁掛けフック	樹脂成型品	3色
(10) e-スティック用リング	樹脂成型品	3色
(11) e-スティック	メタル及び樹脂成型品	3色

1-2-2 製作可能寸法

幅W(mm)	高さH(mm)	最大面積 m²	
		※機構部を含む製品室内側総面積	
		シャープスタイル	フォールドスタイル
520 ≦ W ≦ 2400	610 ≦ W ≦ 2550	5.8	5

※ デュアルシェードについて、背面ロールスクリーンの幅と垂直の長さの比率が1:3を超える場合、巻偏りの問題が発生する可能性があります。
デュアルシェードの幅と垂直の長さの比率は1:3を超えないでください。

1-2-3 モーター配置位置

操作メカ	操作部	配置		
		標準		オプション
		ローマンシェード	ロールスクリーン	
e-スティック式	モーター	右	左	指定不可

1-2-4 e-スティックの長さ

製品高さに応じて、下記表の通り製作します。
【製品高さに対するe-スティックの標準長さ】

製品高さ(H) (ご発注の高さ)	~914mm	915mm~1676mm	1677mm~1981mm	1982mm~2286mm	2287mm~2550mm
e-スティックの長さ	406mm	610mm	915mm	1220mm	1524mm

【e-スティックの長さを指定する場合】

ご希望に応じて、e-スティックの長さをご指定いただけます。

製作可能な長さは、203 / 406 / 610 / 915 / 1220 / 1524 / 1828 mm となっております。

1-2-5 スクリーン本体仕様

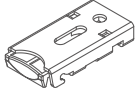
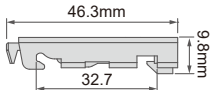
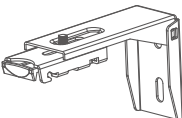
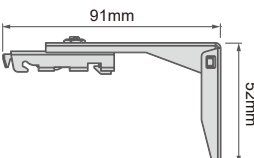
【スクリーン本体仕様】

スクリーン製品モデル	e-スティック	スクリーン製品モデル	e-スティック
給電方法	リチウムイオンバッテリー	電源供給の方法	e-スティック
入力	4.5~5.5 Vdc	充電時間	5~6時間程
出力	0.5A @7.4 Vdc	充電温度範囲	0℃~45℃
無線電波タイプ	-	動作温度範囲	-10℃~40℃
モーター種類	DCブラシモーター	動作湿度範囲(RH)	~ 80%

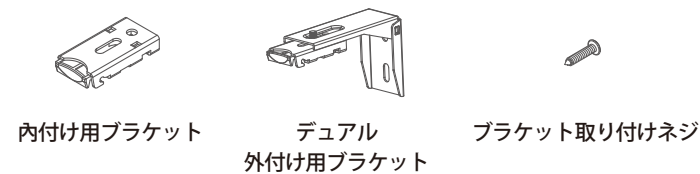
【電源アクセサリ】

Type-C充電ケーブル	
	e-スティックに接続します。 Type-C充電ケーブルの長さ2000mm カラー：白 ※Type-Cアダプターは本製品には付属されていません。

1-2-6 ブラケット(全操作メカ共通)

取り付けタイプ	名称	図面		
窓枠天井付け 鴨居付け カーテンボックス付け	内付け用ブラケット			
窓枠正面付け	外付け用ブラケット			

1-2-7 付属部品の数



【窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合】

製品幅(W)mm	内付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※
W<1118	2	2
1118≤W≤1778	3	3
1778<W	4	4

※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。
通常は19mmのネジが付属しますが、鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。

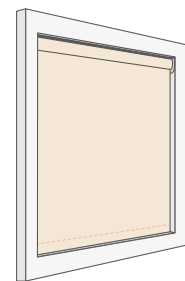
【窓枠正面付けの場合】(壁面付け対応不可)

製品幅(W)mm	外付け用ブラケット	ブラケット取り付けネジ※
W<1118	2	4
1118≤W≤1778	3	6
1778<W	4	8

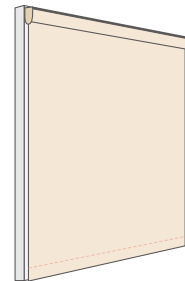
※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。
31mmのネジが付属します。

取り付け方法

窓枠天井付け / 鴨居付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)

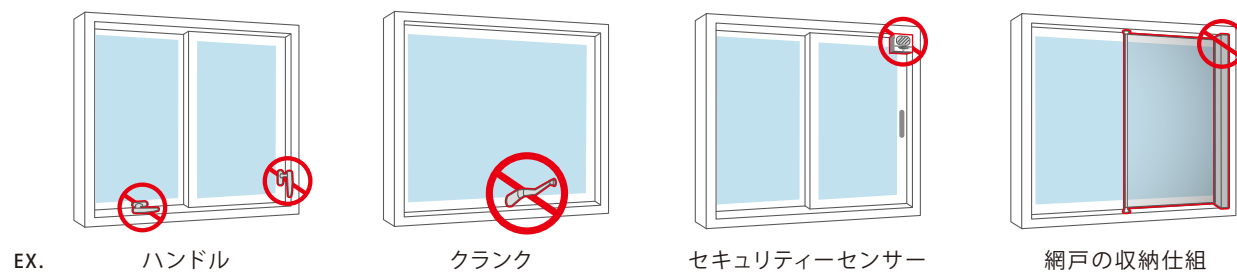


カーテンボックス付け
(カーテンボックス内に取り付ける場合)

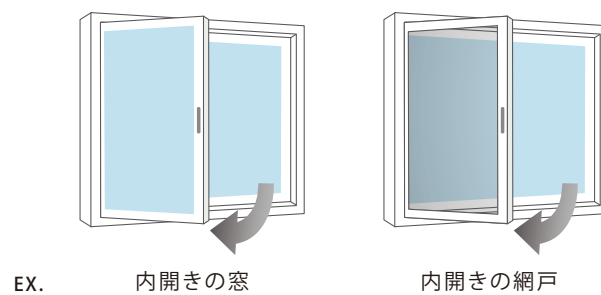


2-1 窓枠天井付け / 鴨居付け

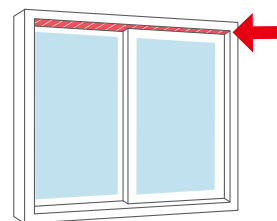
条件 1 障害物など干渉するものがないこと



条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



条件 3 下地が木材であること



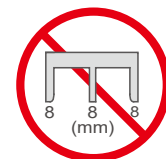
ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)。

条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品動作へ干渉する物等には十分ご注意ください。

【鴨居付け】

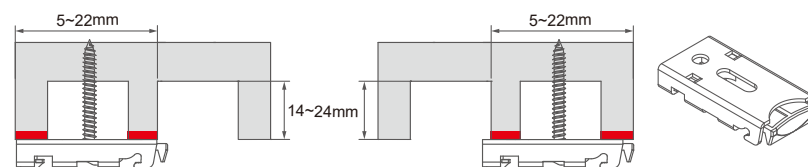
和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認しシェードのブラケットが2点の平面に支えられることをご確認ください。
なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わないことがあります。
あらかじめご了承ください。
- 下地の厚みが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。

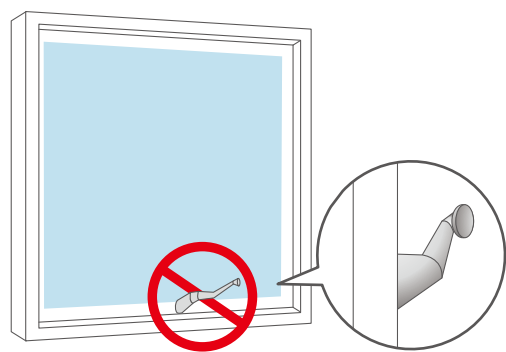


薄型鴨居の場合、左図の木の幅が8mm以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

取り付けの側面図 (おすすめの取り付け方法)

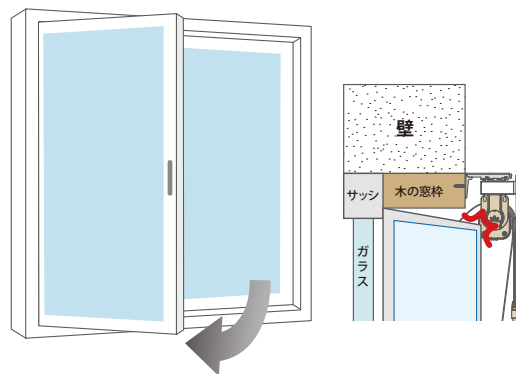


2-2 窓枠正面付け



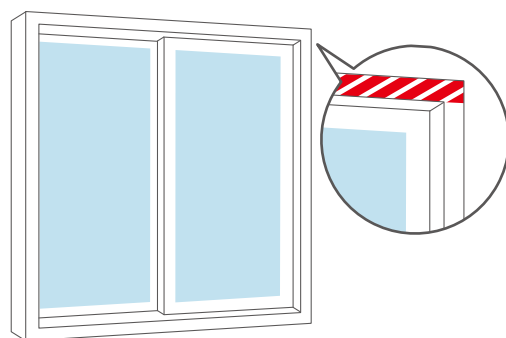
条件 1 障害物など干渉するものがないこと

外に突出した取っ手などがある場合は、シェードの昇降を妨げます。
取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。



条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

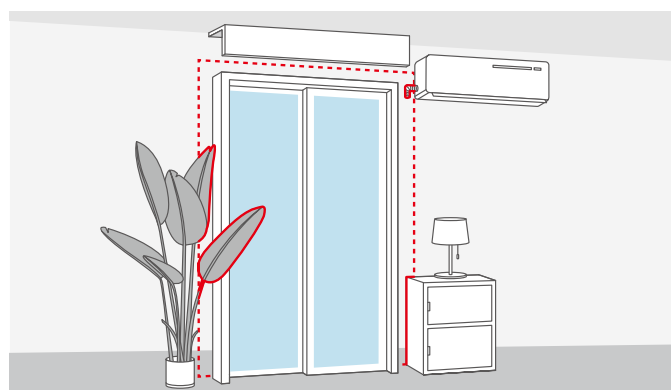
内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにシェードを収めると、
扉の開閉時の障害になります。(設置位置や畳代をご確認ください)



条件 3 下地が木材であること

ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること
(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

2-3 カーテンボックス付け



条件 1 窓枠周辺に障害物がないこと

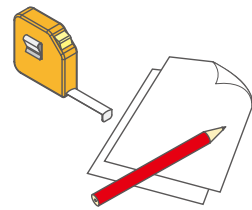
2-4 必要寸法一覧表

取り付け タイプ	参考図	断面図&必要寸法
窓枠天井付け ^{*1}		
浅天井付け (製品が窓枠から 若干はみ出ます)		
鴨居付け ^{*2}		
窓枠正面付け		
カーテンボックス付け		

※1 窓枠内付けで製品を収める際、畳代が厚くなり、窓枠から突き出ることがあります。

※2 設置場所によっては、製品が窓枠から突き出ることがあります。

※3 e-スティックの場合、窓枠天井付けに必要な寸法は105mm、浅天井付けに必要な寸法は92mmです。



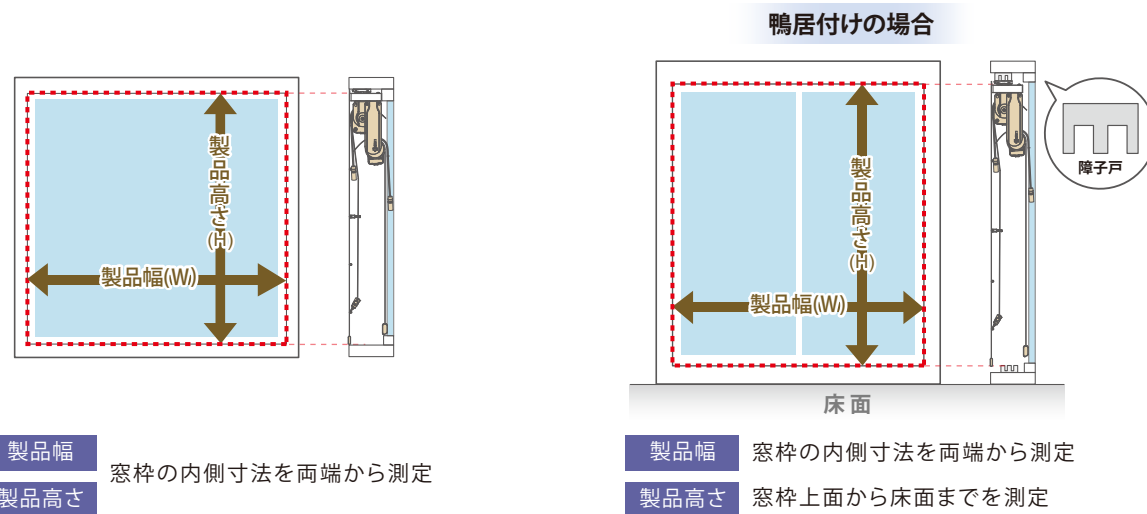
【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

【採寸時のご注意】

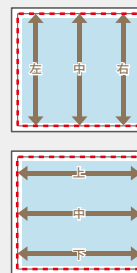
1. 新築等の図面サイズで注文すると、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。
2. 窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

3-1 窓枠天井付け / 鴨居付け

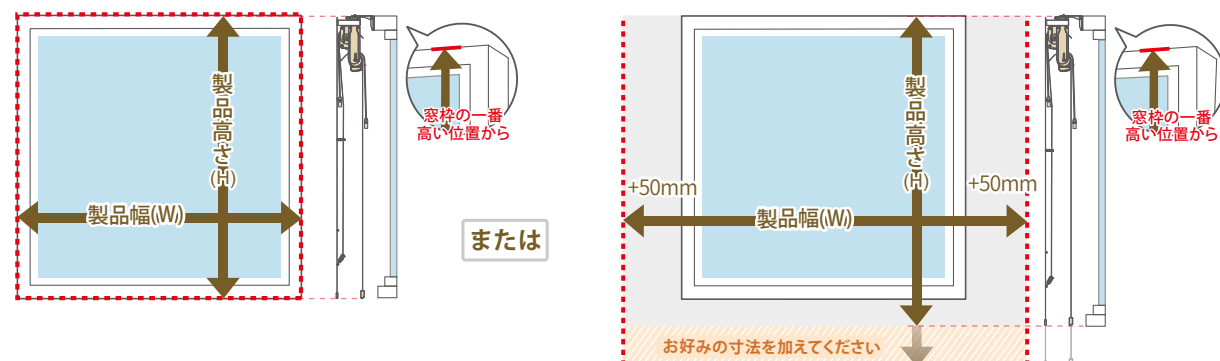


ご注意ください

1. 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに 3 か所以上(左中右、上中下など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
2. 「枠内実寸サイズ」「製品実寸サイズ」のいずれでもご注文いただけます。
3. 製品を天井に設置して使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。
必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。



3-2 窓枠正面付け



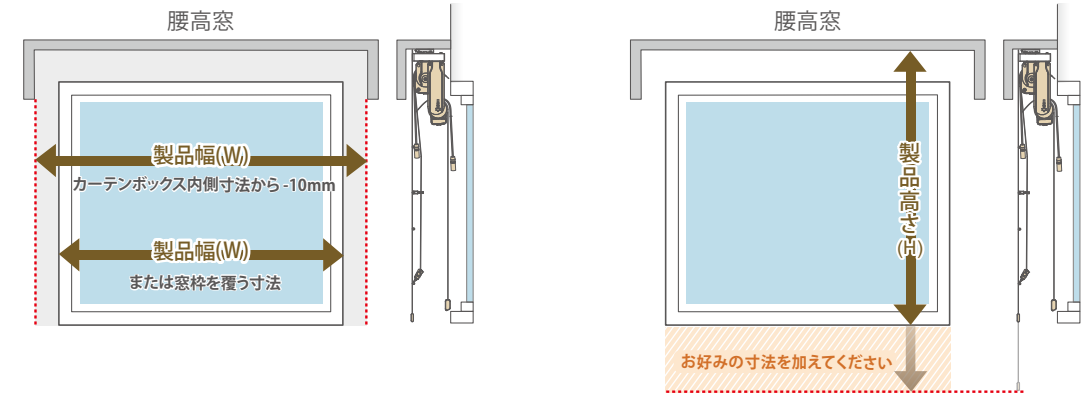
製品幅は窓枠の外側寸法を測ってください。

窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる方は、窓枠外側寸法に、左右各 50mm 程度多めに加えることをおすすめします。

ただし、周りに障害物がないことを必ず確認してください

製品高さは窓枠の外側寸法を測ってください。お好みの寸法を加えることもできます。

3-3 カーテンボックス付け



製品幅 カーテンボックス内側寸法から測定

- ・カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。

製品高さ 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定

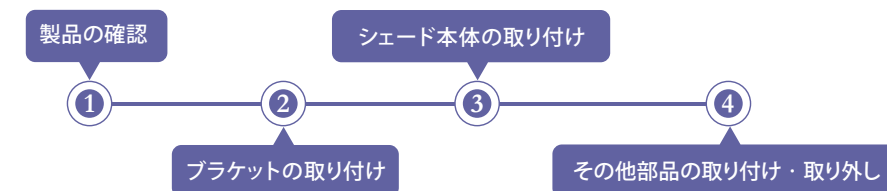
- ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

04 取り付け方法

ご注意ください ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	俯瞰図	ブラケットが一直線に揃っていない
	正面図	ブラケットが一直線に揃っていない
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること	側面図	ビスが斜め締めになってしまい、ビス頭がしっかりとブラケットに密着していない

■ 取り付けの手順



4-1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないように開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
・シェード本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

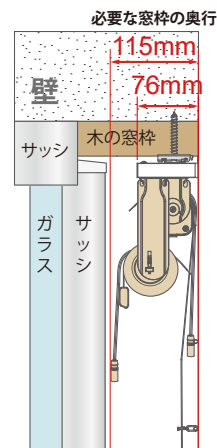
注意 取り付けが完了するまで操作はしないでください。故障の原因になります。

4-2 ブラケットの取り付け

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約89mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が等間隔になるようにしてください。

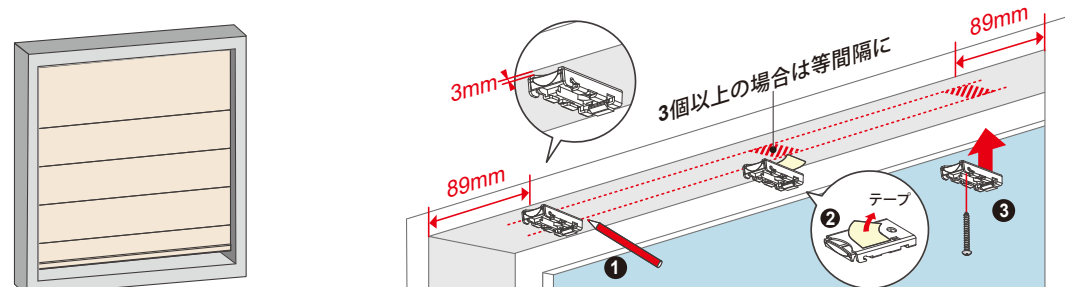
ご注意ください

ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取り付け後に、まずブラケットの透明のプラスチック部品を押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取り付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性があります。ご注意ください。その際は、ネジを1回転ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の上昇を妨げ、製品を破損する恐れがあります。



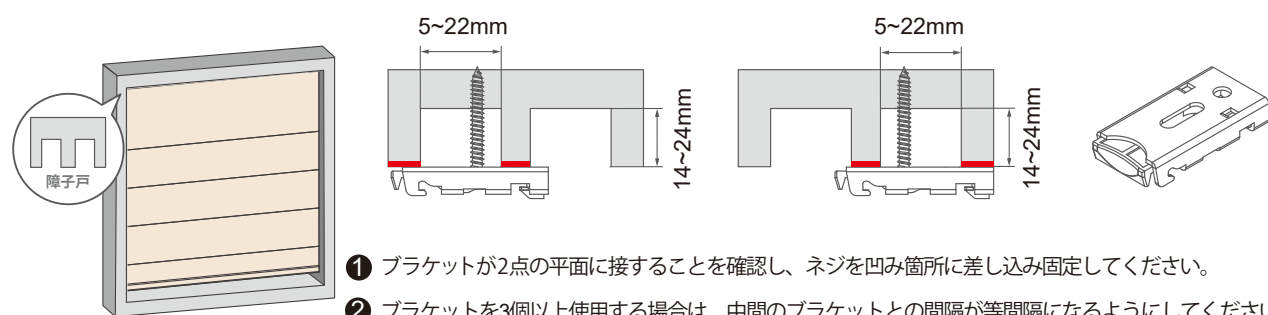
※e-スティックの場合、必要な窓枠の奥行は105mmになります。

窓枠天井付け



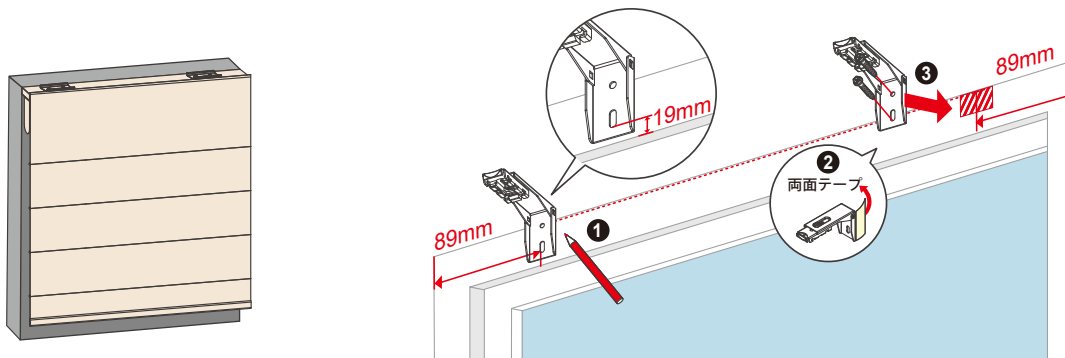
※窓枠の前端からブラケットの前端までの距離は最低でも3mm必要です。

鴨居付け



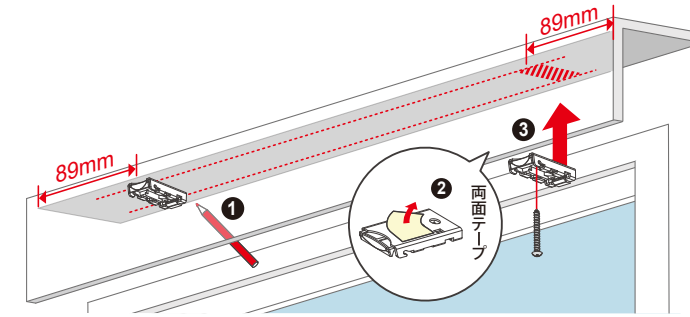
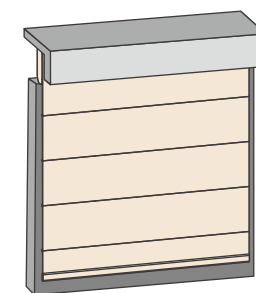
- ① ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所に差し込み固定してください。
 - ② ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が等間隔になるようにしてください。
- ※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的に問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け



※図のように下のネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔が必要です。

カーテンボックス付け

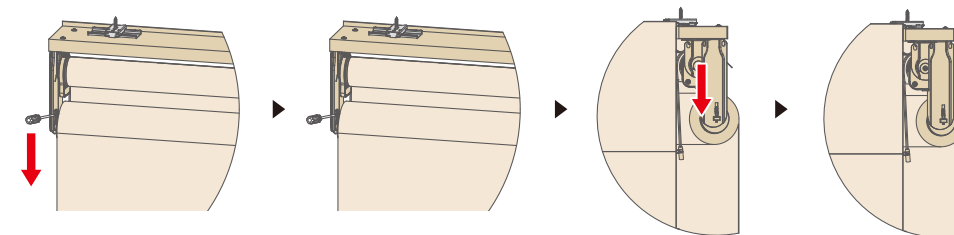


- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約89mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が等間隔になるようにしてください。

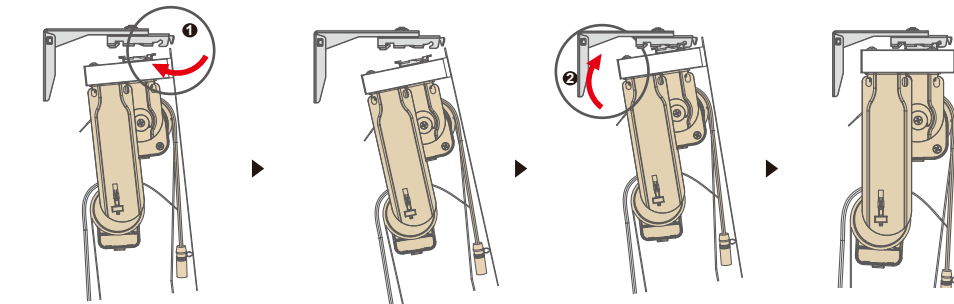
4-3 シェード本体の取り付け・取り外し

4-3-1 シェード本体の取り付け

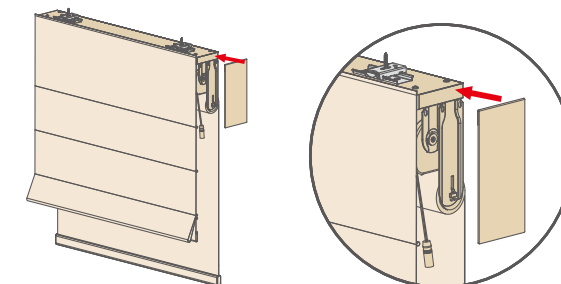
- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



- シェード本体を、下記の手順でブラケットに固定します。
 - ① サポートフレーム先端のツメをブラケット前縁の逆フックに差し込みます。
 - ② その後、手首でヘッドレールをしっかりと後ろから掴み、奥のはめ込み部分に押し込んでしっかりと固定します。

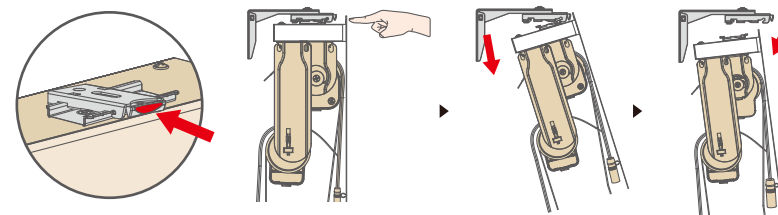


4-3-2 サイドキャップの取り付け



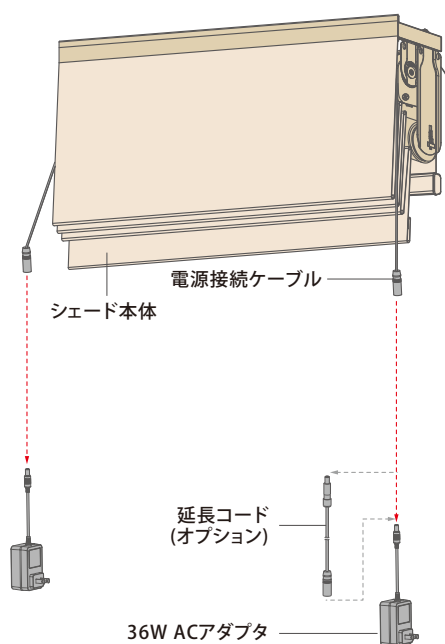
4-3-3 シェード本体の取り外し

- シェード本体を締めてから、ブラケットのプラスチック部品を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックをはずします。



4-3-4 本体ACアダプタ式のみ

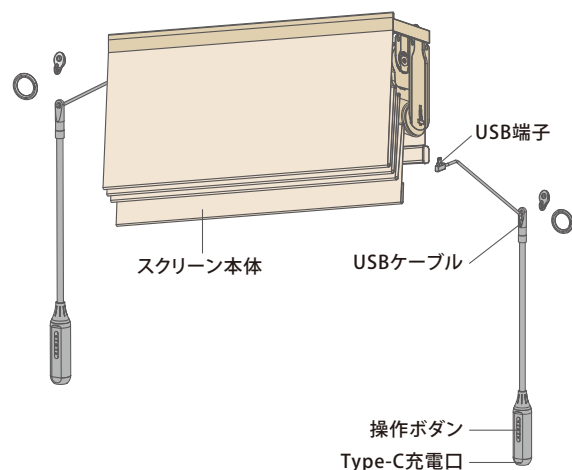
■ 36W ACアダプタを本体に接続するシェードに電源を入れる



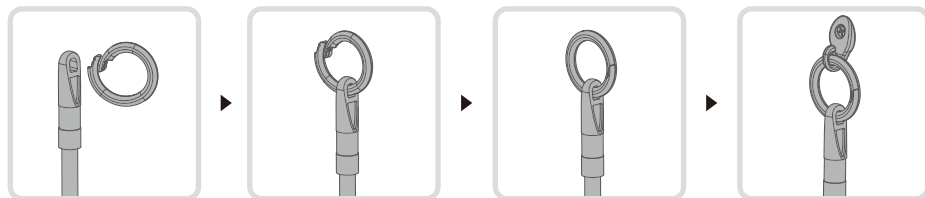
- ① 36W ACアダプタをスクリーン本体の電源接続ケーブルに接続します。
★ 延長コードを使用する場合は、ACアダプタを先に延長コードに接続してから、スクリーン本体の電源接続ケーブルに接続してください。
- ② ACアダプタを電源に差し込みます。自動的に表示灯が緑色に点滅し、スクリーンの電源が入ります。

4-3-5 本体e-スティックのみ

■ USBケーブルを本体に接続するとスクリーンに電源が入った状態になります。



■ e-スティックの装着手順



■ 充電方法

e-スティックにType-C充電ケーブルを接続し、Type-Cアダプターをコンセントに差し込みます。

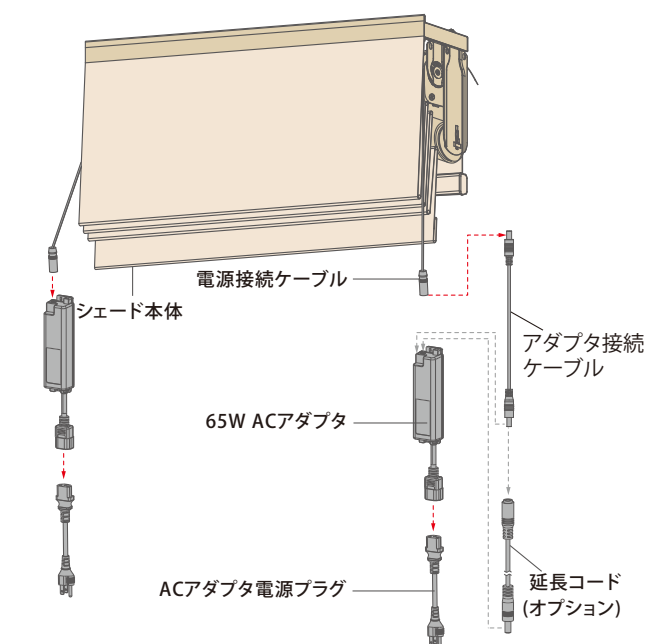
充電中：表示灯が赤色点灯。

充電完了：表示灯が緑色点灯。

※Type-Cアダプターは本製品に付属していません。

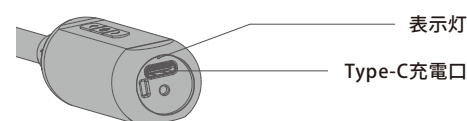
※バッテリー残量にかかわらず、少なくとも6か月に1回はフル充電することをおすすめします。

■ 65W ACアダプタを本体に接続するシェードに電源を入れる

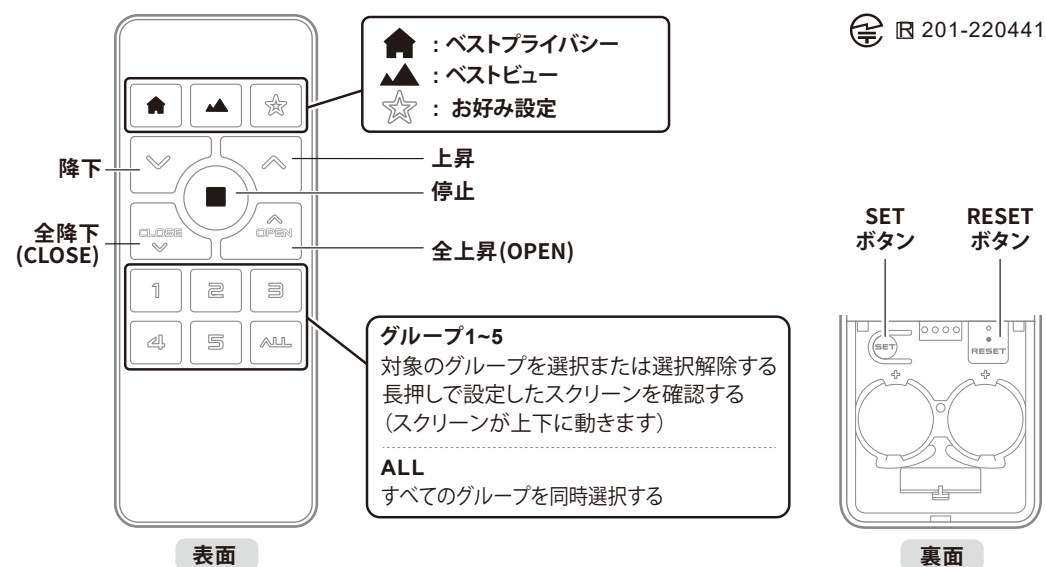


- ① 65W ACアダプタをアダプタ接続ケーブルに接続します。
- ② アダプタ接続ケーブルをスクリーン本体の電源接続ケーブルに接続します。
★ 延長コードを使用する場合は、ACアダプタを先に延長コードに接続してから、アダプタ接続ケーブル、スクリーン本体の電源接続ケーブルの順に接続してください。
- ③ ACアダプタを電源に差し込みます。自動的に表示灯が緑色に点滅し、スクリーンの電源が入ります。

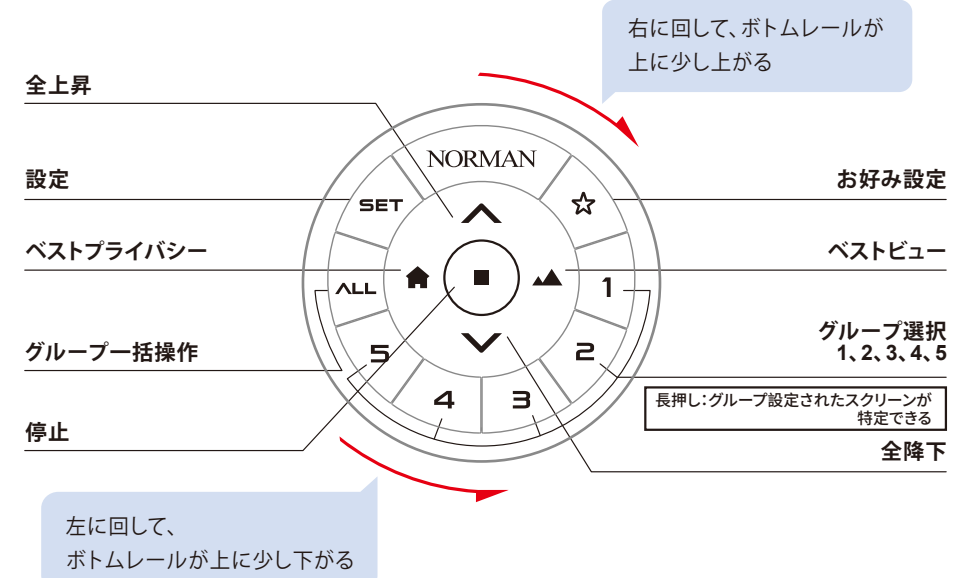
■ e-スティックの底面

■ 壁掛けフック
壁にビスで壁掛けフックを固定します。■ e-スティック用リング
e-スティックの一番上の穴に e-スティック用リングを差し込み、壁掛けフックに掛けて使用します。

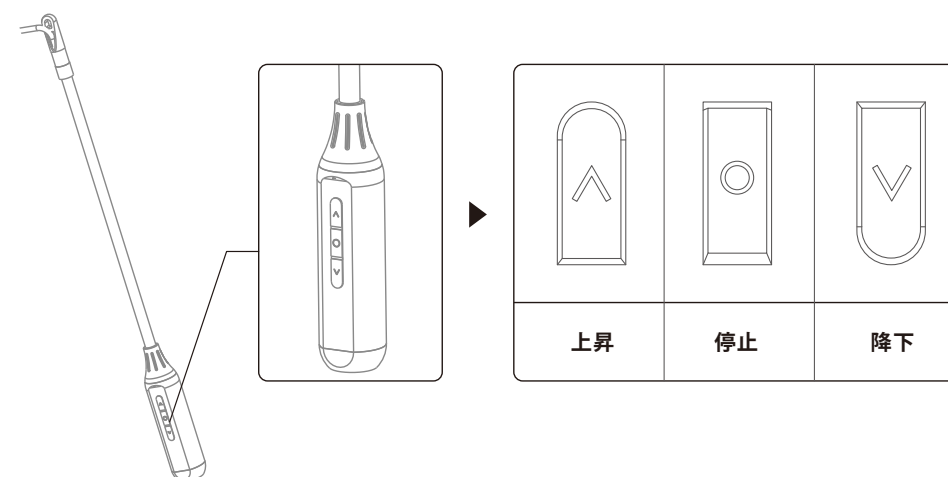
5-1 リモコン(RC-A01)ボタン紹介



5-2 SmartDial™ G2ボタン紹介



5-3 e-スティックボタン紹介



仕様と構造

取り付け条件

採寸方法

取り付け方法

操作方法

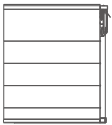
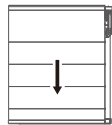
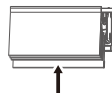
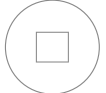
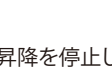
サイズ定義と公差

お手入れ方法

製品特性

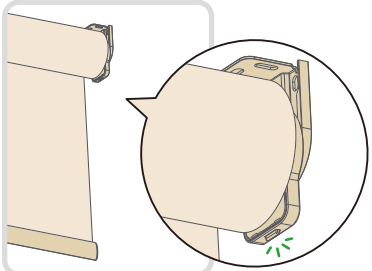
保証について

5-4 ボタン機能紹介

リモコン(RC-A01)	SmartDial™ G2	ボタン機能	紹介
		ベストプライバシー	 ボトムレールが一番下まで下がります
		ベストビュー	 ボトムレールが一番上まで上がります
		お好み設定 (初期設定位置)	 初期設定位置: ボトムレールが高さ半分の位置まで昇降します
	 左に回して、 降下の微調整	降下	 ボトムレールが下に 少し下がります
	 右に回して、 上昇の微調整	上昇	 ボトムレールが上に 少し上がります
		全降下(Close)	 ボトムレールが 一番下まで下がります
		全上昇(OPEN)	 ボトムレールが 一番上まで上がります
		停止	 昇降を停止します
		グループ 1～5	操作したいグループを選択します 長押し:グループ設定されたシェードが 上下に動きお知らせします
		ALL	すべてのグループを同時選択する

※ ご自身で設定変更できます。リモコンの説明書をご参照ください。

5-5 手動スイッチ機能説明



本体ACアダプタ式

手動スイッチは、リモコンの電池切れや緊急時の際にシェードを操作することができます。

静止中に押す：シェードが昇降を行います

昇降中に押す：シェードが停止します。

また、電源スイッチとしてシェードの電源を入れる・切ることができます。

シェードの**電源を入れる：**スイッチを3秒長押し、表示灯が4回緑色に点滅します。電源が入ります。

シェードの**電源を切る：**スイッチを3秒長押し、表示灯が4回赤色に点滅します。電源が切れます。

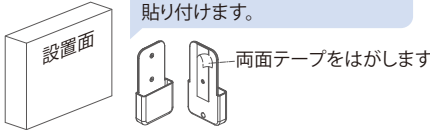
5-6 リモコンホルダー ※各状況に合わせてお選びください。

- ビス固定の場合：(木下地適用)

 - 1.設置箇所の穴をあわせませす。先にキリで穴をあけ、ビスを当てやすくします。
 - 2.付属のビスをしめます。
 - 3.ホルダーが固定されたら完成です。

ホルダーの穴に合わせ、
ビスをしめます。

※石膏ボードは別途アンカーをご用意ください
- 両面テープ固定の場合：(滑らかな平面に適しています)

 - 1.設置箇所をきれいにします。
 - 2.背面のテープをはがします。
 - 3.ホルダーをしっかりと押し当て貼り付けます。
 - 4.ホルダーが固定されたら完成です。

ホルダー背面のテープをはずし、
貼り付けます。

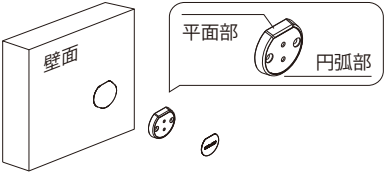
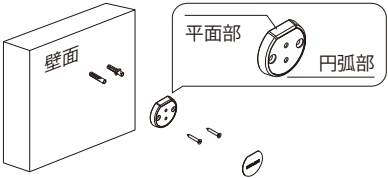
両面テープをはがします

5-7 SmartDial™ G2の壁面設置 ※ビス(木ネジ)固定、または両面テープでの固定が可能です。設置環境にあった方法をお選びください。

- ビス固定の場合：(木下地適用)

 - 1.ビスを打ち込む2か所に穴を開け、
まずアンカーを装着します。
 - 2.マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、
ホルダー内側に貼付固定します。
 - 3.ホルダーを、ビスでアンカー部分に固定します。
 - 4.仕上げるに、NORMAN® ロゴシールを貼り、
設置完了です。
 5. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、
磁力で吸着固定されます。
- 両面テープ固定の場合：(滑らかな平面に適しています)

 1. マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、
ホルダー内側に貼付固定します。
 2. ホルダー用両面テープをとり、
ホルダー裏面に貼り付けてください。
 3. NORMAN® ロゴシールをホルダー表面に貼り、
ホルダーを裏面の両面テープ剥離紙を取り、
お好みの壁面に貼り付けて設置完了です。
 4. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、
磁力で吸着固定されます。



仕様と構造

取り付け条件

採寸方法

取り付け方法

操作方法

サイズ定義と公差

お手入れ方法

製品特性

保証について

あれっ?て思ったとき

こんなとき(症状)	考えられる原因	こうする(処置)
シェードが操作できない	シェードが電波を受信していない	リモコンでシェードを操作して、シェードの表示灯を確認してください。 緑色に点滅：シェード受信状況は正常です 赤色に点滅：低電力/シェード温度異常 赤緑色に点滅：その他の異常 表示灯が光らない：電波を受信していない/グループ設定ができていない/電源が入っていない
	リモコンのバッテリー残量不足	グループボタンが正常に光ることをご確認ください。 または、電池を交換してください。
	グループ設定を行っていない	リモコンのグループボタンで設定を行ったグループのボタンを長押ししてください。正常に設定されているシェードが、上下動してお知らせします。 未設定の場合は、リモコンの取扱説明書の手順に従って設定を行ってください。
	シェード温度異常(温度が高い/温度が低い)	シェード操作時に赤色に点滅した場合、シェードの温度異常の可能性があります。30分ほど経過して、製品規格に記載の適切な操作温度範囲のもと操作を行ってください。
	シェードの限界位置未設定	リモコンのベストビュー（山の表示）/ベストプライバシー（家の表示）ボタンを押して、シェード表示灯が緑色に点滅、正常に動作するか確認をしてください。シェードが動かない場合、限界位置が未設定の可能性があります。リモコンの取扱説明書の手順に従ってシェードの限界位置を設定してください。 ※シェードはすべての限界位置を設定完了後、すべての機能が使用できます
シェードの自動停止位置が変わった(限界位置のずれ)	急な電源の切断	再起動：手動スイッチを3秒長押しで電源の入れる/切るを行います。電源を切る場合は、表示灯が赤く点滅します。電源を入れる場合は緑色に点滅します。再起動でも異常の復旧ができない場合は次項の“本体強制再起動”を試してください。
	その他の異常	本体強制再起動：手動スイッチを10秒長押ししてください。表示灯が赤色に点灯したらスイッチを離してください。本体が強制再起動します。 以上の各対応方法で解決できない場合はお問合せください。

使用上のご注意

- ▶ 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- ⚠ 警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷につながる内容を示しています。
- ⚠ 注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- ⚠ 危険 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
- ▶ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
- 🚫 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。
- 📌 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

製品全体

- 🔌▶ 動作環境
- 本製品は動作環境が0℃～40℃の範囲内でご使用・充電をしてください。範囲外で使用・充電を行うと、バッテリーからの液漏れ、熱によるバッテリー損壊・性能低下等の恐れがあります。
- ⚡▶ 感電の危険性や損壊の恐れがあります
- ・濡れた手で製品を操作すること

・液体や火気の付近に近づくこと
- 🔧▶ 分解行為
- 付属アクセサリの分解、部品交換、改造などをご自身で行わないでください。
故障の場合は速やかに販売店にお問合せください。
販売店またはメーカーの指示によらない誤った使用方法是製品保証対象外となる
ことがあり、保証期間内でも保証を受けられません。

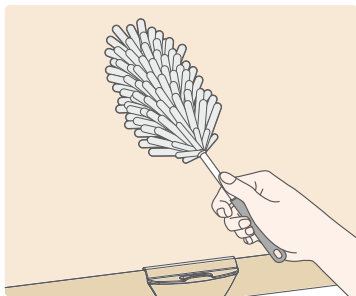
■ 標準仕様

幅					
取り付けタイプ		オーダー幅	仕上がり幅		公 差
窓枠天井付け 鴨居付け	枠内実寸で発注	W	W-9mm※1	ローマンシェード生地 の左端から右端まで	± 6mm
	製品実寸で発注	W	W※2		
窓枠正面付け		W	W		
壁面付け (シングルシェードのみ)		W	W		
カーテンボックス付け		W	W		
高 さ					
取り付けタイプ		オーダー高	仕上がり高		公 差
窓枠天井付け 鴨居付け	枠内実寸で発注	H	H	ブラケット上端部からボトムレール最下部まで	0 ～ + 13mm
	製品実寸で発注	H	H		
窓枠正面付け		H	H		
壁面付け(シングルシェードのみ)		H	H		
カーテンボックス付け		H	H		

※1 生地が厚い場合、サイドキャップの取り付けスペースを考慮する必要があるため、仕上がり幅は9mm控除されます。

※2 製品実寸で発注する場合、オーダー幅と仕上がり幅は同じですが、サイドキャップの取り付けスペースを確保することに注意してください。

07 お手入れ方法



- 日頃のお手入れは、小型ほうきや羽根はたき、またはハンドモップ等でほこりを落としてください。汚れがひどい時は、やわらかい布で部分的に水拭きしてください。洗濯や洗淨力の強い洗剤は使用しないでください。ドライクリーニングもおすすめしません。また、低吸引力のハンド式清掃機の利用も可能です。



警告 シェードに深刻な影響を与えるような洗剤、硬い掃除道具などは使用しないでください。また、お手入れするときは、生地を折らずにお掃除してください。

外観変化、特殊環境における状態変化について、下記項目を予めご了承ください。

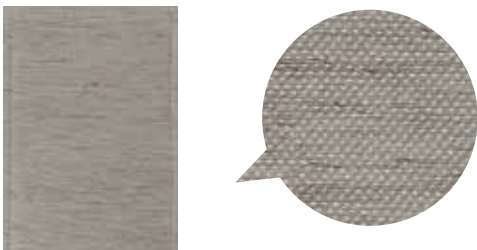
- 生地の色味やパターン等の一致性を保たせるため、同色や同パターンの複数の製品をご検討の場合は、一度のご注文ですべての設置予定製品をご購入することをお勧めします。製品設置後、日光の照射などによる経年変色が発生します。よく開閉を行う部分の生地、光によく当たる箇所などの部分により、経年変色の程度に差が出ます。これにより、追加で同じ色や同じパターンの製品をご購入されても、元々使用されていた製品との色味の差が発生する可能性がございます。あらかじめご了承ください。



操作チェーンを
お子様やペットの届かないところに
固定してください。

- コードレスタイプは人それぞれ操作感が異なります。操作される人やローマンシェードのサイズなどによって異なります。似たようなサイズの製品でも、操作感に違いがでます。

- ローマンシェードの製作過程では、縫製作業が必要です。室外の光が強い時、縫い目から微かに光が漏れることがあります。特に、室内が暗くて室外の光が強い場合、その現象がより顕著に現れます。



軽微な色味の違いは、生地本来の表情であるため、シェード生地の特徴になります。



ロット違いの生地は軽微な色味の違いが発生することがあります

- 色味の変化
 - A. リネン、コットンまたはパルプ等の天然素材を含む生地は染色過程において、染料の吸収性に差があるため、ロットによって色味の差が生じることがあります。この色味の違いは、生地本来の表情であるため、シェード生地の特徴としてお楽しみください。
 - B. 生地の色味は、光の差し具合により違った見え方になる場合がございます。また、シェードを全展開、もしくは一部のみを展開した場合にも、色の見え方に違いが生じることもございます。
 - C. 生地は日光の照射により、色の変化が現れてきます。また生地が展開された部分は、生地が巻き上げられている部分に比べ、色の変化にもある程度の差が生じます。
 - D. 生地の色味やパターン等の一致性を保たせるため、同色や同パターンの複数の製品をご検討の場合はまとめてご購入することをお勧めします。通常、製品設置後の通常使用による日光の照射などの経年変色が発生するため、追加で同じ色や同じパターンの製品をご購入されても、元々ご使用の製品との色味の差が発生する可能性がございます。

- シワ
 - A. リネン、コットンまたはパルプ等の天然素材を含む生地は生地に比較的伸縮性が無いため、比較的シワまたは縮みが発生しやすくなります。この生地のシワ等は、生地本来の特徴になります。
 - B. 生地にシワが発生した場合は、シェードを全閉していただくと数日程度でシワの状態が軽減することがあります。
 - C. リネン素材の生地は、リネン本来の特性により湿度の変化等の影響で他の生地よりシワが発生しやすく、取りずらいものになります。また、生地の縮みや伸び等の現象も起こりやすく、時間の経過とともに、少しずつ色褪せも発生することがあります。



■ 布地の特性

- A. 組織りの布地は天然素材の布地の特性で、その独特な自然の美しさがあります。生地欠陥ではありません。
- B. リネンやリネン混紡布地は、天然素材の特性から、各ロットごとの色の違いが比較的大きくなります。
- C. リネンやリネン混紡布地にシワができた場合、カーテンを完全に開いて、自然に数日間吊るすことでシワを軽減できます。
- D. 清掃時には、清潔な白い布で汚れた部分を部分的に拭いてください。白い柔らかいブラシや低吸引力モードの掃除機を使って布地の埃を取り除くことができます。洗剤は絶対に使用しないでください。布地の色が変わる原因となります。



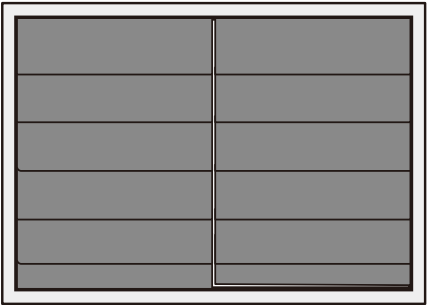
■ 布地の織り方および加工の特性

布地を織る際、色の濃淡や模様には差異や不完全な部分が生じることがあります。布地自体の織り目や格子線がわずかにずれていたり、不完全であったりすることがあり、これが布地特有の美しさを引き立てます。非常に近い距離で観察すると、細かい糸が見えることがありますが、これらはすべて布地織造の特性です。



■ 対称性／サイズの変化

- 生地特性上、わずかな伸縮があります。そのため、以下の現象が起こる可能性があります：
- A. 同一製品でも、操作を数回行くと左右のバランスが変わることがあります。
 - B. 異なる高さや幅のローマンシェードには製造的に異なる設定があります。そのため、並べて取り付けした場合、カーテンのガラス繊維棒の位置が異なることが目立ちます。
 - C. 織る過程で生地の織り目が完全に水平にならないことがあります。この現象を「織り目の歪み」と呼びます。模様のある生地では、同じ製品の左側の模様の位置と右側の模様の位置にわずかなずれが生じることがあります。
 - D. ローマンシェードを取り付けた後、布地の重さ、製品のサイズ、取り付け環境などの要因により、製品高さが±20mm程度変化することがあります。



■ 花柄

- A. 生地の花柄はランダムに現れるため、異なる部分に配置されます。そのため、類似したサイズのローマンシェードでは花柄の位置も異なることがあります。
- B. 織り過程の特性により、生地の縦方向や幅方向の花柄の位置が斜めになることがあり、一直線にならない場合があります。
- C. バランスの花柄とメインの布地の花柄は、100%完全に揃えることができない場合があります



現在の電動ローマンシェードは無線信号によって操作されています。無線信号が送信される際、インテリア/家具や金属物や他の無線信号の干渉で、各製品が信号を受信するタイミングが異なることがあります。さらに、選ばれた布地、材質、製品のサイズなど製品自体の条件の違いも、製品の動作速度の差につながります。その上、グループ操作を使用する場合、各製品の起動、動作、停止のタイミングに多少の差が生じるのは正常な現象です。特に同じ窓に二つ以上の製品が並んで設置されている場合、より顕著になります。すべてのローマンシェードを特定の位置に統一して停めたい場合は、リモコンの「お好み設定」を設定し、操作を行い、もしくはAPP (Hubを別途購入) のシーン(お気に入り)登録を使用することで、すべてのローマンシェードを指定位置に停めることができます。

製品保証

この度は弊社製品をご検討いただき、誠にありがとうございます。
当製品は厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合は無償で修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より3年間

保証に関する詳細やご使用中に不具合を感じた際は、公式サイト「故障かなと思ったら」ページをご参照ください。

	取り付け場所 ＊リビンタ1 ＊リビンタ2 ＊寝室など	数 量	寸法(mm)		取り付けタイプ						シェード& スタイル	裏地※	生地色番号		操作メカ				オプション			
			幅 (W)	高さ (H)	窓枠天井付け		窓枠天井付け (暢居付け)		窓枠正面付け	壁面付け			カーテンボックス 付	下図の ①～④ を選択	①なし ②採光タイプ ③遮光タイプ	前後 （ロールスクリーン側） ※モーターあり	チェーンタイプ		コードレスタイプ		後端ボトム レール※3	フック スプーサー※4
					柵内実寸	製品実寸	柵内実寸	製品実寸									操作位置	操作チェーン長さ※1	操作ロッド ＊オプション	長さ		
ex	リビンタ1	1	1800	2400	○						③	①	F1624 パロー	F1406 ライオン		①	2000mm		②	①		
1																						
2																						
3																						
4																						
5																						

シェード&スタイル



シングルシェード
① シェアースタイル



② フォールドスタイル※



デュアルシェード
③ シェアースタイル



④ フォールドスタイル※

※ フォールドスタイルの場合、必ず裏地をご選択いただきます。裏地はローマシェード側のみ選べます。

オプションに関する注意事項

- ※1 操作チェーンの最小寸法：H1・76mm。
- ※2 ロールスクリーンの生地よりご選択ください。
- ※3 袋縫い仕上げは製品本体と同じ生地を使用。デュアルの場合は、後端（ロールスクリーン側）はオプションとなります。
- ※4 壁面付けの場合はフック・スプーサーの個数を選んでください。

備考欄

発注No.			
お客様名		様	
ご住所		〒	
お電話番号		()	
ご担当者		ご希望納期 月 日(※)	

物件名			
お届け先名		様	
ご住所		〒	
お電話番号		()	
備考		—	

※注意事項

*操作チェーンの場合は指定がない場合、標準仕様とさせていただきます。

*レール色と部品色はすべて弊社規定にてコーディネート致します (ホワイト)。

▲ FAXはこちらの方向からお流しください。 ▲
NORMAN® ローズジョイント専用発注書(チェーンタイプ、チェーンタツタイプ、コードレスタイプ)
NORMAN®
 SHUTTERS. BLINDS. SHADES.

NORMAN® ローマンシェード専用発注書(電動タイプ)

FAXはこちらの方向からお流しください。

▲

NORMAN®
SHUTTERS. BLINDS. SHADES.

※下記太枠内にご記入ください（この用紙をコピーしてご使用ください。）

発行日：年 月 日

ご発注者	発注No.			お届け先 様 〒 ご住所 () お電話番号 () 担当者	希望納期 月 日(※)
	お客様名	様			
	ご住所	〒			
	お電話番号	()			
	ご担当者				
※注意事項			物件名	備考	
＊操作チェーンの長さは指定がない場合、標準仕様とさせていただきます。 ＊レール色と部品色はすべて弊社規定にてコーディネート致します（ホワイト）。			お届け先名	様	
			ご住所	〒	
			お電話番号	()	
			備考		

		数量	寸法(mm)		取り付けタイプ						生地色番号	給電方法			リモコン・SmartDial™ G2・延長コード							リモコン・SmartDial™ G2 オプション		オプション								
	取り付け場所 ※リビング1 ※リビング2 ※寝室など	数	幅 (W)	高さ (H)	窓枠天井付け				カーテンボックス付け		裏地※ ①なし ②採光 タイプ ③遮光 タイプ	シェード& スタイル	生地の色	スクリーン本体			e-スティック ※2	リモコン (RC-A01) ※3	SmartDial™ G2 ※3	延長コ ード(追加工) 能数量はお問い合わせください	ShadeAuto™ HUB	SmartDial™ G2用ベゼル	リピーター (中継器)	後部ボトム スプレー※5								
					窓枠天井付け		窓枠正面付け		電動ユニット位置	カラー※1				操作位置	長さ	配線左・右									黒・白	mm	①	①	グループ数1~5	ダルーブ数1~5	①なし ②あり	①なし ②あり
					枠内実寸	製品実寸	枠内実寸	製品実寸																								
ex	リビング1	1	1800	2400	O					F1624 パロマ	F1406 ウィート	③	①		配線左・右	黒・白	左・右	mm	①					②	①							
															配線左・右			左・右	mm													
															配線左・右			左・右	mm													
															配線左・右			左・右	mm													
															配線左・右			左・右	mm													
															配線左・右			左・右	mm													

シエード&スタイル

- ① シャープブスタイル フォールドスタイル※
- ② シングルシェード
- ③ シャープブスタイル フォールドスタイル※
- ④ デュアルシェード

※ フォールドスタイルの場合、必ず裏地をご選択いただきます。裏地はローマシェード側のお選びします。

オプションに関する注意事項

- ※ 1 65W ACアダプタカラーはブラックのみ。
- ※ 2 e-ステックにはType-C充電ケーブルが付属しますが、Type-Cアダプターは付属しません。
- ※ 3 ロールスクリームの生地よりご選択ください。
- ※ 4 電動タイプのリモコンは別売りです。リモコンまたはSmartDial™ G2のどちらか一方のみの使用で、シェード本体を操作することが可能です。電動タイプご選択の際は必ずお選びください。また、リモコンは1台で複数台設定が可能です。同じ動作タイプは必ず同じグループに設定してください。(GR2032×2個付属)
- ※ 5 袋縫い仕上げは製品本体と同じ生地を使用。デュアルの場合は、後端（ロールスクリーン側）はオブションとなります。
- ※ 6 壁面付けの場合はブラケットスペースユーザーの個数を選んでください。